

令和 5 年度

安曇野市市民意識調査報告書

安曇野市

目次

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
第2章 調査結果	2
1. あなたやご家族のことについて	2
2. 安曇野市での暮らしについて	10
3. 安曇野市の行政に関すること	32
市の全般的な施策等について	56
(1) 自然環境について	56
(2) 医療・福祉・人権について	58
(3) 子育て支援について	60
(4) スポーツについて	61
(10) 農林水産業について	62
(13) 地域ブランドについて	69
その他	70
設問別 その他の意見（自由記載）	95
第3章 参考資料	108
アンケート票	108

1. 調査の目的

本調査は、市民の意見を把握し、ニーズに対応した効果的な市政運営を図ることを目的に実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象者

- ・ 市内 18 歳以上の住民 2,000 人を対象に無作為抽出

(2) 調査期間

- ・ 令和 6 年 1 月 31 日（水）～ 2 月 26 日（月）

(3) 調査方法

- ・ 配布方法：郵送による配布
- ・ 回収方法：郵送または WEB による回答

(4) 回収状況

- ・ 回答者数 877 人（うち WEB による回答者 162 人）
- ・ 回収率 43.9%

(5) その他

① 過去に実施した調査結果との比較について

本調査結果報告書では、過去に実施した調査結果と比較している箇所がある。比較対象とする調査及び調査概要は以下の通り。

調査対象：安曇野市内在住の 18 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出)

※居住地域・年代・性別を考慮して抽出

調査期間：令和 5 年 2 月 6 日（月）～2 月 27 日（月）

調査方法：郵送配布・郵送回収または WEB 回答

回収状況：回答者数 839 人(うち WEB による回答者 134 人)

回収率 42.0%

② その他の注意事項

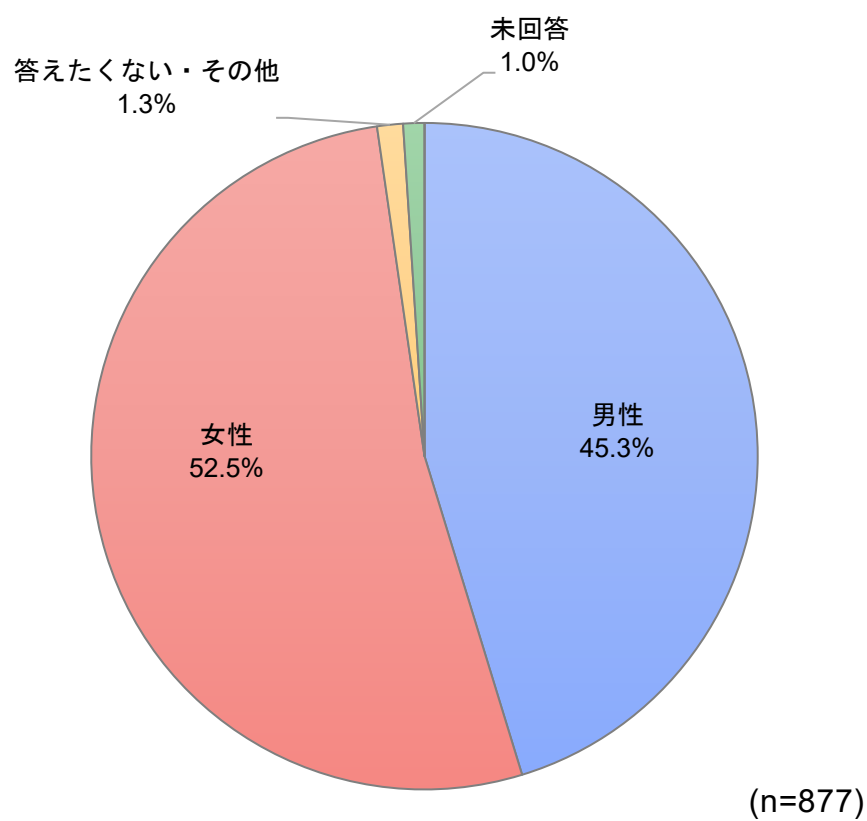
- ・ 四捨五入の関係から、構成比合計が 100%にならない箇所がある。
- ・ 四捨五入の関係から、今回調査と前回調査の数値の差と、表記した増減のポイントとが一致しない箇所がある。
- ・ 図表中の「n」は回答総数または該当する有効回答数を表している。

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

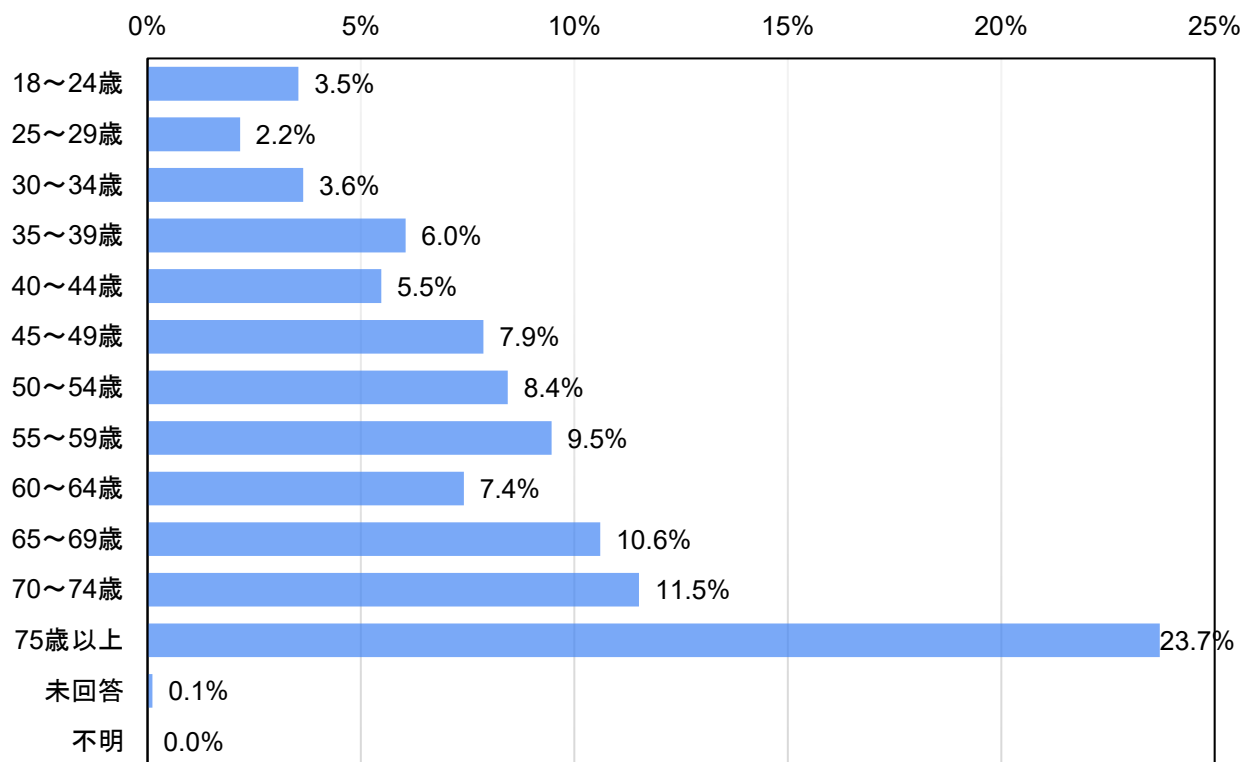
(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

図表 1 性別



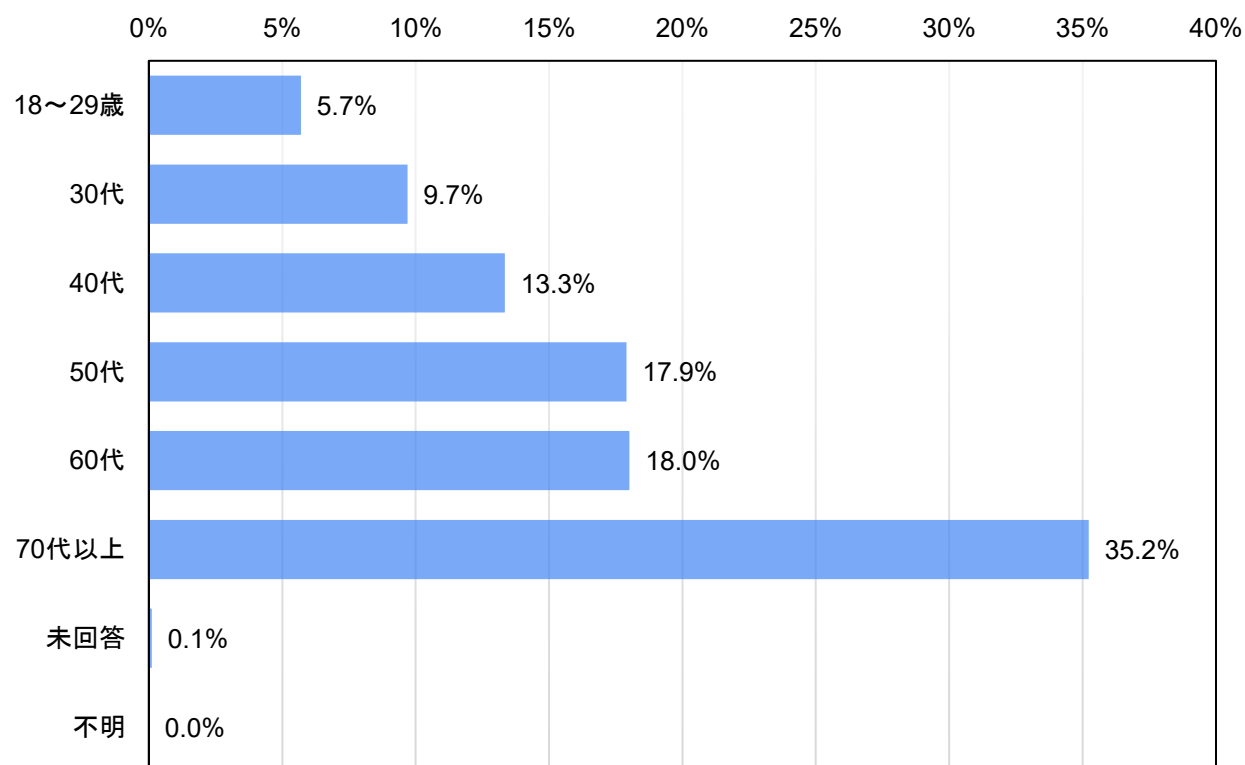
(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

図表 2 年齢



(n=877)

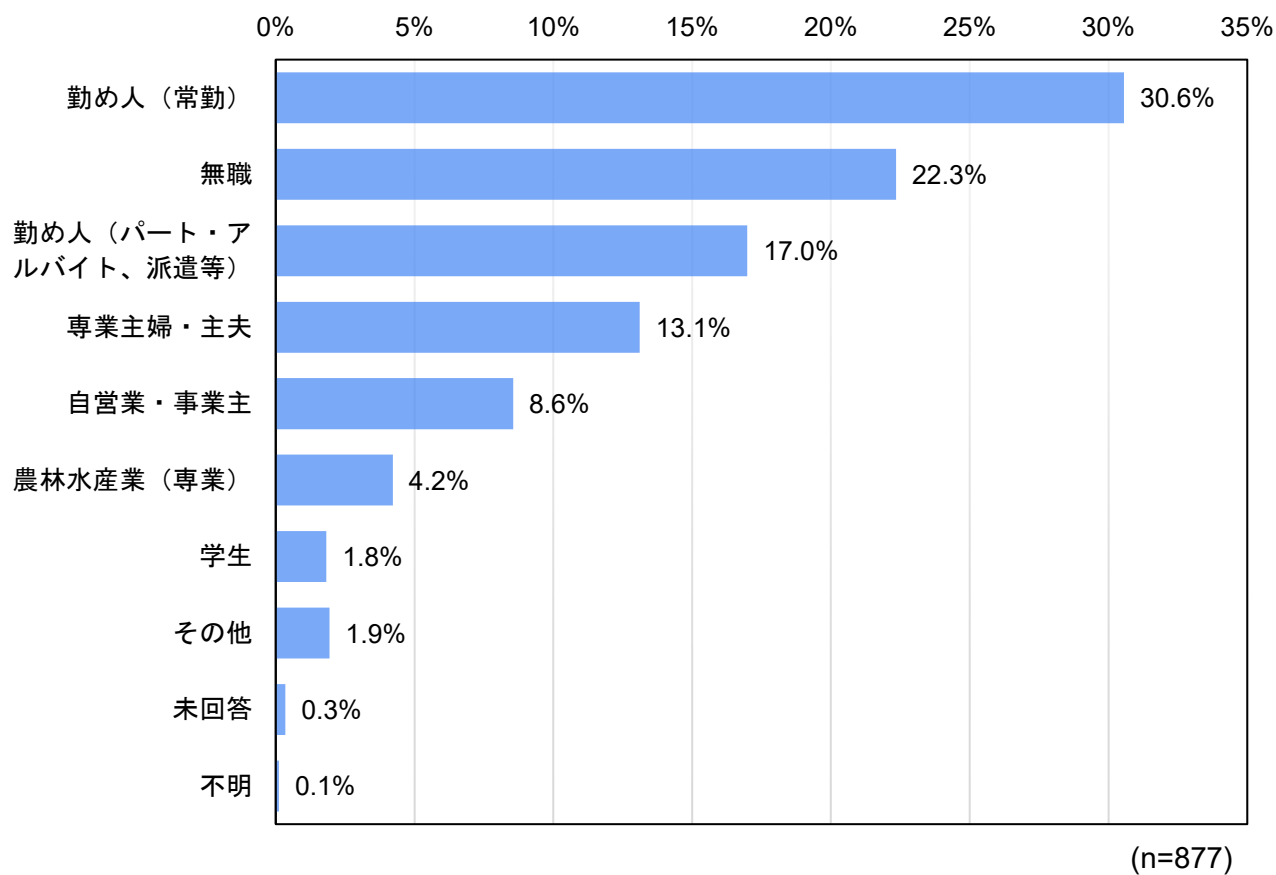
図表 3 年代



(n=877)

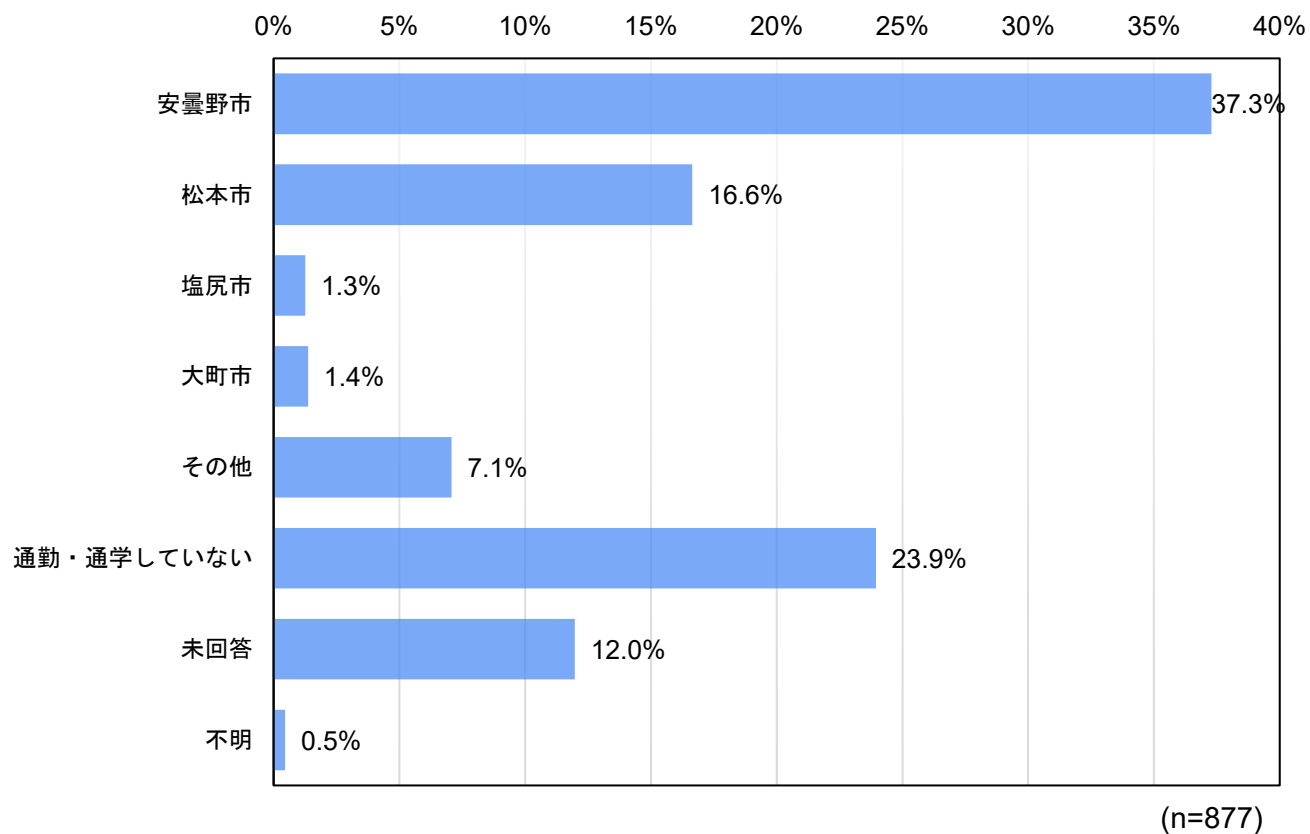
(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

図表 4 職業等



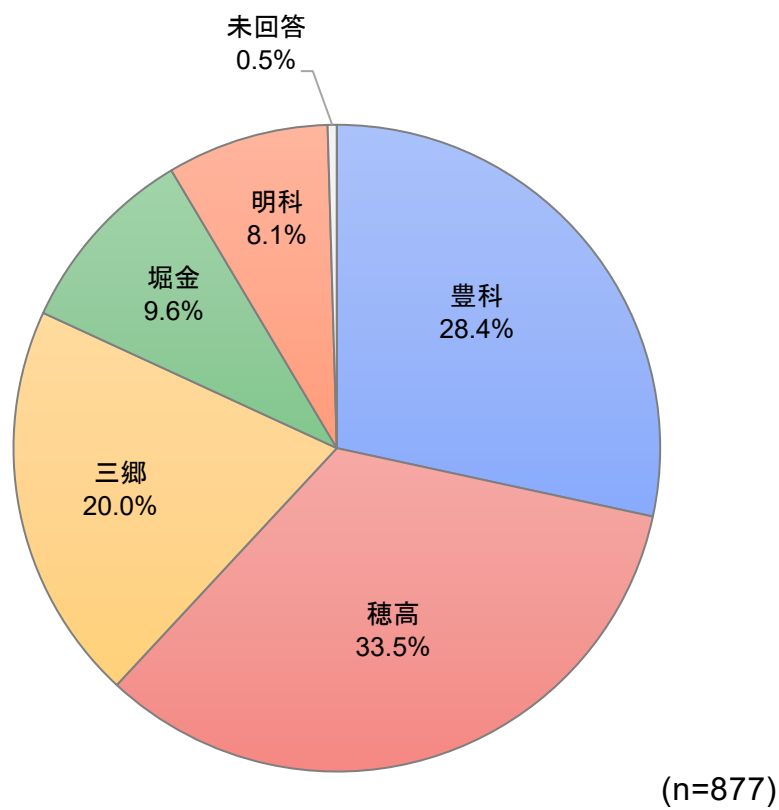
(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

図表 5 勤務先、通勤先

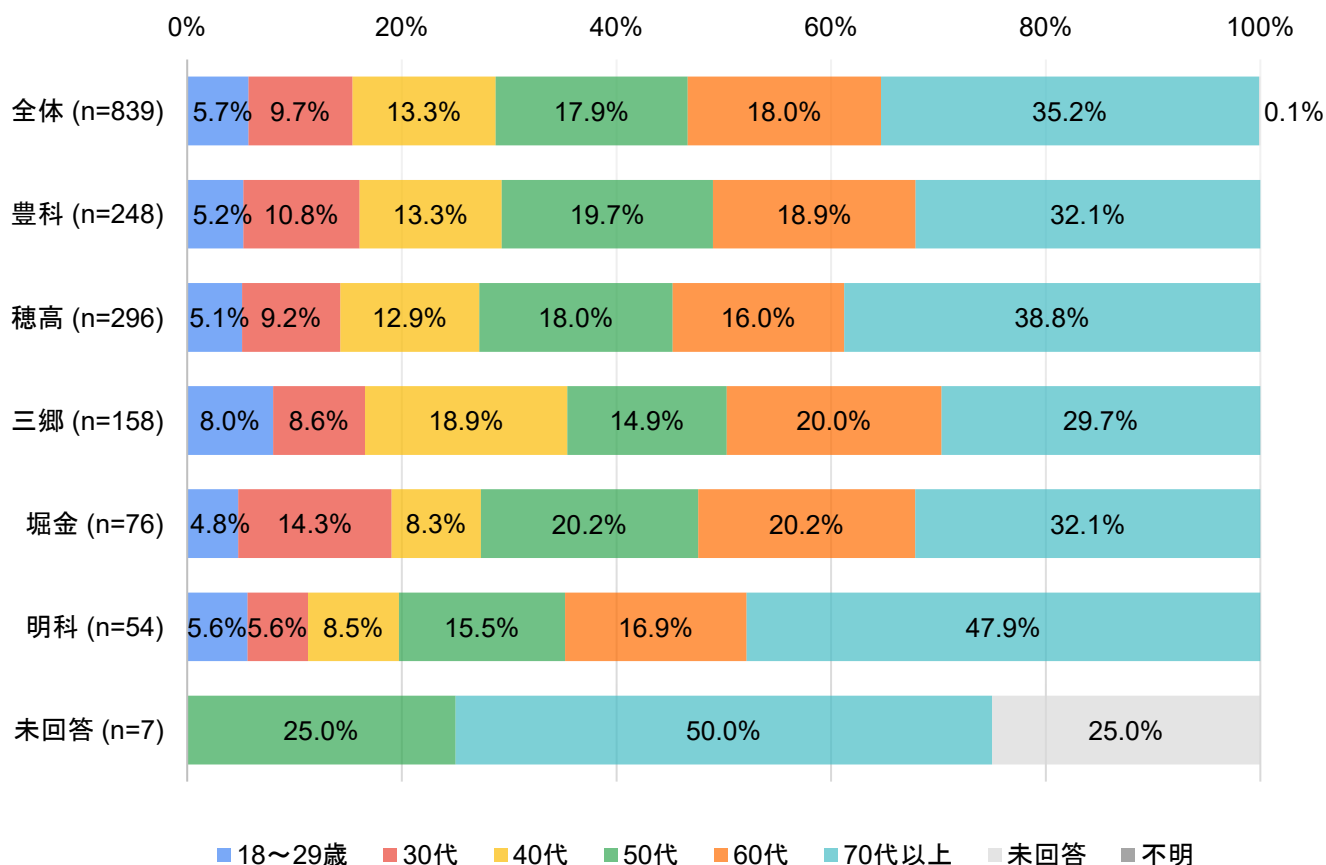


(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

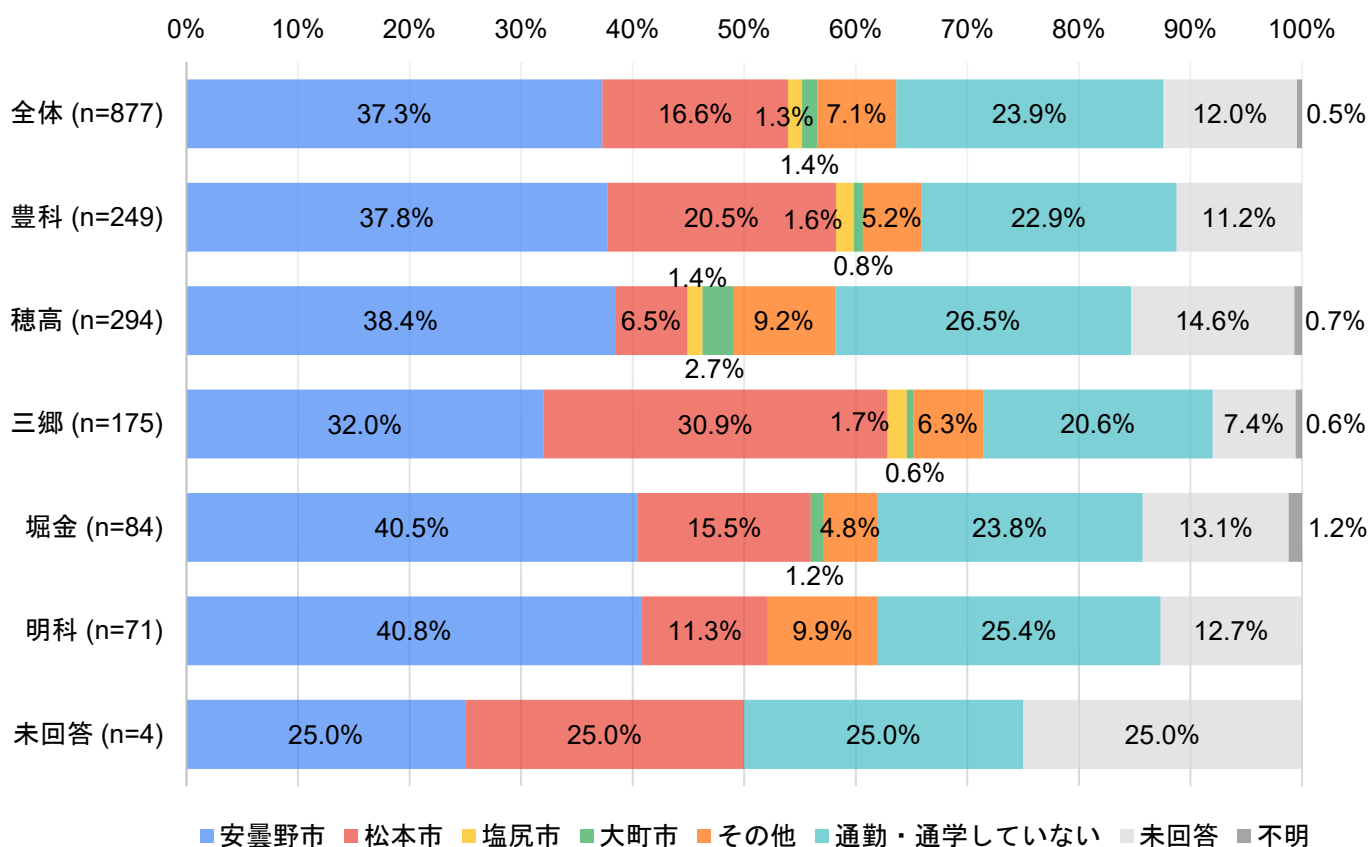
図表 6 居住地区



図表 7 【居住地区別】年代



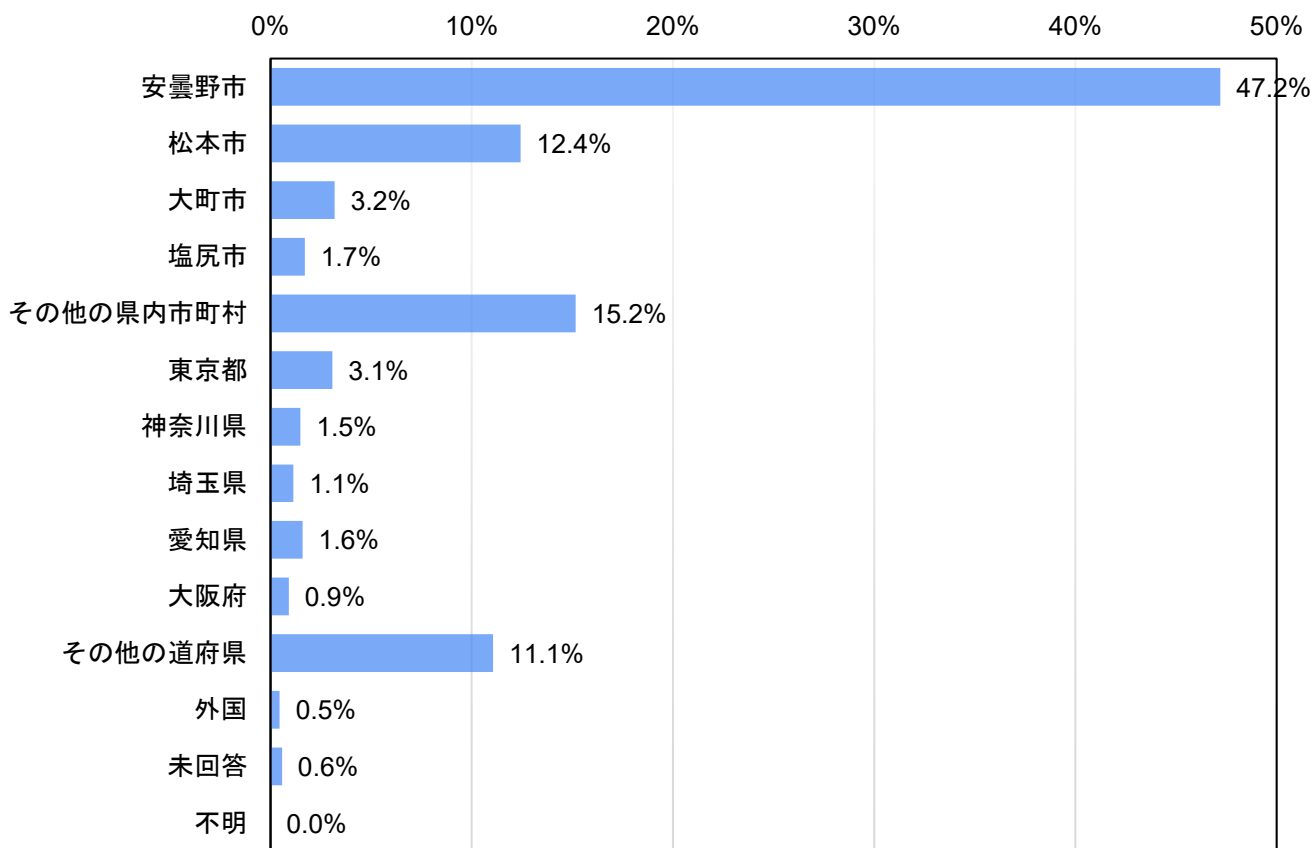
図表 8 【居住地区別】通勤先、通学先



(6) あなたの「出身地※」についてお答えください。(1つに○)

※ 15歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

図表 9 出身地



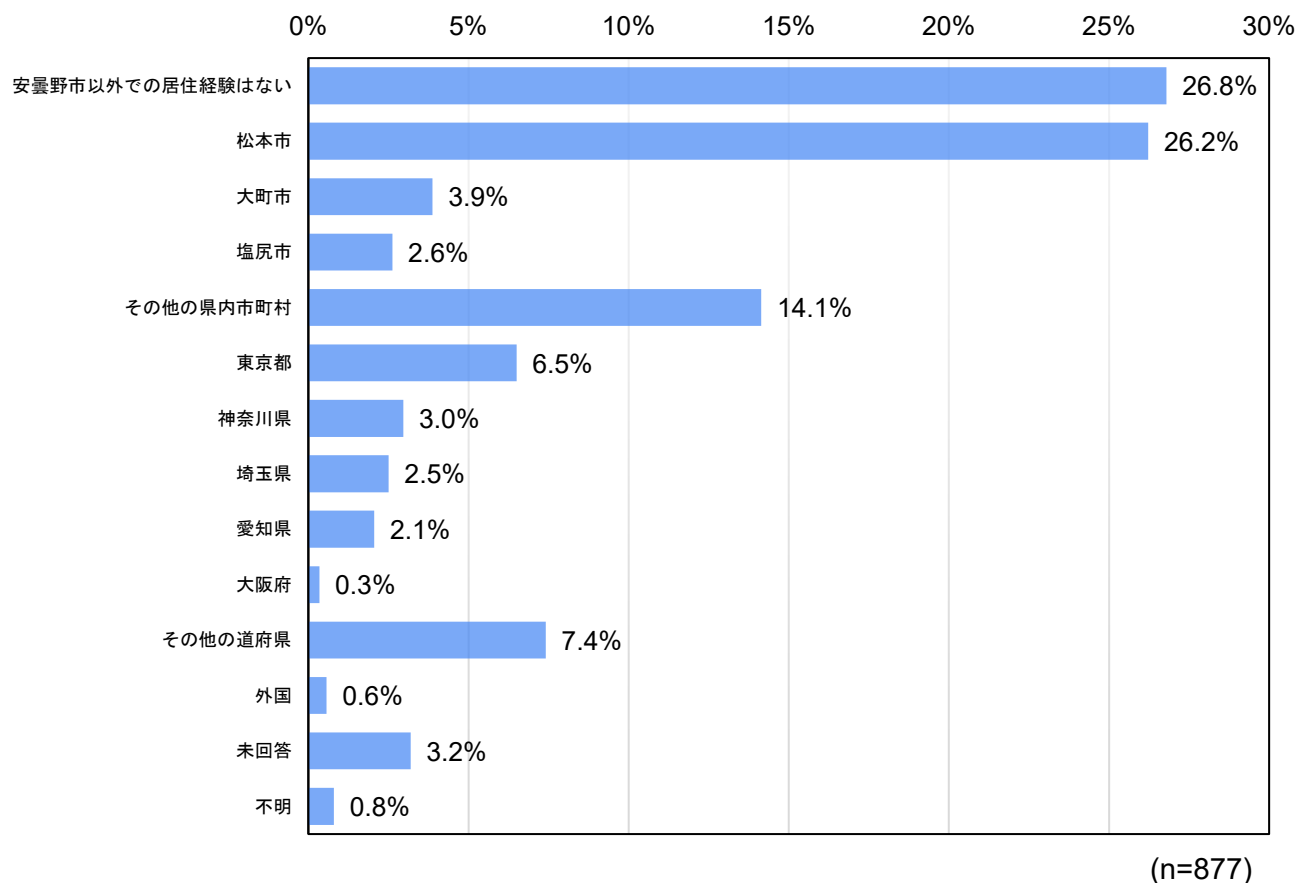
(n=877)

図表 10 【居住地区別】出身地

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
安曇野市	47.2%	44.2%	43.2%	48.6%	57.1%	59.2%	50.0%
松本市	12.4%	14.9%	8.8%	15.4%	10.7%	14.1%	0.0%
大町市	3.2%	2.8%	5.8%	0.0%	3.6%	1.4%	0.0%
塩尻市	1.7%	2.4%	1.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の県内市町村	15.2%	12.0%	18.0%	14.9%	14.3%	16.9%	0.0%
東京都	3.1%	3.2%	4.1%	2.9%	0.0%	2.8%	0.0%
神奈川県	1.5%	0.8%	1.7%	0.6%	3.6%	2.8%	0.0%
埼玉県	1.1%	1.2%	1.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
愛知県	1.6%	0.8%	2.4%	1.7%	2.4%	0.0%	0.0%
大阪府	0.9%	1.2%	1.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の道府県	11.1%	14.9%	11.9%	9.7%	7.1%	2.8%	0.0%
外国	0.5%	0.8%	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	50.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。

図表 11 安曇野市の転居前に居住していた地域

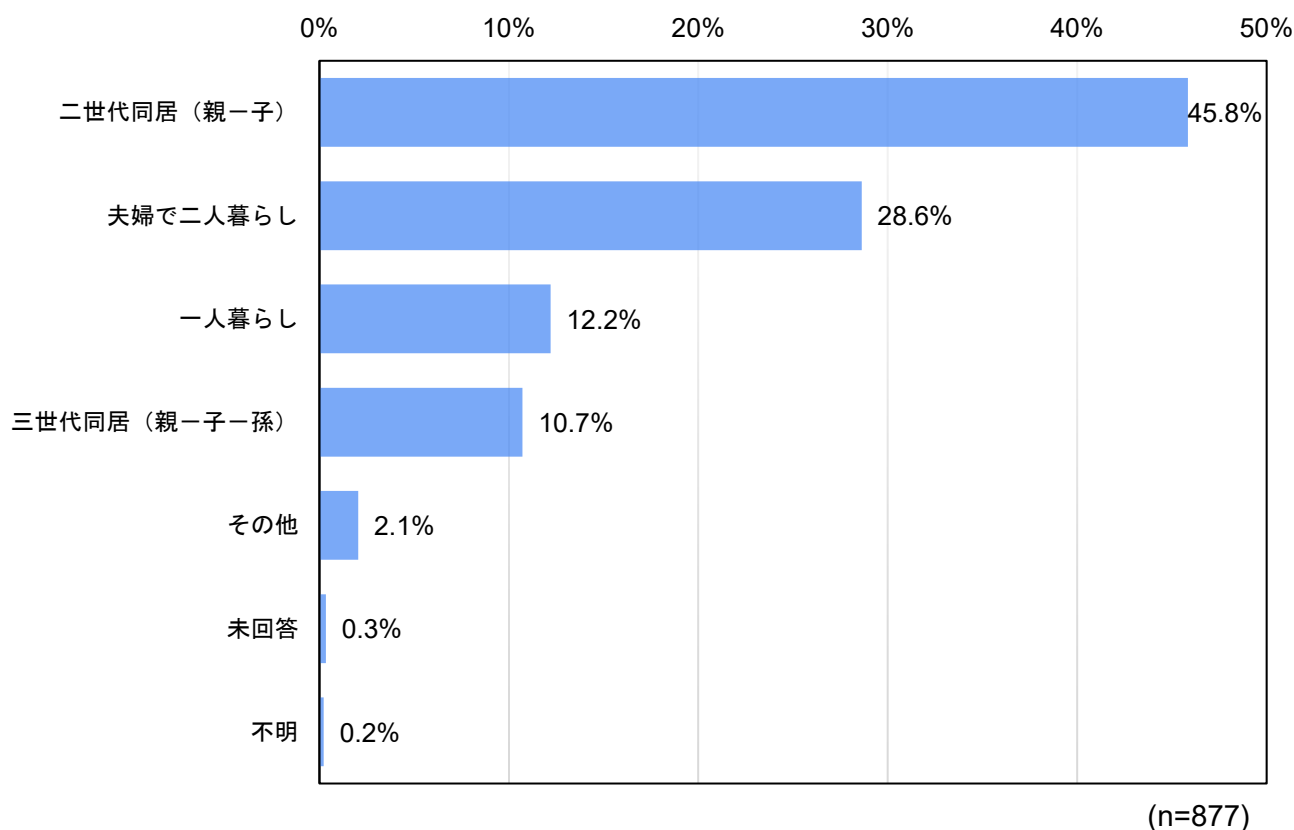


図表 12 【居住地区別】安曇野市の転居前に居住していた地域

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)	不明 (n=0)
安曇野市以外での居住経験はない	26.8%	22.9%	28.9%	24.0%	31.0%	35.2%	0.0%	0.0%
松本市	26.2%	30.1%	21.1%	32.0%	21.4%	26.8%	0.0%	0.0%
大町市	3.9%	2.8%	7.1%	0.0%	3.6%	4.2%	0.0%	0.0%
塩尻市	2.6%	3.2%	2.4%	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の県内市町村	14.1%	16.5%	14.6%	12.0%	11.9%	12.7%	0.0%	0.0%
東京都	6.5%	7.2%	4.1%	8.0%	9.5%	5.6%	25.0%	0.0%
神奈川県	3.0%	3.2%	2.7%	2.3%	4.8%	2.8%	0.0%	0.0%
埼玉県	2.5%	2.8%	2.7%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛知県	2.1%	0.4%	3.4%	1.1%	3.6%	2.8%	0.0%	0.0%
大阪府	0.3%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の道府県	7.4%	6.8%	8.2%	6.3%	10.7%	5.6%	0.0%	0.0%
外国	0.6%	0.8%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	3.2%	2.4%	3.1%	3.4%	3.6%	2.8%	50.0%	0.0%
不明	0.8%	0.4%	1.0%	0.6%	0.0%	1.4%	25.0%	0.0%

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

図表 13 世帯状況



図表 14 【居住地区別】世帯状況

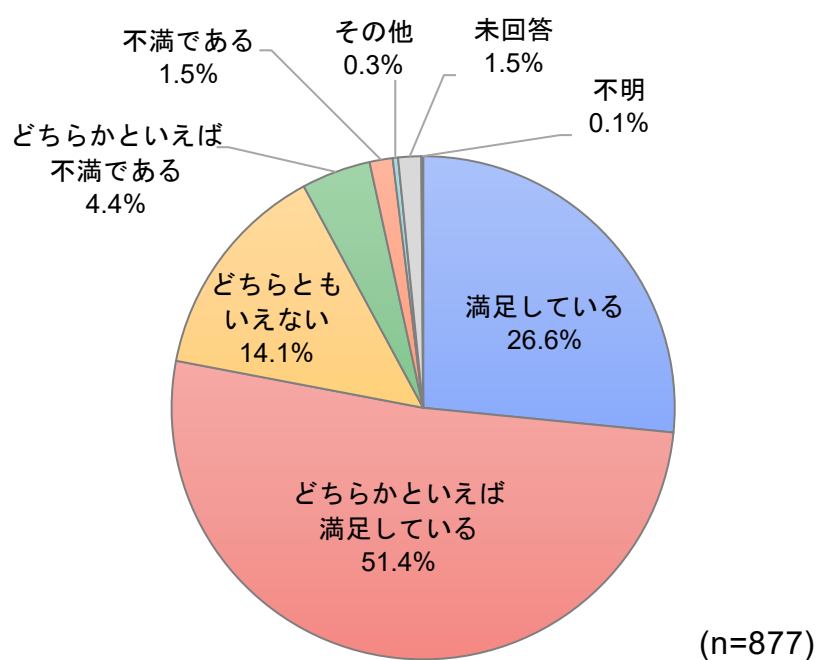
	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
二世代同居（親－子）	45.8%	44.6%	45.6%	53.1%	46.4%	33.8%	25.0%
夫婦で二人暮らし	28.6%	27.3%	30.6%	22.9%	32.1%	35.2%	25.0%
一人暮らし	12.2%	15.7%	11.2%	10.9%	8.3%	11.3%	25.0%
三世代同居（親－子－孫）	10.7%	10.0%	9.9%	10.3%	10.7%	18.3%	0.0%
その他	2.1%	2.0%	1.7%	2.9%	2.4%	1.4%	0.0%
未回答	0.3%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
不明	0.2%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2. 安曇野市での暮らしについて

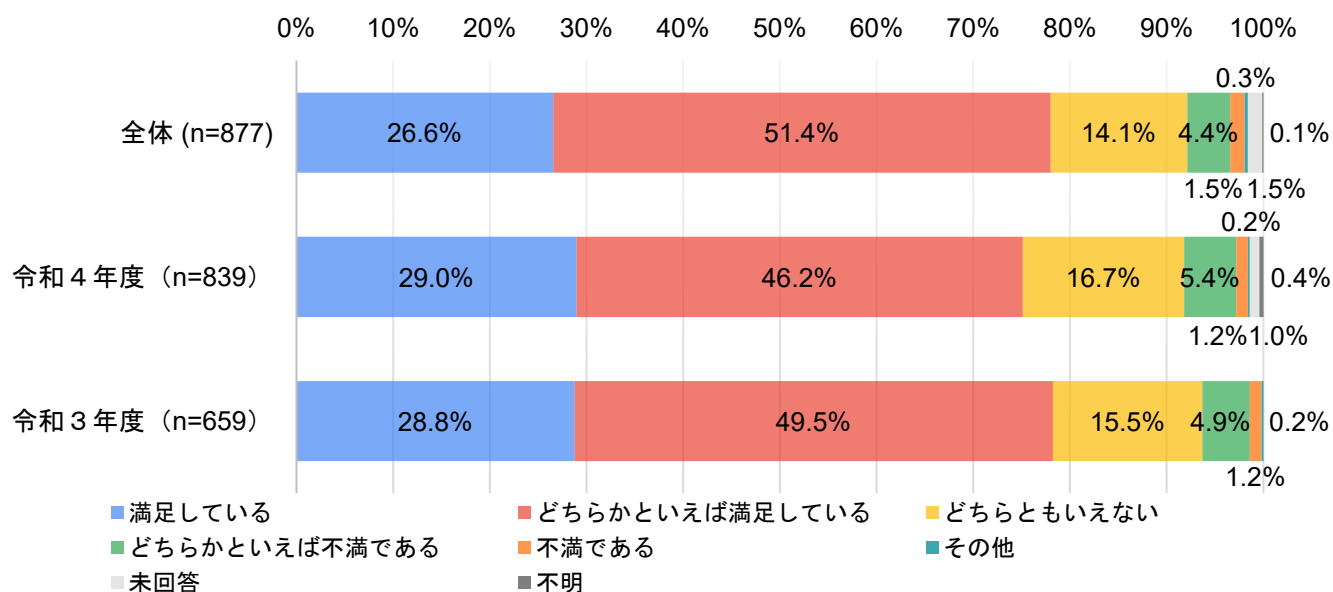
問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

「どちらかといえば満足している」(51.4%) が最も高く、次いで「満足している」(26.6%)、「どちらともいえない」(14.1%)、「どちらかといえば不満である」(4.4%)の順となった。「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた78.0%が満足していると答え、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた不満である5.9%を大きく上回った。

図表 15 安曇野市での生活の満足度

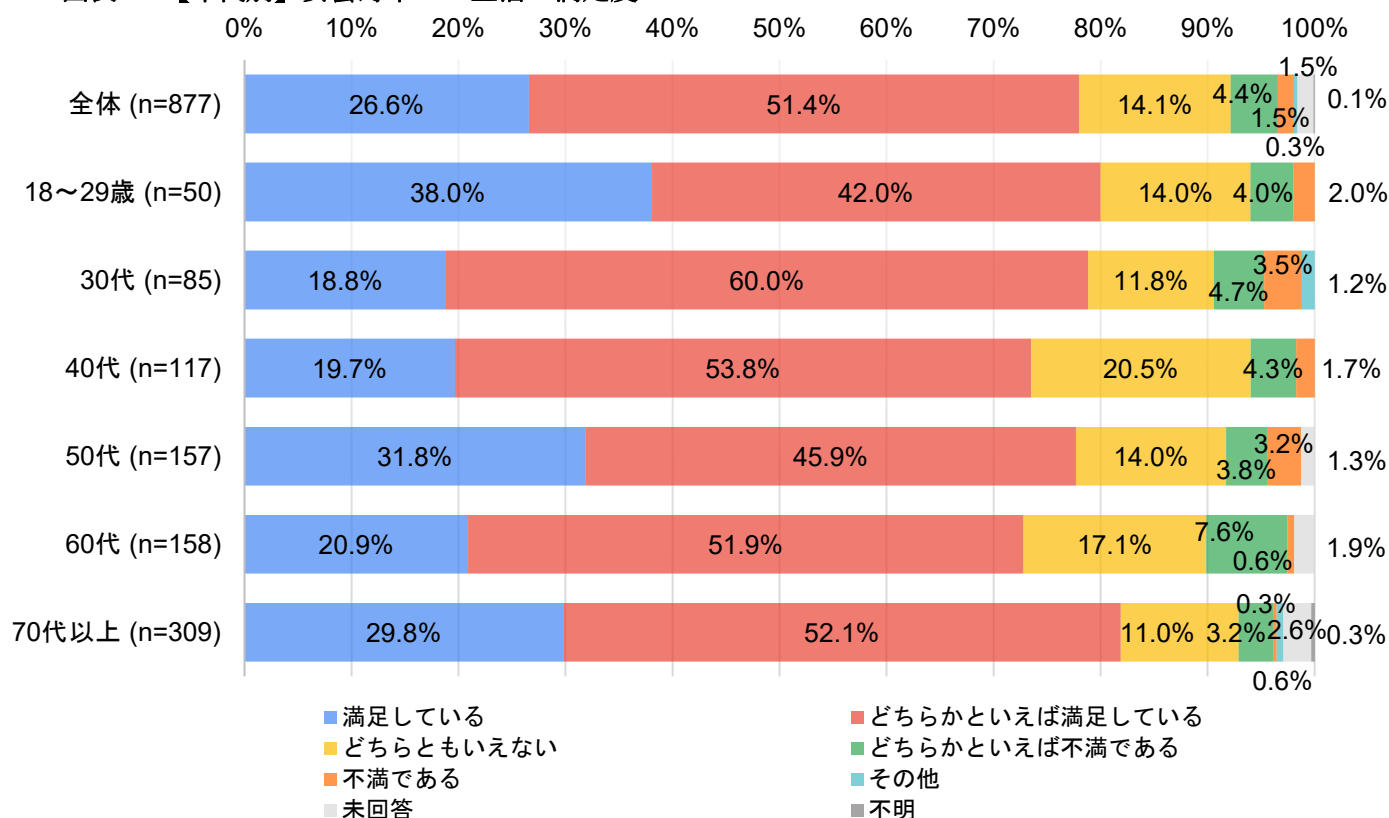


図表 16 【過去比較】安曇野市での生活の満足度



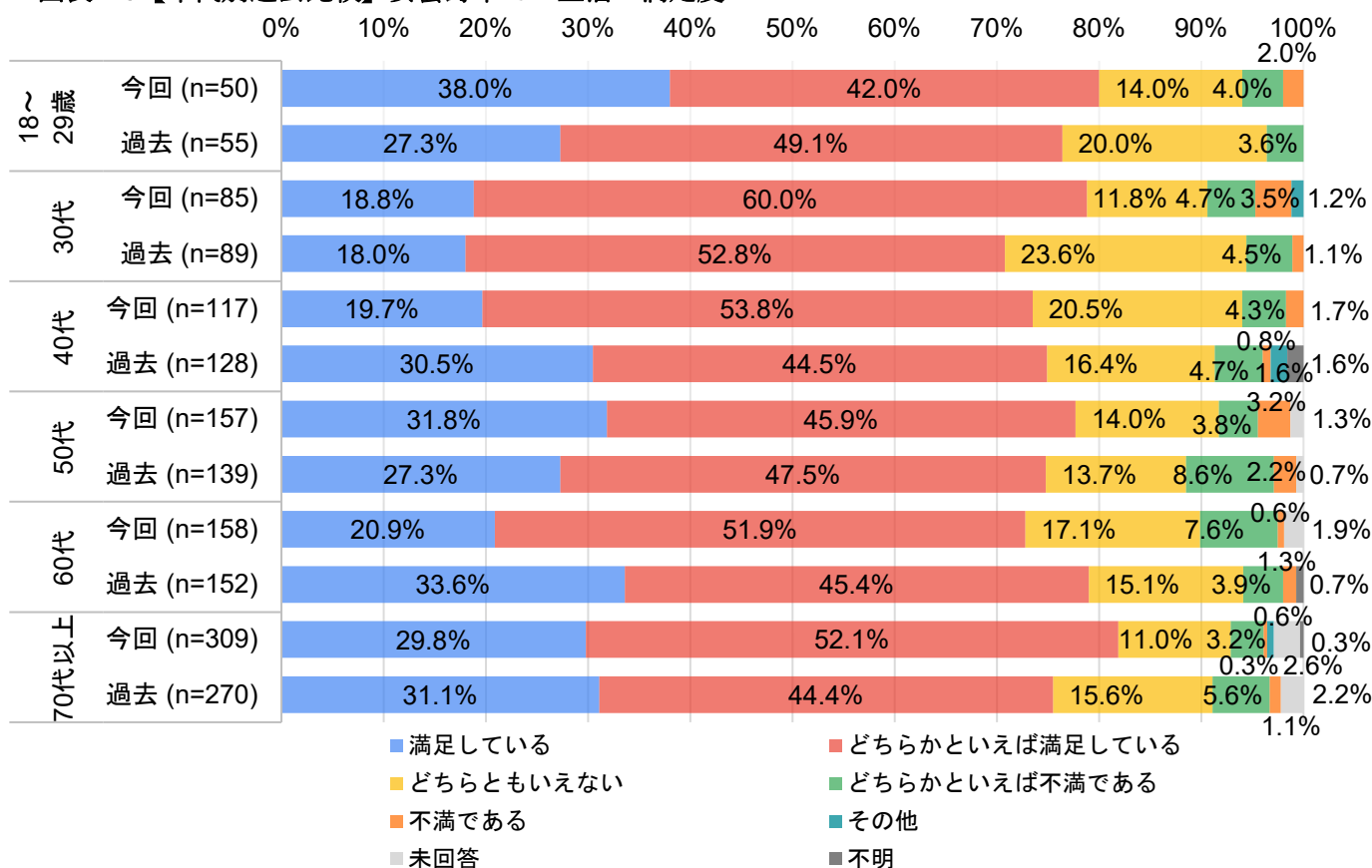
年代別では、すべての年代で「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が、7割を超えている。

図表 17 【年代別】安曇野市での生活の満足度

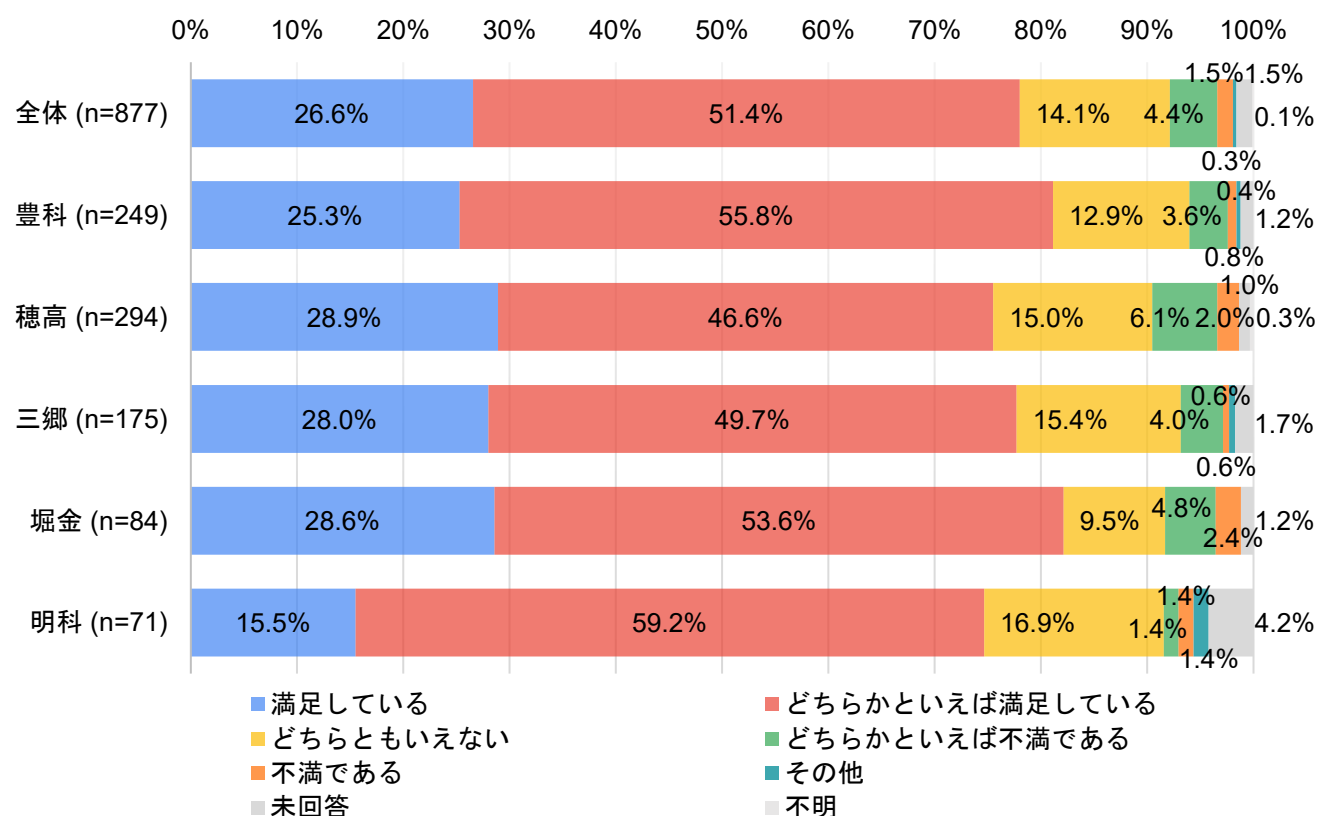


過去調査（令和4年）と比較すると、18～29歳の「満足している」が27.3%から10.7ポイント増加し、38.0%となった。一方で、60代の「満足している」が33.6%から12.7ポイント減少し、20.9%となった。

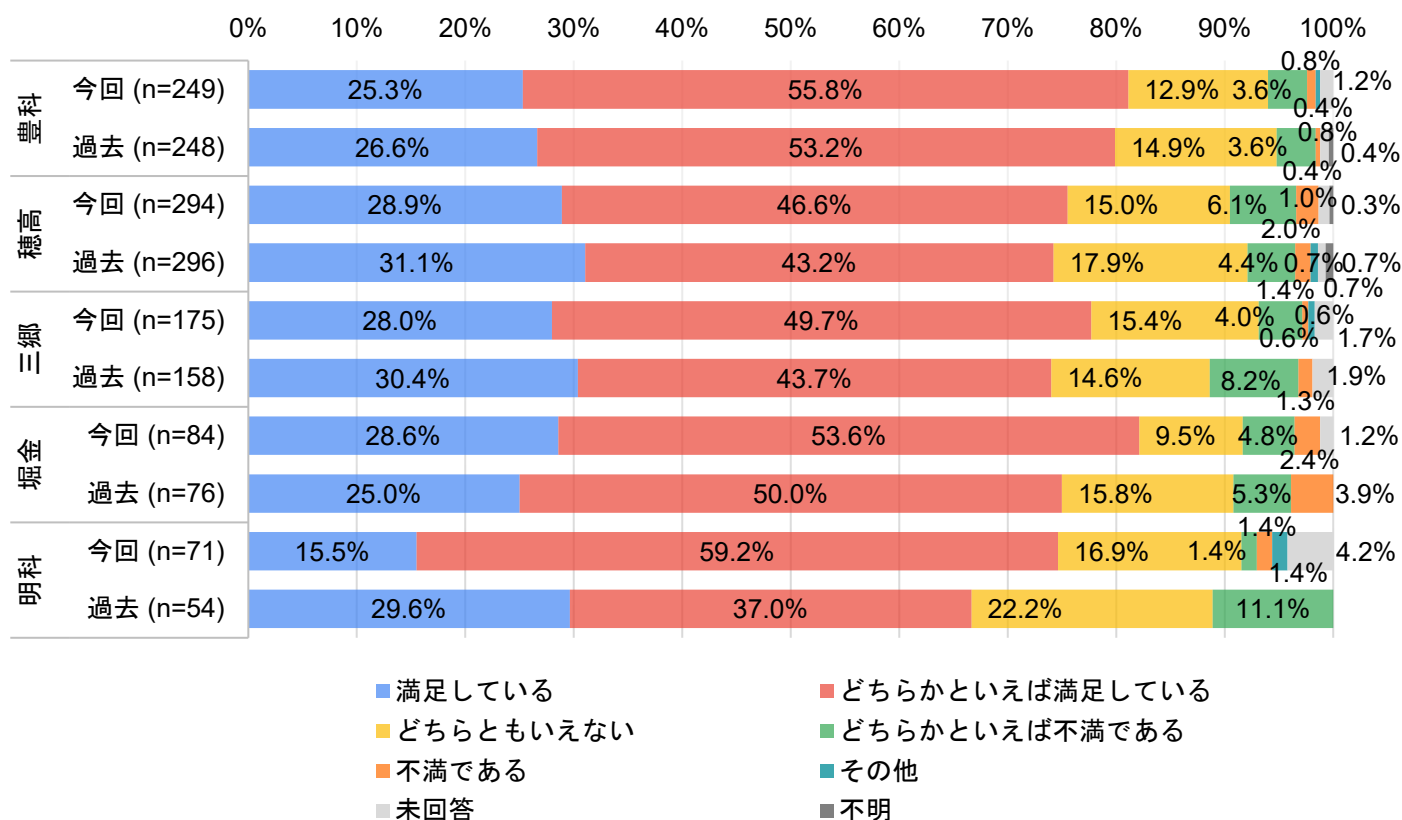
図表 18 【年代別過去比較】安曇野市での生活の満足度



図表 19【居住地区別】安曇野市での生活の満足度



図表 20【居住地区別過去比較】安曇野市での生活の満足度

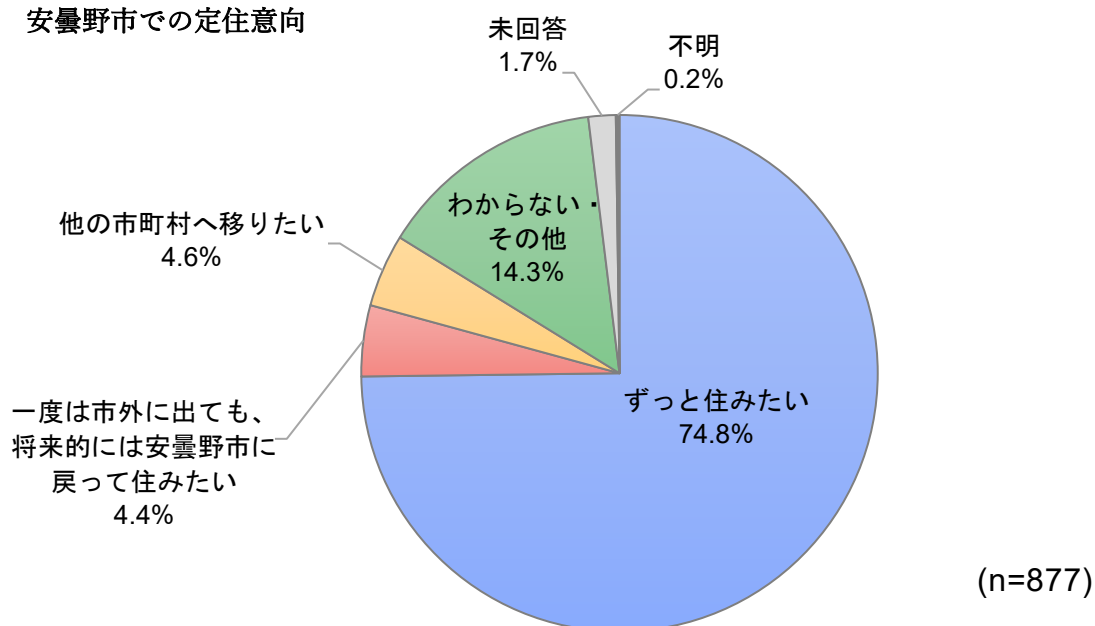


問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

「ずっと住みたい」(74.8%)が最も高く、次いで「わからない・その他」(14.3%)、「他の市町村へ移りたい」(4.6%)、「一度は市外に出ても将来的には安曇野市に戻って住みたい」(4.4%)の順となった。

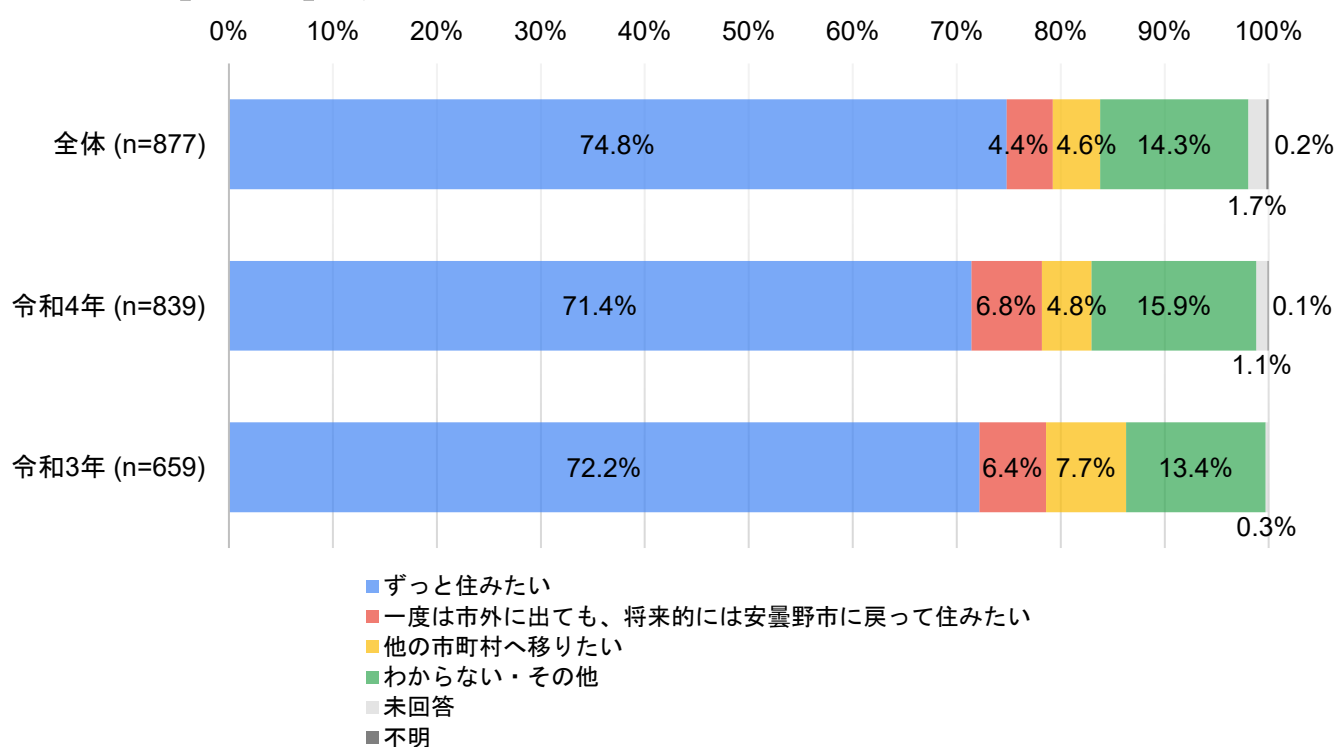
「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合わせた約8割(79.2%)が安曇野市に住み続けたいと答えた。

図表 21 安曇野市での定住意向



過去調査(令和4年)と比較すると、「ずっと住みたい」が71.4%から3.4ポイント増加し、74.8%となった。

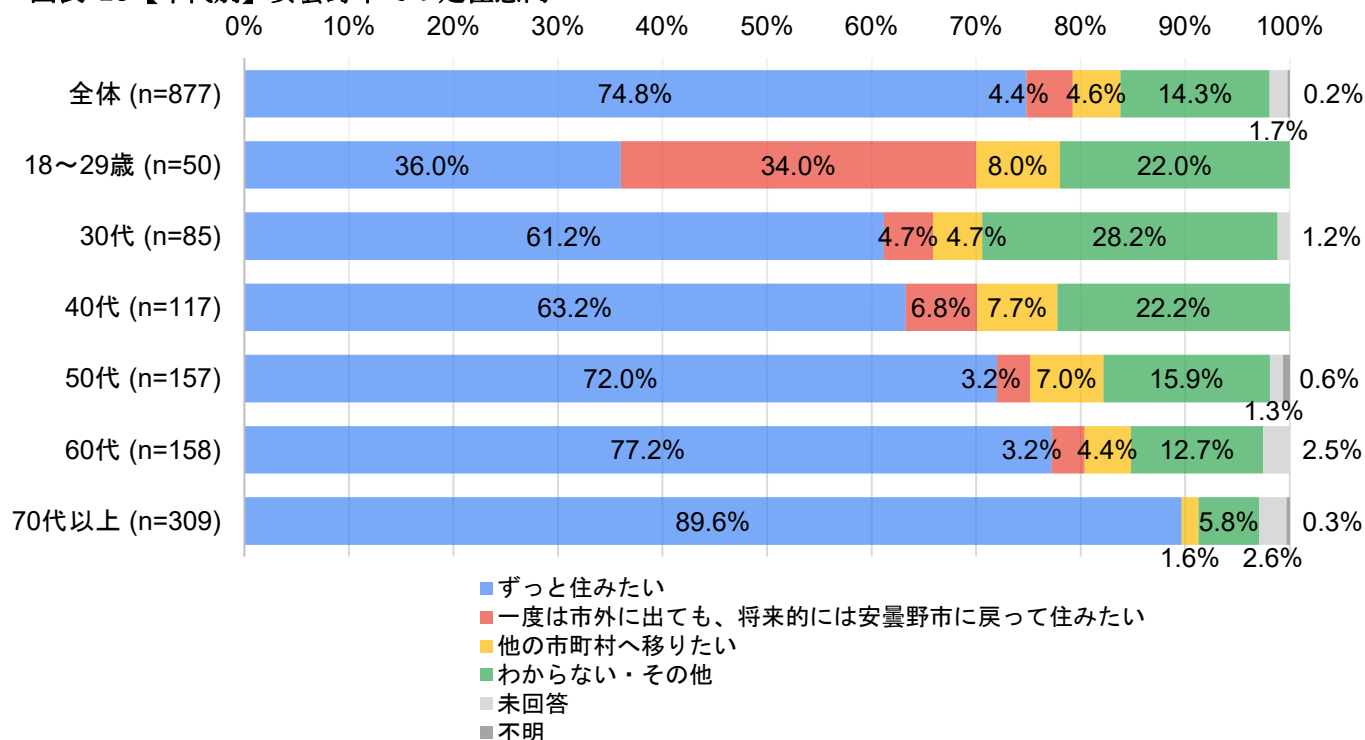
図表 22 【過去比較】安曇野市での定住意向



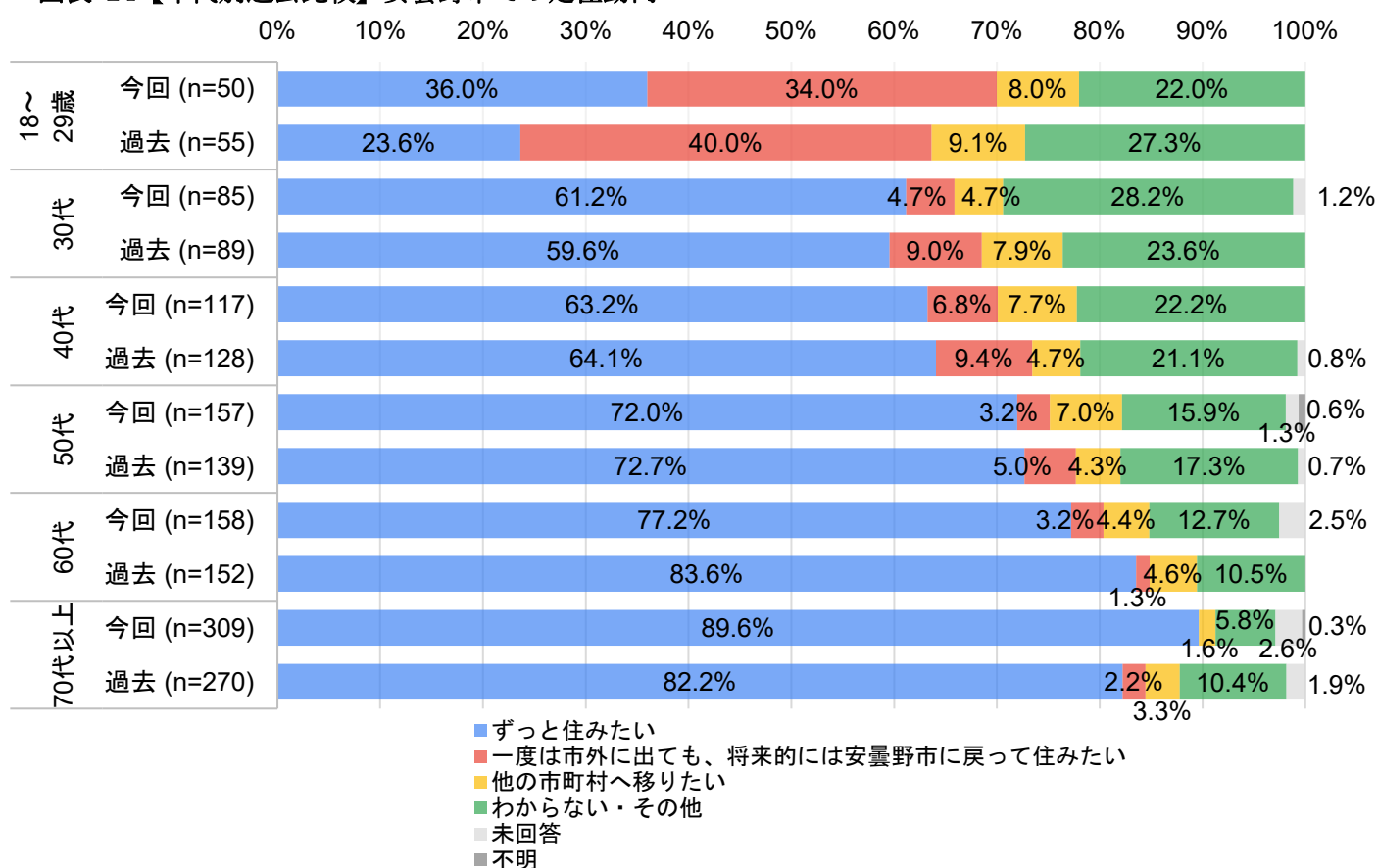
年齢別では、「ずっと住みたい」は18～29歳（36.0%）が低く、70代以上（89.6%）が高かった。「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」は18～29歳（34.0%）が高く、70代以上（0.0%）が低かった。「わからない・その他」は30代（28.2%）、40代（22.2%）が高く、70代以上（5.8%）が低かった。

居住区別において特徴的な傾向はなかった。

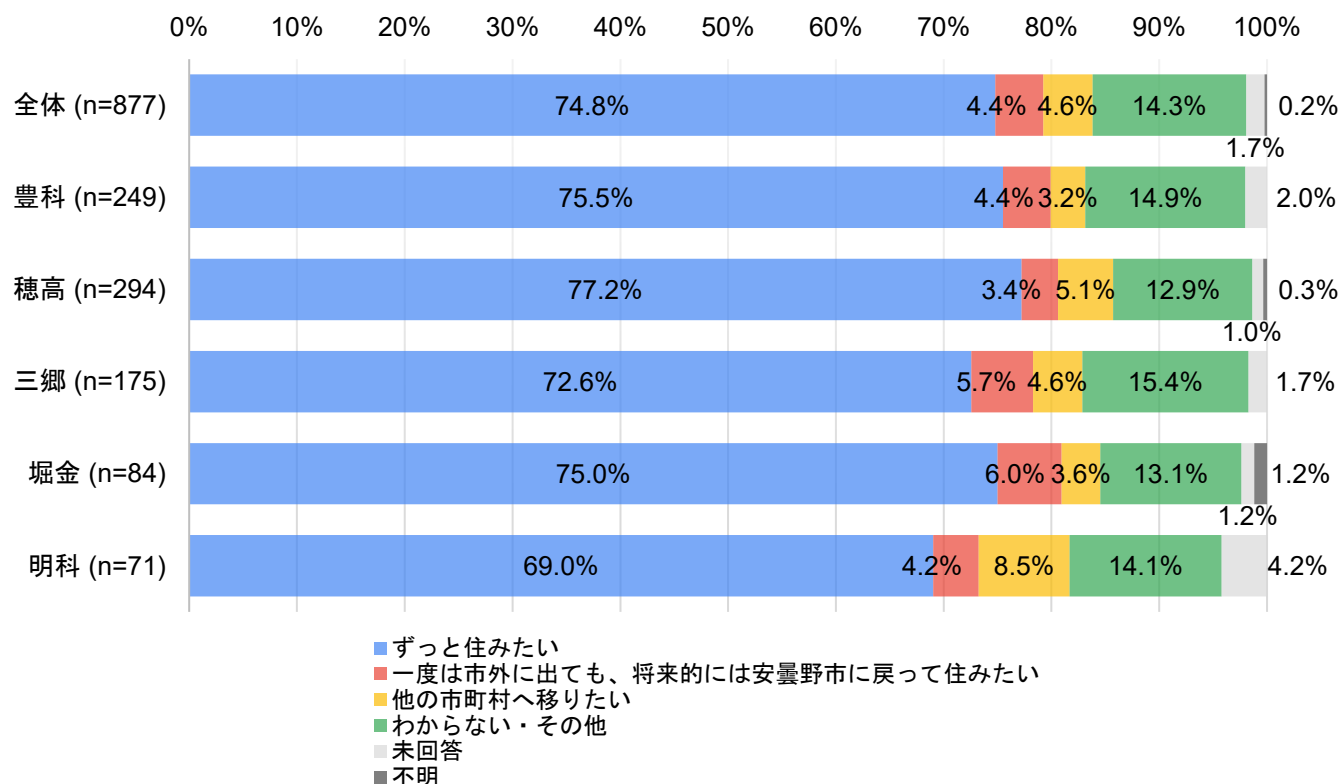
図表 23 【年代別】安曇野市での定住意向



図表 24 【年代別過去比較】安曇野市での定住動向

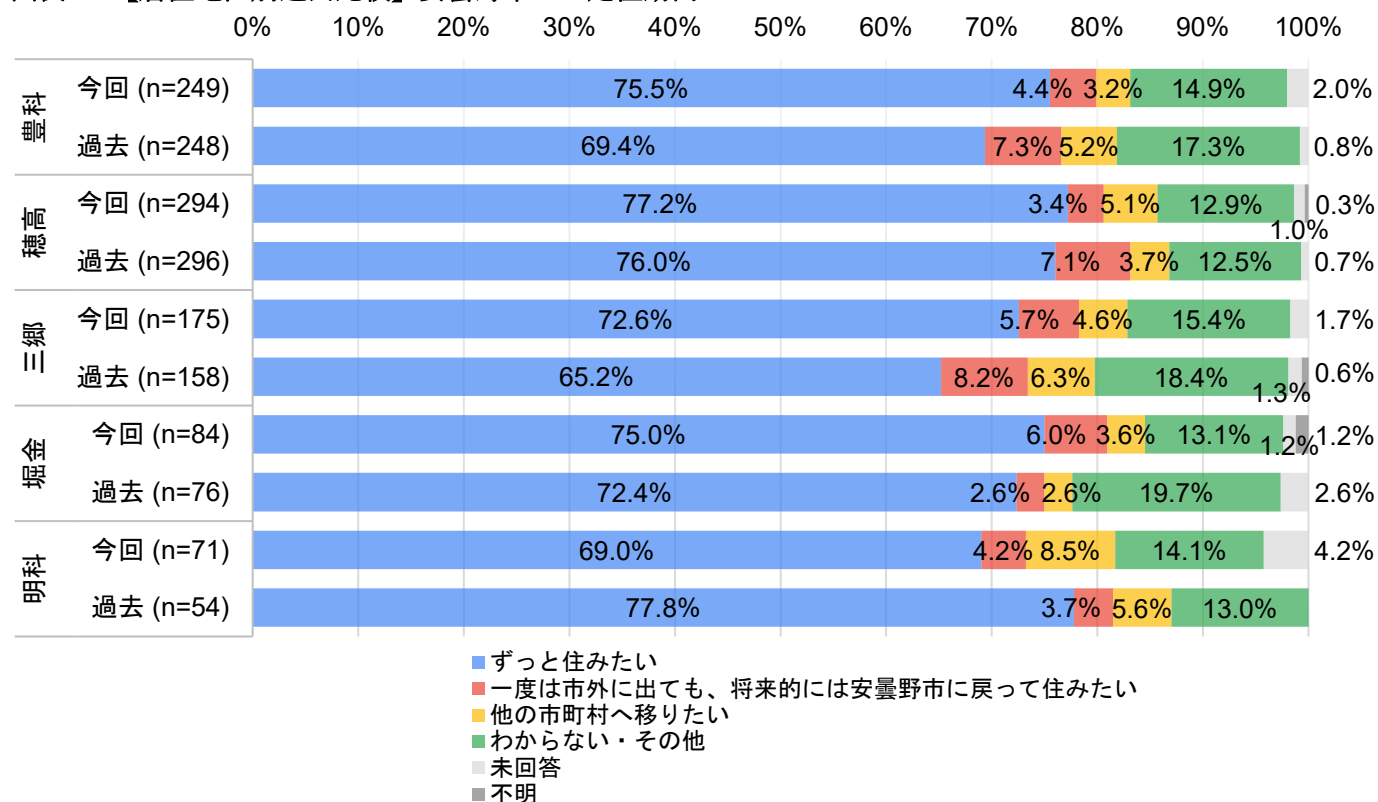


図表 25 【居住地区別】安曇野市での定住意向



居住地区別で過去調査（令和4年）と比較すると、三郷地区では「ずっと住みたい」が、65.2%から7.4ポイント増加し、72.6%となった。一方、穂高地区では「一度は市外に出て、将来的には安曇野市に戻って住みたい」が、7.1%から3.7ポイント減少し、3.4%となった。

図表 26 【居住地区別過去比較】安曇野市での定住動向



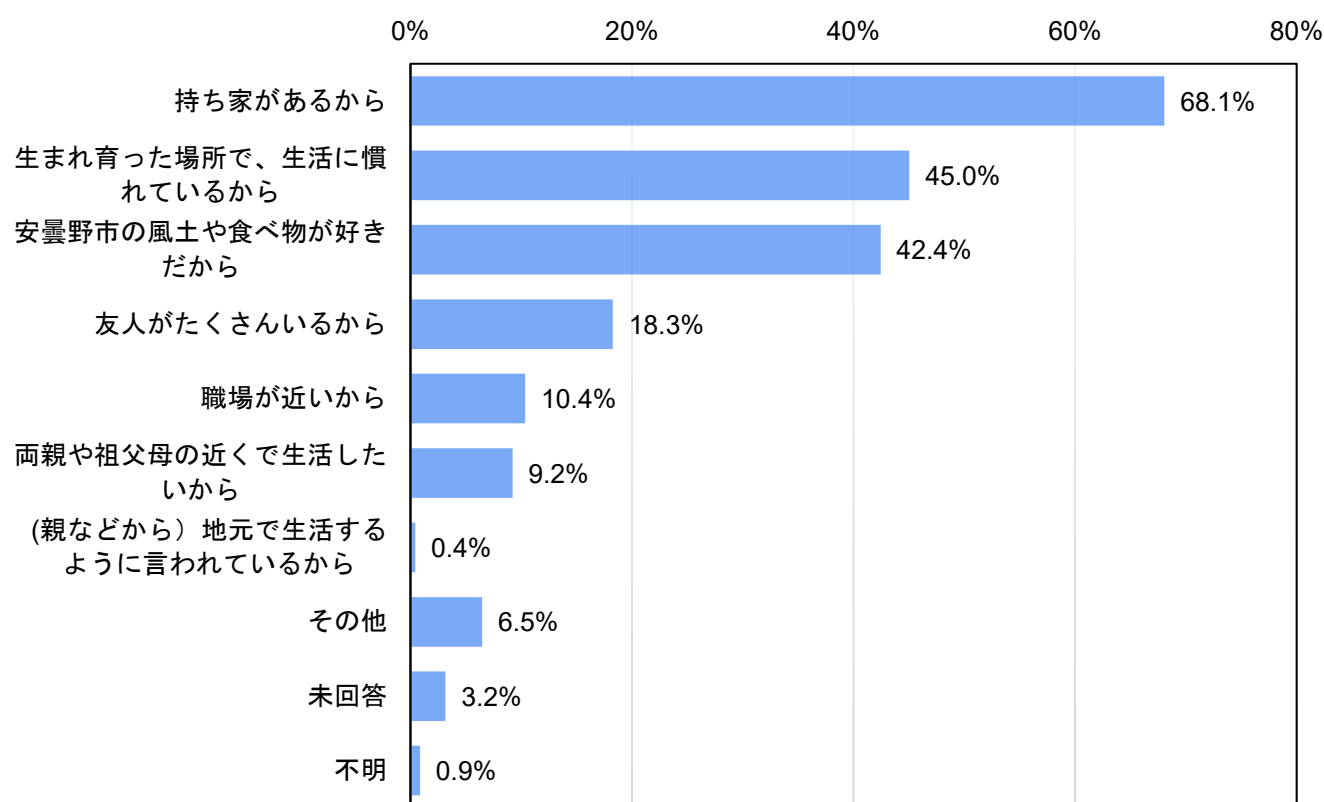
問4で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。

安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

安曇野市に住みたいと回答した方に聞いたところ、「持ち家があるから」(68.1%)が最も高く、次いで「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」(45.0%)、「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」(42.4%)、の順となった。

年代別では、18～29歳は「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」(80.0%)が高かった。

図表 27 安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）



(n=695)

図表 28 【年代別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

	全体 (n=695)	18～29歳 (n=35)	30代 (n=56)	40代 (n=82)	50代 (n=118)	60代 (n=127)	70代以上 (n=277)	未回答 (n=0)
持ち家があるから	68.1%	28.6%	48.2%	59.8%	72.9%	76.4%	73.6%	0.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	45.0%	80.0%	44.6%	48.8%	45.8%	38.6%	42.2%	0.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	42.4%	48.6%	32.1%	42.7%	40.7%	40.9%	45.1%	0.0%
友人がたくさんいるから	18.3%	17.1%	17.9%	9.8%	16.1%	17.3%	22.4%	0.0%
職場が近いから	10.4%	8.6%	28.6%	13.4%	13.6%	13.4%	3.2%	0.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	9.2%	22.9%	32.1%	24.4%	10.2%	3.1%	0.7%	0.0%
(親などから) 地元で生活するように言われているから	0.4%	0.0%	1.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	6.5%	8.6%	8.9%	4.9%	10.2%	2.4%	6.5%	0.0%
未回答	3.2%	2.9%	0.0%	3.7%	2.5%	3.9%	3.6%	0.0%
不明	0.9%	0.0%	3.6%	0.0%	0.8%	0.8%	0.7%	0.0%

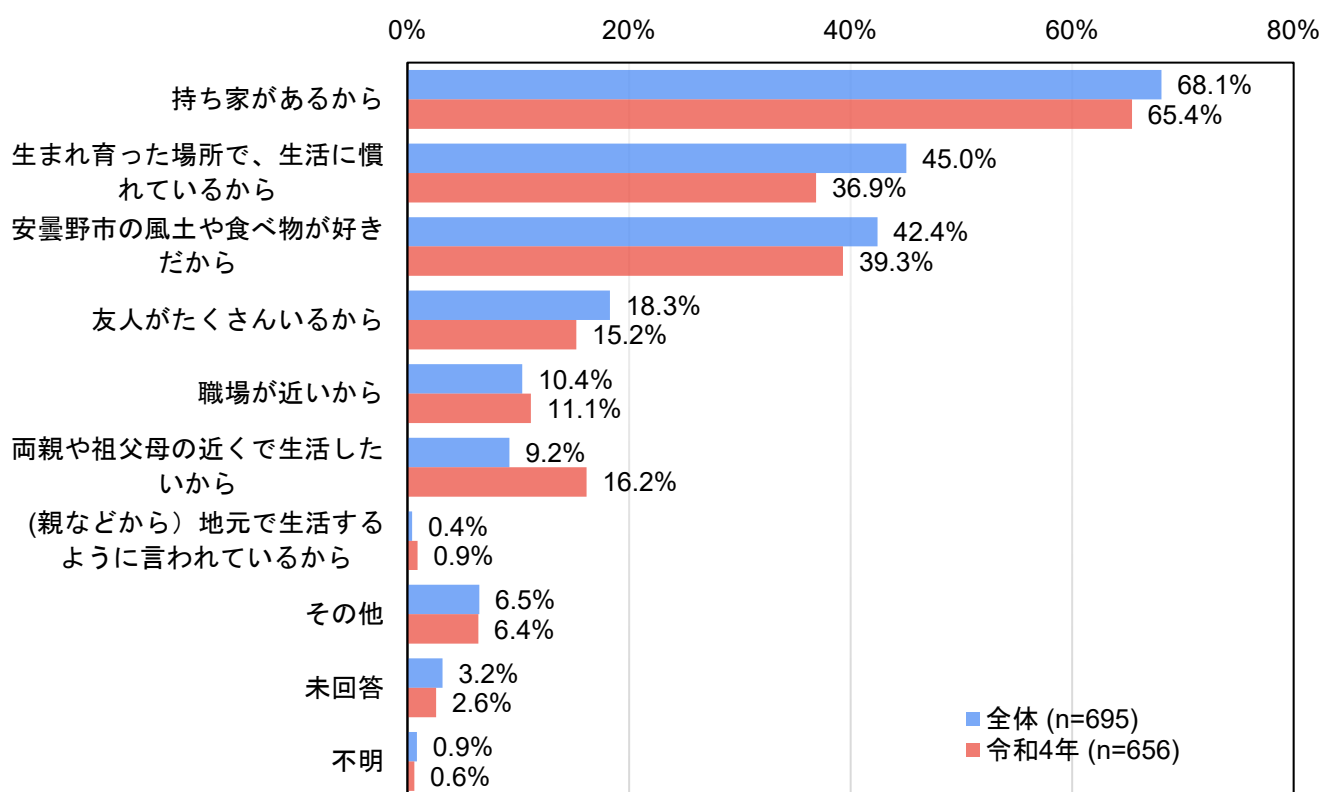
居住地区別では、「持ち家があるから」は穂高、明科地区が高く、堀金地区は「友達がたくさんいるから」(29.4%)が高かった。

過去調査（令和4年）と比較すると、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」は36.9%から8.1ポイント増加し、45.0%となった。一方で「両親や祖父母の近くで生活したいから」は16.2%から7.0ポイント減少し、9.2%となった。

図表 29 【居住地区別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

	全体 (n=695)	豊科 (n=199)	穂高 (n=237)	三郷 (n=137)	堀金 (n=68)	明科 (n=52)	未回答 (n=2)
持ち家があるから	68.1%	64.3%	70.5%	69.3%	64.7%	73.1%	50.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	45.0%	44.2%	40.5%	47.4%	52.9%	50.0%	100.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	42.4%	41.2%	47.3%	41.6%	38.2%	34.6%	0.0%
友人がたくさんいるから	18.3%	17.6%	16.0%	17.5%	29.4%	19.2%	0.0%
職場が近いから	10.4%	10.6%	11.0%	11.7%	10.3%	3.8%	0.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	9.2%	9.5%	8.0%	8.8%	14.7%	7.7%	0.0%
(親などから) 地元で生活するように言われているから	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%	1.5%	1.9%	0.0%
その他	6.5%	8.5%	7.2%	4.4%	7.4%	0.0%	0.0%
未回答	3.2%	5.5%	1.3%	1.5%	2.9%	7.7%	0.0%
不明	0.9%	0.5%	0.4%	1.5%	2.9%	0.0%	0.0%

図表 30 【過去比較】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

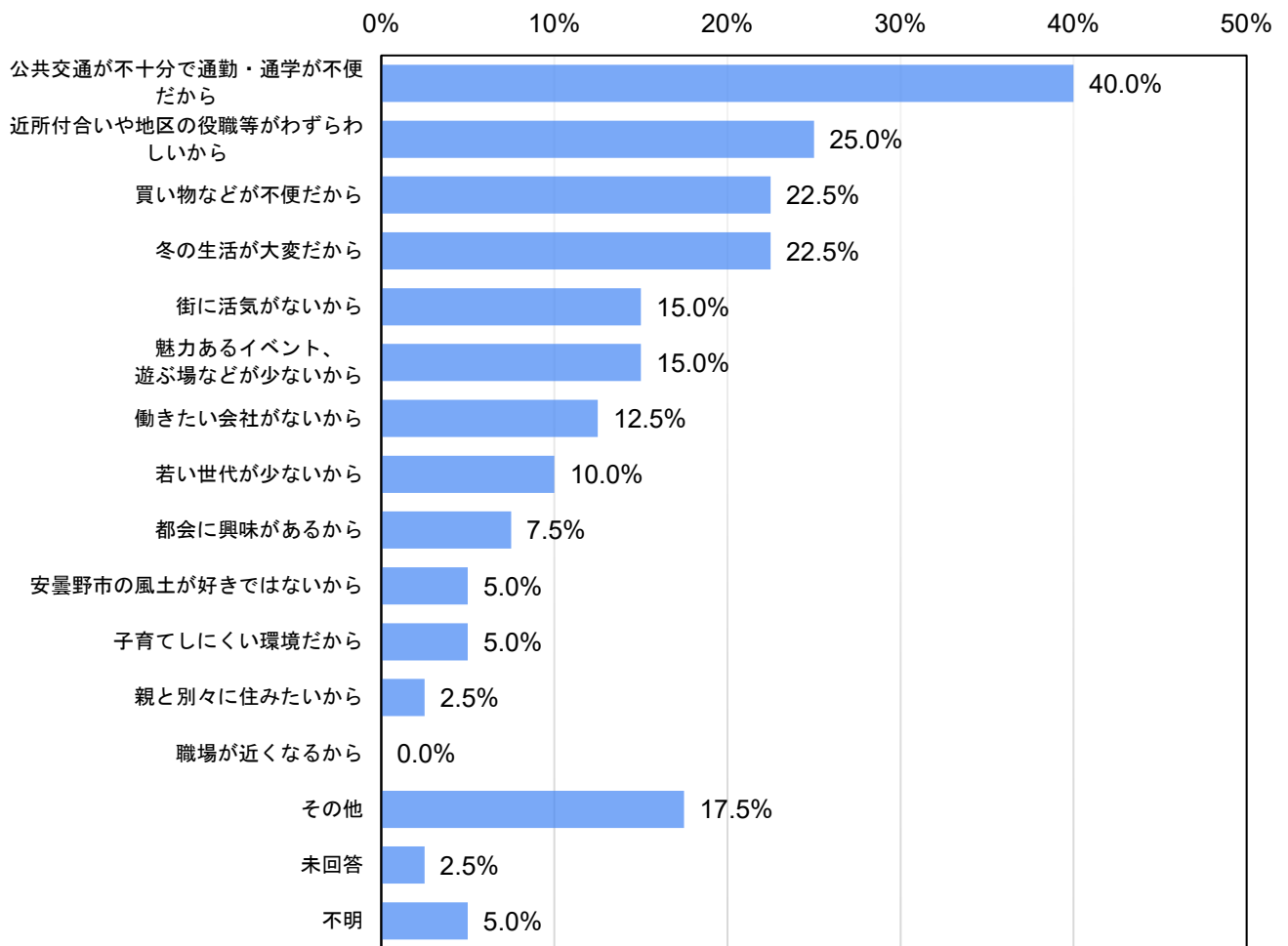


問4で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

他の市町村へ移りたいと回答した方に聞いたところ、「公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから」(40.0%)、「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」(25.0%)、「買い物などが不便だから」(22.5%)、「冬の生活が大変だから」(22.5%) など理由は多岐にわたった。

図表 31 他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）



(n=40)

年代別では、「魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから」が18歳～29歳（100.0%）で高く、「公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから」が30代（75.0%）で高かった。

居住地区別では、「冬の生活が大変だから」は穂高地区（0.0%）が低く、堀金地区（66.7%）が高かった。「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」は明科地区（66.7%）が高かった。

図表 32【年代別】他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）

	全体 (n=40)	18～29歳 (n=4)	30代 (n=4)	40代 (n=9)	50代 (n=11)	60代 (n=7)	70代以上 (n=5)	未回答 (n=0)	不明 (n=0)
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	40.0%	0.0%	75.0%	33.3%	45.5%	57.1%	20.0%	0.0%	0.0%
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	25.0%	0.0%	25.0%	22.2%	27.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
買い物などが不便だから	22.5%	75.0%	25.0%	22.2%	0.0%	14.3%	40.0%	0.0%	0.0%
冬の生活が大変だから	22.5%	50.0%	0.0%	0.0%	36.4%	28.6%	20.0%	0.0%	0.0%
街に活気がないから	15.0%	25.0%	25.0%	22.2%	0.0%	14.3%	20.0%	0.0%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから	15.0%	100.0%	0.0%	11.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
働きたい会社がないから	12.5%	25.0%	25.0%	11.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
若い世代が少ないから	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	14.3%	20.0%	0.0%	0.0%
都会に興味があるから	7.5%	25.0%	0.0%	11.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	5.0%	0.0%	25.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
親と別々に住みたいから	2.5%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職場が近くなるから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	17.5%	0.0%	0.0%	11.1%	45.5%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	2.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	5.0%	0.0%	0.0%	11.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

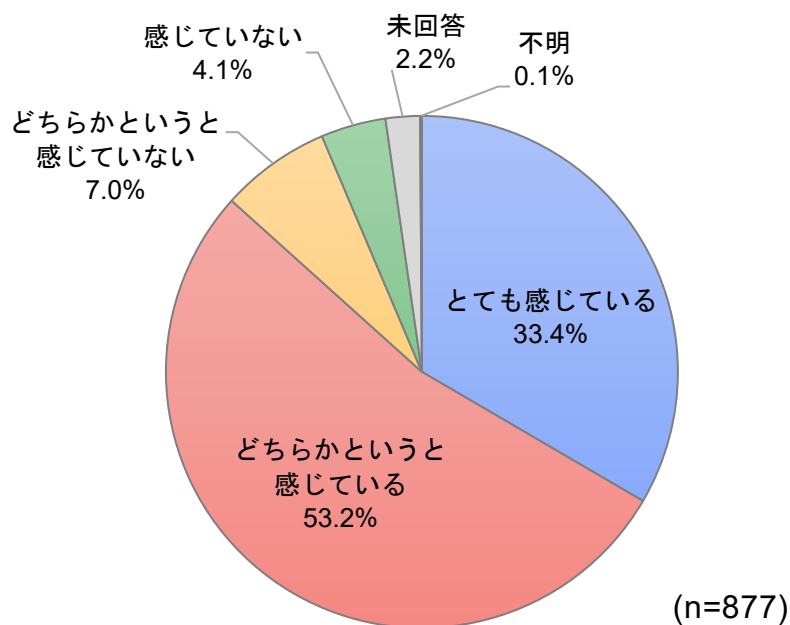
図表 33【居住地区別】他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）

	全体 (n=40)	豊科 (n=8)	穂高 (n=15)	三郷 (n=8)	堀金 (n=3)	明科 (n=6)	未回答 (n=0)
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	40.0%	37.5%	46.7%	25.0%	33.3%	50.0%	0.0%
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	25.0%	12.5%	26.7%	12.5%	0.0%	66.7%	0.0%
買い物などが不便だから	22.5%	37.5%	20.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
冬の生活が大変だから	22.5%	50.0%	0.0%	12.5%	66.7%	33.3%	0.0%
街に活気がないから	15.0%	0.0%	20.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから	15.0%	37.5%	6.7%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
働きたい会社がないから	12.5%	37.5%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
若い世代が少ないから	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
都会に興味があるから	7.5%	12.5%	6.7%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	5.0%	0.0%	6.7%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	5.0%	0.0%	6.7%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
親と別々に住みたいから	2.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
職場が近くなるから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	17.5%	0.0%	26.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
未回答	2.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	5.0%	0.0%	0.0%	12.5%	33.3%	0.0%	0.0%

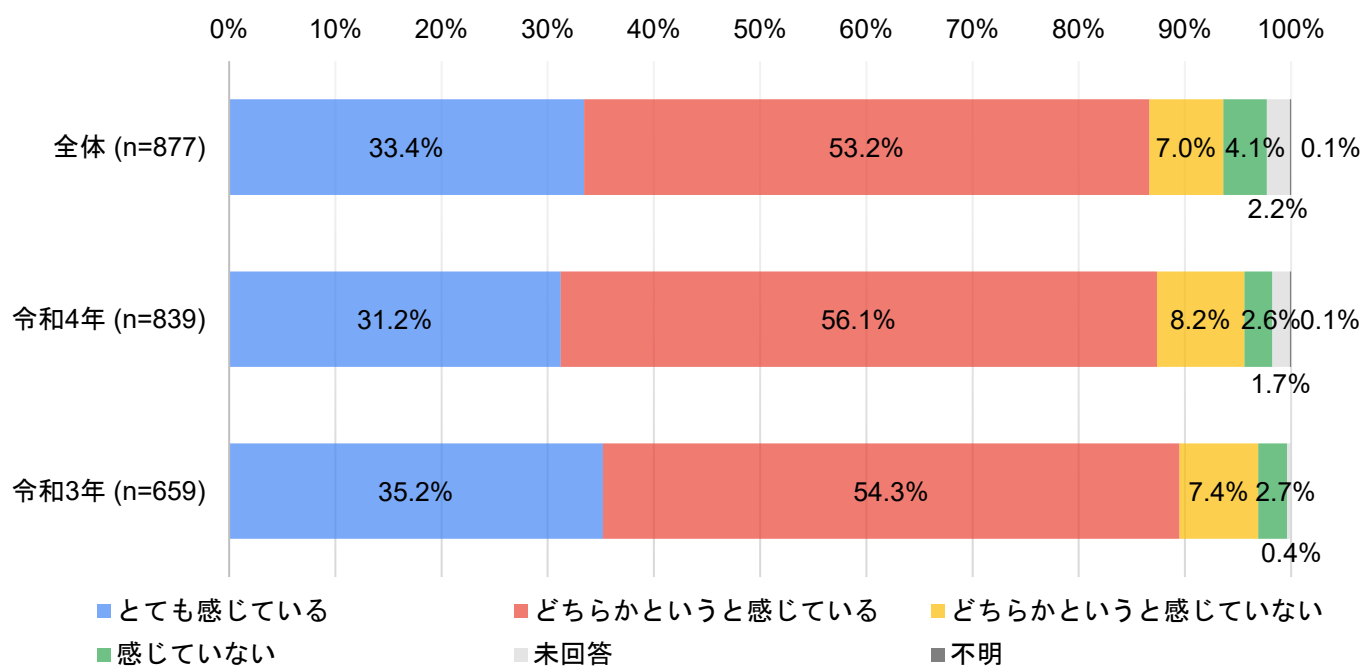
問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

「どちらかというと感じている」(53.2%)と「とても感じている」(33.4%)で合わせて86.6%が感じていると答えた。「どちらかというと感じていない」(7.0%)と「感じていない」(4.1%)で合わせて11.1%が感じていないと答えた。

図表 34 安曇野市への愛着



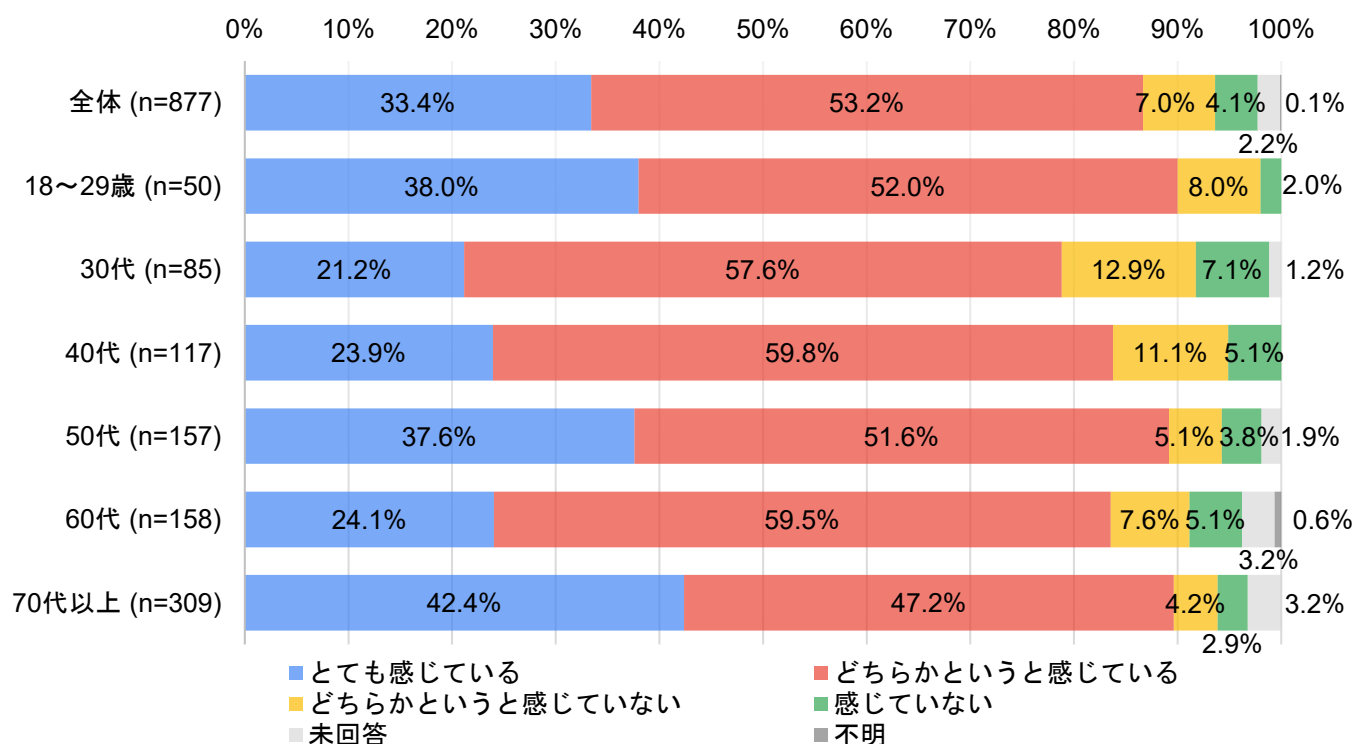
図表 35 【過去比較】安曇野市への愛着



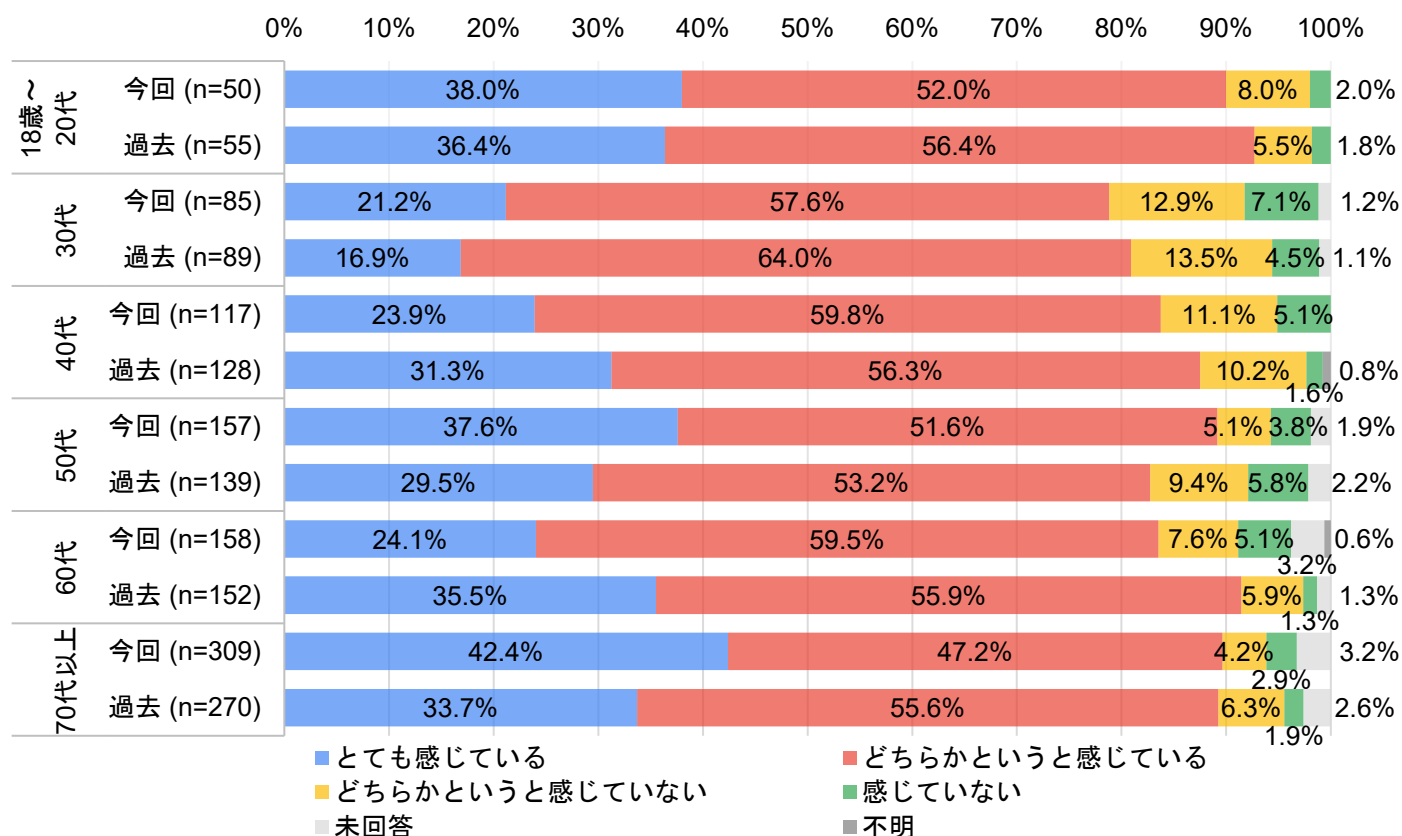
年代別では、「とても感じている」は70代以上（42.4%）で最も高く、次いで18～29歳（38.0%）、50代（37.6%）の順となった。

過去調査（令和4年）と比較すると、70代以上で「とても感じている」が33.7%から8.7ポイント増加し、42.4%となった。

図表 36 【年代別】安曇野市への愛着

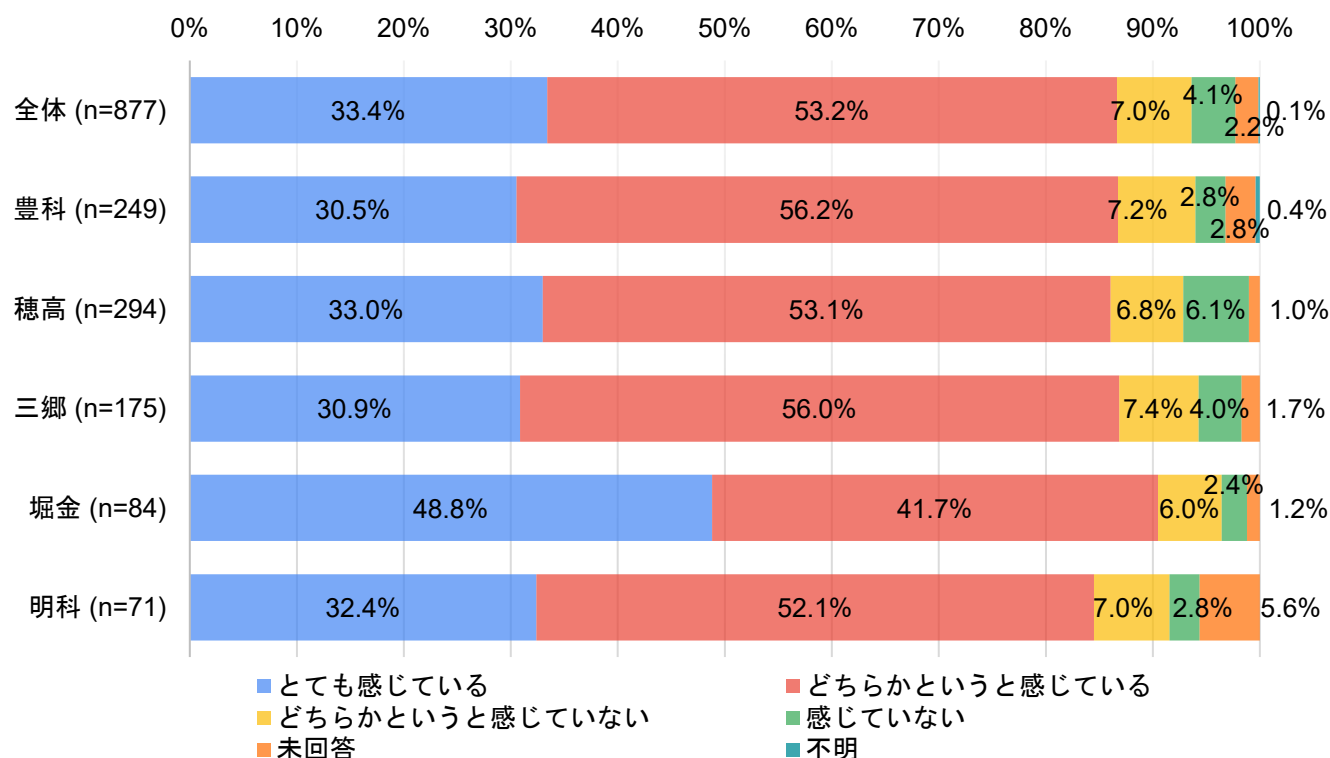


図表 37 【年代別過去比較】安曇野市への愛着

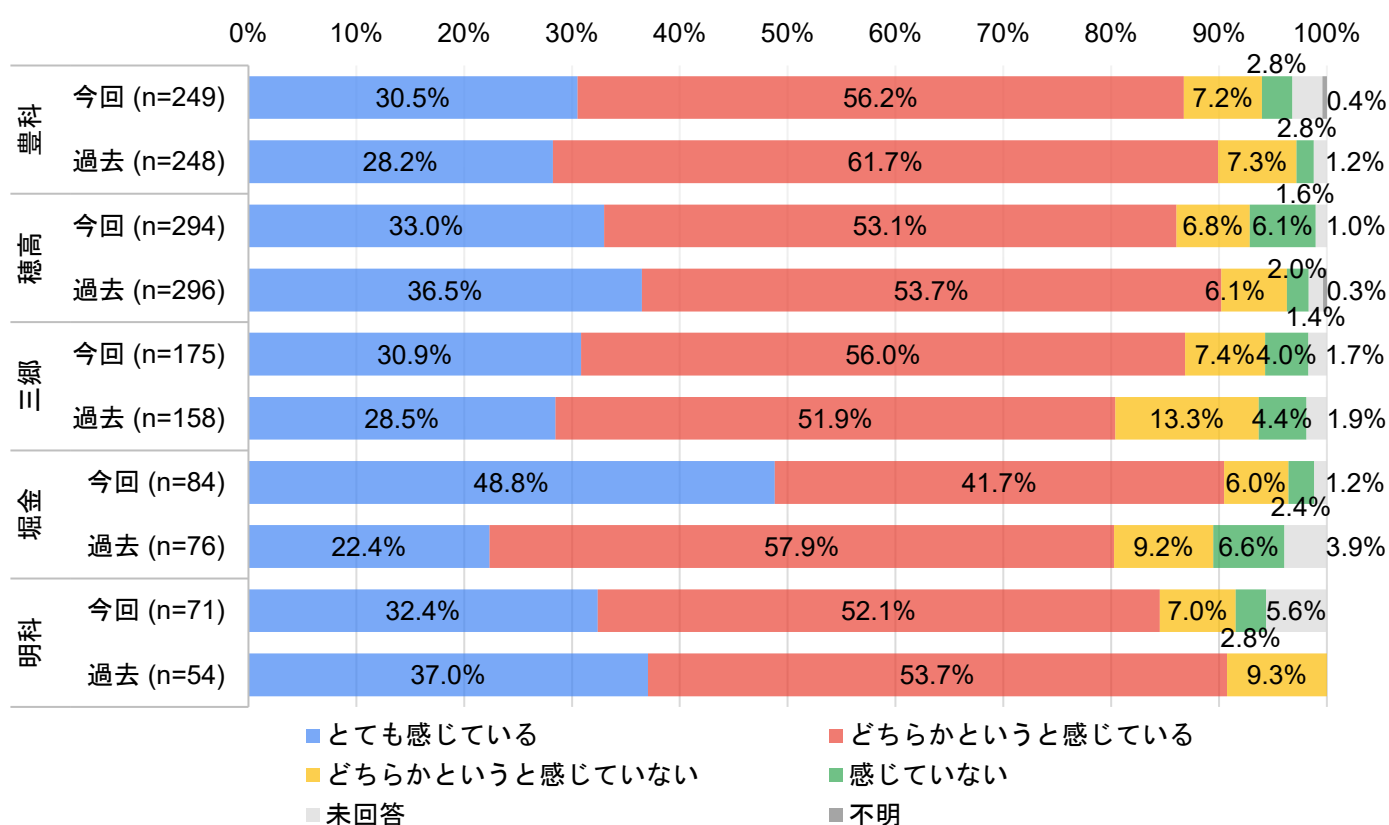


居住地区別では、「とても感じている」は堀金地区（48.8%）が高かった。
過去調査（令和4年）と比較すると、堀金地区の「とても感じている」が22.4%から26.4ポイント増加し、48.8%となった。

図表 38【居住地区別】安曇野市への愛着



図表 39【居住地区別過去比較】安曇野市への愛着

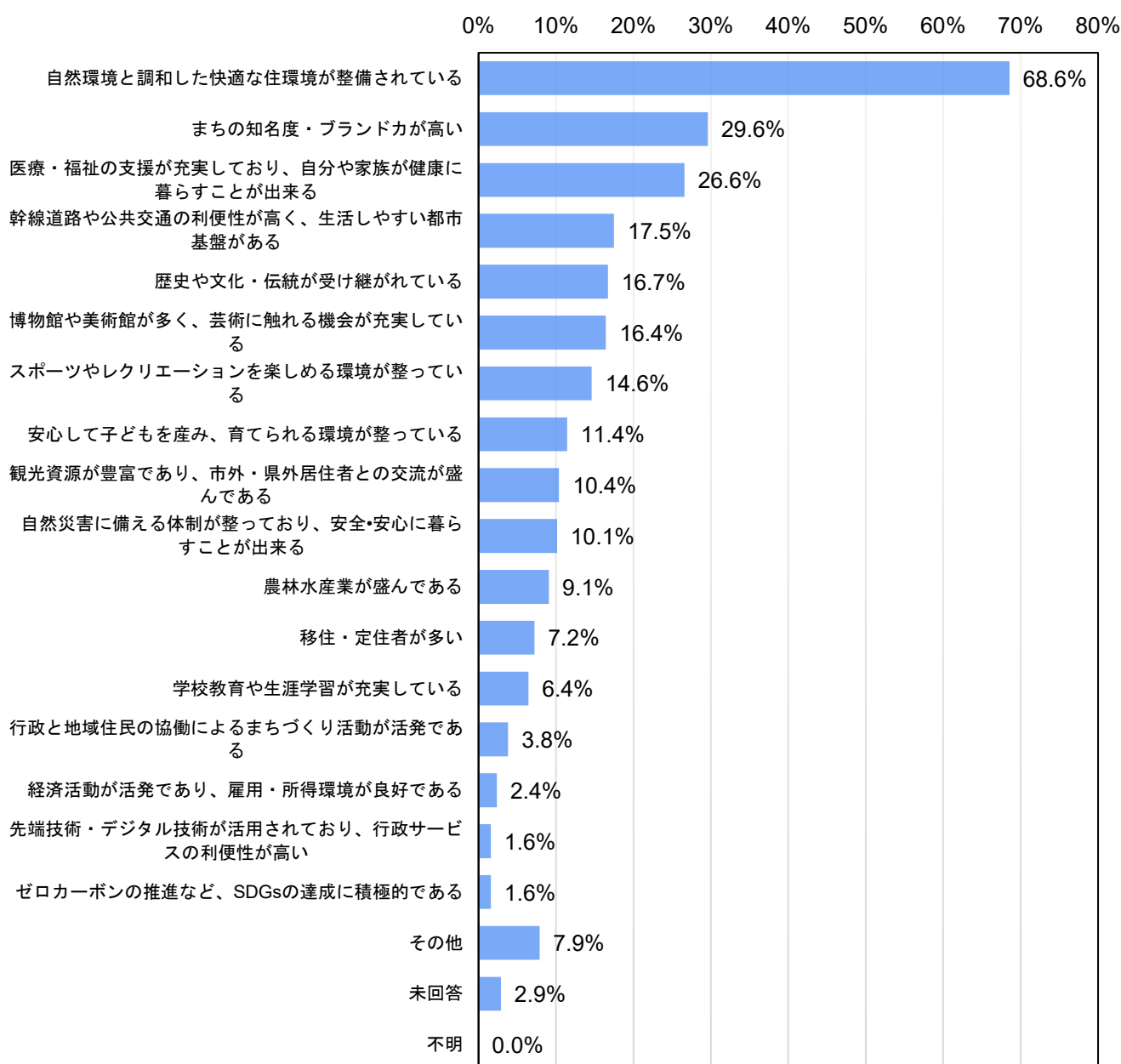


問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「とても感じている」または「どちらかというと感じている」と回答した方に聞いたところ、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」(68.6%)が最も高く、次いで「まちの知名度・ブランド力が高い」(29.6%)、「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る」(26.6%)の順となった。

図表 40 安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）



(n=760)

年代別では、すべての年代で「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」が高かった。次いで、18～29 歳から 60 代は「まちの知名度・ブランド力が高い」が高く、70 代以上は「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る」(43.7%) が高かった。

図表 41 【年代別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

	全体 (n=760)	18～29歳 (n=45)	30代 (n=67)	40代 (n=98)	50代 (n=140)	60代 (n=132)	70代以上 (n=277)	未回答 (n=1)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	68.6%	64.4%	65.7%	66.3%	70.0%	66.7%	71.1%	0.0%
まちの知名度・ブランド力が高い	29.6%	24.4%	31.3%	25.5%	36.4%	29.5%	28.2%	0.0%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る	26.6%	11.1%	20.9%	13.3%	19.3%	16.7%	43.7%	0.0%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	17.5%	13.3%	14.9%	8.2%	15.7%	20.5%	21.7%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	16.7%	20.0%	4.5%	7.1%	16.4%	14.4%	23.8%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	16.4%	20.0%	7.5%	16.3%	15.7%	9.1%	22.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	14.6%	8.9%	13.4%	11.2%	15.7%	14.4%	16.6%	0.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	11.4%	13.3%	20.9%	14.3%	14.3%	7.6%	8.3%	0.0%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	10.4%	8.9%	6.0%	4.1%	11.4%	12.9%	12.3%	0.0%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る	10.1%	2.2%	6.0%	7.1%	7.1%	10.6%	14.8%	0.0%
農林水産業が盛んである	9.1%	4.4%	11.9%	6.1%	5.7%	9.1%	11.9%	0.0%
移住・定住者が多い	7.2%	2.2%	9.0%	6.1%	5.0%	9.1%	8.3%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	6.4%	13.3%	3.0%	10.2%	2.9%	2.3%	8.7%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	3.8%	2.2%	3.0%	4.1%	3.6%	1.5%	5.4%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	2.4%	2.2%	4.5%	1.0%	0.7%	0.8%	4.0%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	1.6%	2.2%	0.0%	1.0%	0.0%	0.8%	3.2%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	1.6%	0.0%	1.5%	0.0%	1.4%	0.8%	2.9%	0.0%
その他	7.9%	2.2%	9.0%	9.2%	10.7%	9.8%	5.8%	0.0%
未回答	2.9%	2.2%	6.0%	2.0%	5.0%	0.8%	2.2%	100.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

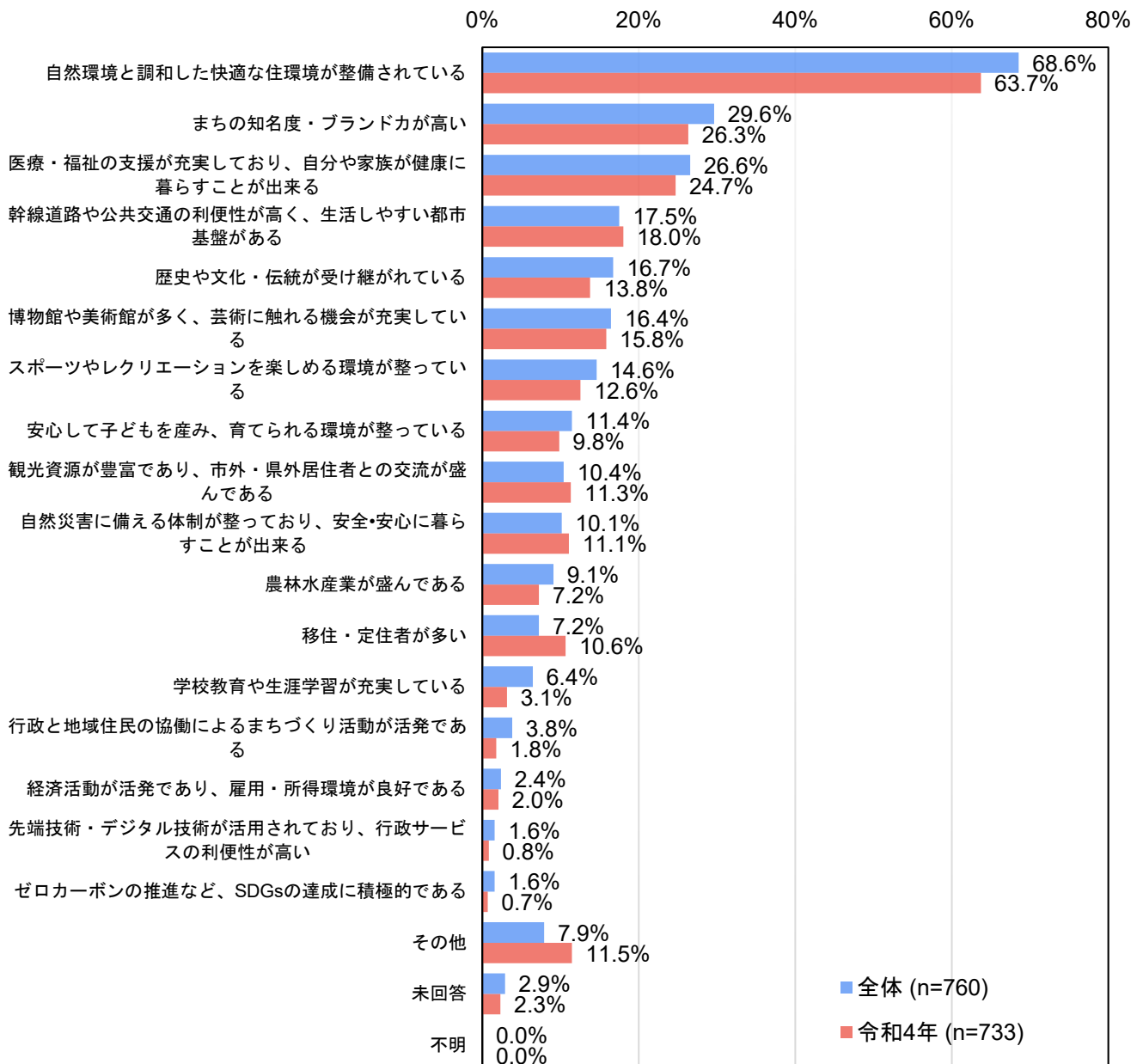
居住地区別では、「幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある」は豊科地区（25.5%）が高かった。「博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している」は穂高地区（23.7%）が高く、三郷地区（9.2%）が低かった。「スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている」は明科地区（3.3%）が低かった。「農林水産業が盛んである」及び「移住・定住者が多い」は三郷地区で高く、それぞれ15.8%及び12.5%であった。

図表 42【居住地区別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

	全体 (n=760)	豊科 (n=216)	穂高 (n=253)	三郷 (n=152)	堀金 (n=76)	明科 (n=60)	未回答 (n=3)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	68.6%	72.2%	68.8%	65.1%	71.1%	61.7%	33.3%
まちの知名度・ブランド力が高い	29.6%	31.0%	27.3%	30.9%	36.8%	23.3%	0.0%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る	26.6%	25.9%	30.4%	19.1%	32.9%	23.3%	33.3%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	17.5%	25.5%	13.0%	11.8%	21.1%	18.3%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	16.7%	13.4%	19.8%	21.7%	10.5%	11.7%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	16.4%	16.7%	23.7%	9.2%	10.5%	11.7%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	14.6%	19.0%	13.0%	12.5%	21.1%	3.3%	0.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	11.4%	12.0%	10.7%	16.4%	9.2%	3.3%	0.0%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	10.4%	12.0%	8.7%	11.2%	7.9%	13.3%	0.0%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る	10.1%	10.2%	6.7%	12.5%	17.1%	8.3%	33.3%
農林水産業が盛んである	9.1%	8.3%	5.9%	15.8%	10.5%	6.7%	0.0%
移住・定住者が多い	7.2%	5.1%	6.3%	12.5%	6.6%	6.7%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	6.4%	8.8%	5.1%	7.2%	6.6%	1.7%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	3.8%	5.6%	2.8%	2.6%	2.6%	6.7%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	2.4%	3.7%	2.0%	2.0%	1.3%	1.7%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	1.6%	1.4%	1.6%	2.0%	1.3%	1.7%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	1.6%	2.3%	0.8%	1.3%	2.6%	1.7%	0.0%
その他	7.9%	6.0%	9.5%	7.2%	7.9%	10.0%	0.0%
未回答	2.9%	2.3%	2.8%	3.3%	1.3%	5.0%	33.3%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

過去調査（令和4年）と比較したところ、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」は63.7%から4.9ポイント増加し、68.6%となった。「移住定住者が多い」は10.6%から3.4ポイント減少し、7.2%となった。「学校教育や生涯学習が充実している」は3.1%から3.3ポイント増加し、6.4%となり、「行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である」は1.8%から2.0ポイント増加し、3.8%となった。

図表 43 【過去比較】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

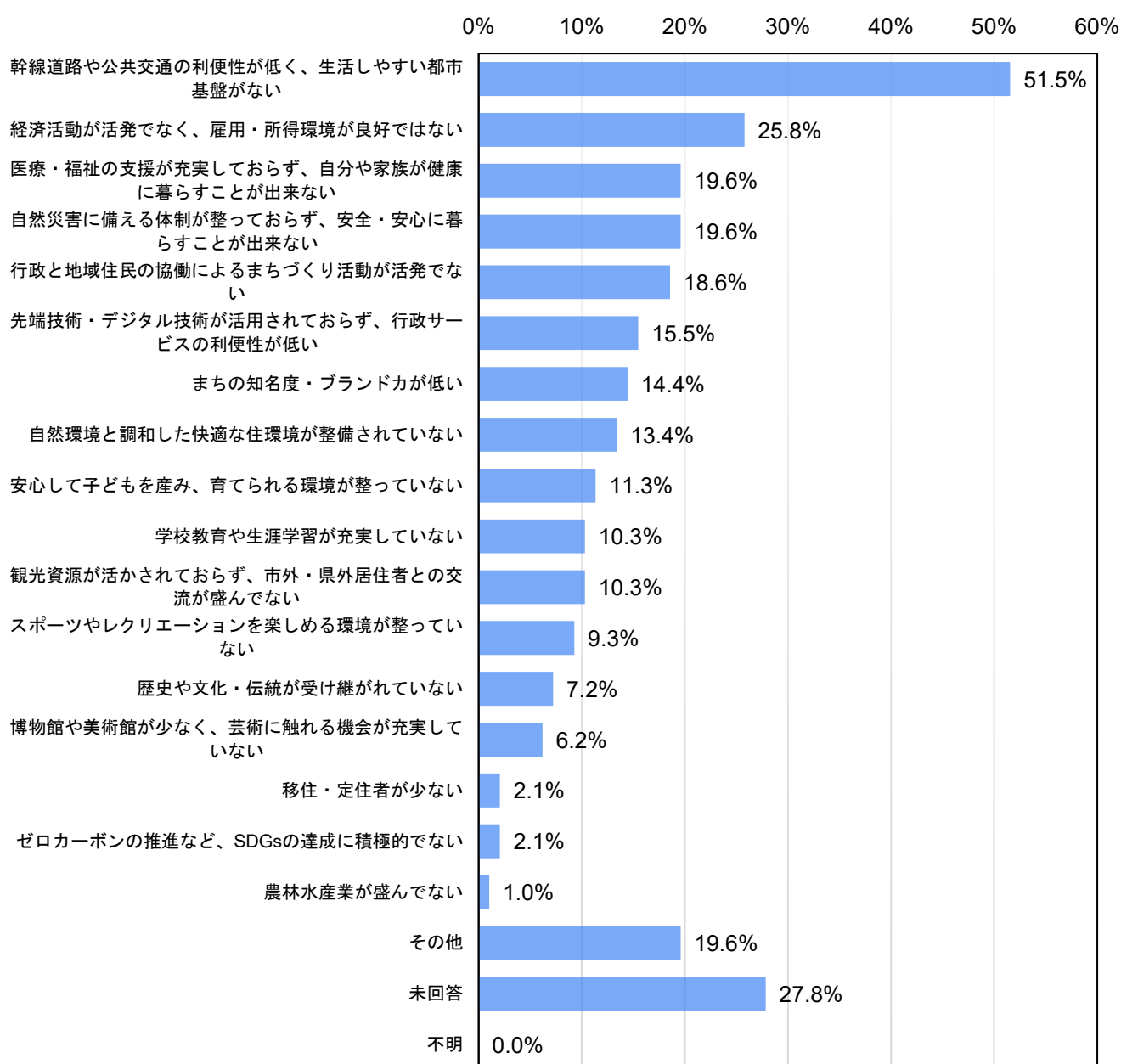


問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「どちらかというと感じていない」または「感じていない」と回答した方に聞いたところ、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」(51.5%)が最も高かった。以下、「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」(25.8%)、「医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない」(19.6%)、「自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない」(19.6%)など多岐にわたる理由が並んだ。

図表 44 安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）



(n=97)

年代別では、「自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない」は60代（50.0%）で高かった。「安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない」、「学校教育や生涯学習が充実していない」は30代でそれぞれ29.4%と高かった。

図表 45 【年代別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

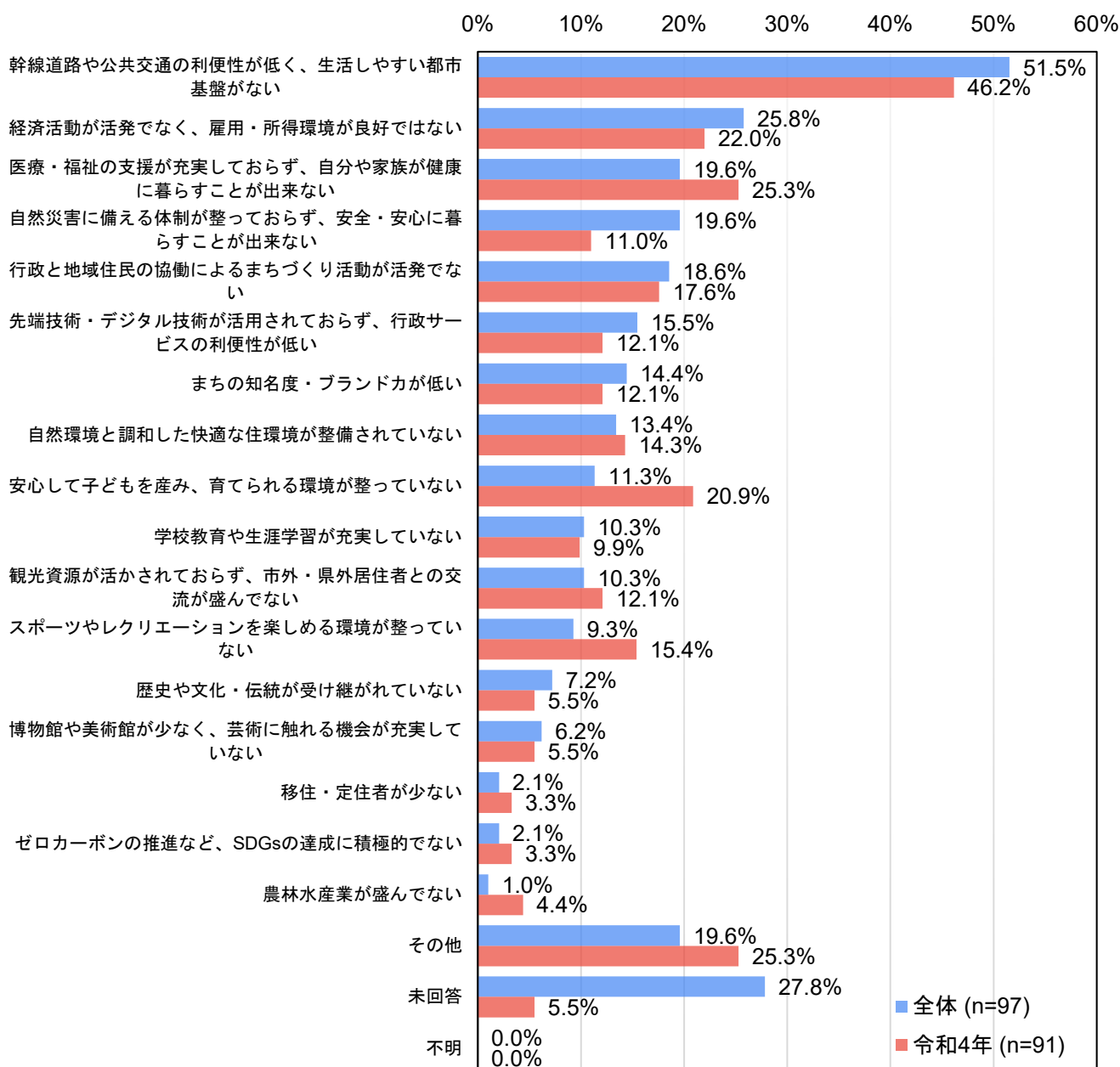
	全体 (n=97)	18～29歳 (n=5)	30代 (n=17)	40代 (n=19)	50代 (n=14)	60代 (n=20)	70代以上 (n=22)	未回答 (n=0)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	51.5%	40.0%	35.3%	36.8%	57.1%	65.0%	63.6%	0.0%
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	25.8%	40.0%	35.3%	21.1%	28.6%	25.0%	18.2%	0.0%
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	19.6%	20.0%	23.5%	15.8%	14.3%	35.0%	9.1%	0.0%
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	19.6%	20.0%	17.6%	0.0%	7.1%	50.0%	18.2%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	18.6%	40.0%	11.8%	5.3%	21.4%	20.0%	27.3%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	15.5%	20.0%	23.5%	0.0%	14.3%	15.0%	22.7%	0.0%
まちの知名度・ブランド力が低い	14.4%	40.0%	11.8%	0.0%	21.4%	10.0%	22.7%	0.0%
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	13.4%	20.0%	11.8%	5.3%	14.3%	20.0%	13.6%	0.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	11.3%	20.0%	29.4%	5.3%	7.1%	15.0%	0.0%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実していない	10.3%	20.0%	29.4%	5.3%	14.3%	0.0%	4.5%	0.0%
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	10.3%	40.0%	17.6%	0.0%	7.1%	5.0%	13.6%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	9.3%	20.0%	17.6%	15.8%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	7.2%	20.0%	11.8%	0.0%	0.0%	10.0%	9.1%	0.0%
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	6.2%	20.0%	5.9%	5.3%	0.0%	10.0%	4.5%	0.0%
移住・定住者が少ない	2.1%	20.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	2.1%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
農林水産業が盛んでない	1.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	19.6%	0.0%	17.6%	31.6%	21.4%	20.0%	13.6%	0.0%
未回答	27.8%	60.0%	47.1%	42.1%	14.3%	20.0%	9.1%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 46【居住地区別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

	全体 (n=97)	豊科 (n=25)	穂高 (n=38)	三郷 (n=20)	堀金 (n=7)	明科 (n=7)	未回答 (n=0)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	51.5%	36.0%	63.2%	55.0%	28.6%	57.1%	0.0%
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	25.8%	20.0%	28.9%	20.0%	57.1%	14.3%	0.0%
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	19.6%	4.0%	31.6%	15.0%	14.3%	28.6%	0.0%
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	19.6%	20.0%	18.4%	20.0%	14.3%	28.6%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	18.6%	20.0%	26.3%	10.0%	0.0%	14.3%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	15.5%	20.0%	15.8%	10.0%	28.6%	0.0%	0.0%
まちの知名度・ブランド力が低い	14.4%	24.0%	10.5%	10.0%	14.3%	14.3%	0.0%
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	13.4%	12.0%	15.8%	10.0%	28.6%	0.0%	0.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	11.3%	12.0%	13.2%	10.0%	14.3%	0.0%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実していない	10.3%	8.0%	13.2%	10.0%	14.3%	0.0%	0.0%
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	10.3%	8.0%	15.8%	5.0%	14.3%	0.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	9.3%	12.0%	7.9%	5.0%	14.3%	14.3%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	7.2%	4.0%	10.5%	5.0%	14.3%	0.0%	0.0%
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	6.2%	8.0%	7.9%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
移住・定住者が少ない	2.1%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	2.1%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
農林水産業が盛んでない	1.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	19.6%	28.0%	18.4%	20.0%	0.0%	14.3%	0.0%
未回答	27.8%	32.0%	26.3%	30.0%	28.6%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

過去調査（令和4年）と比較すると、「安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない」が20.9%から9.6ポイント減少し、11.3%となった。「スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない」が15.4%から6.1ポイント減少し、9.3%となった。

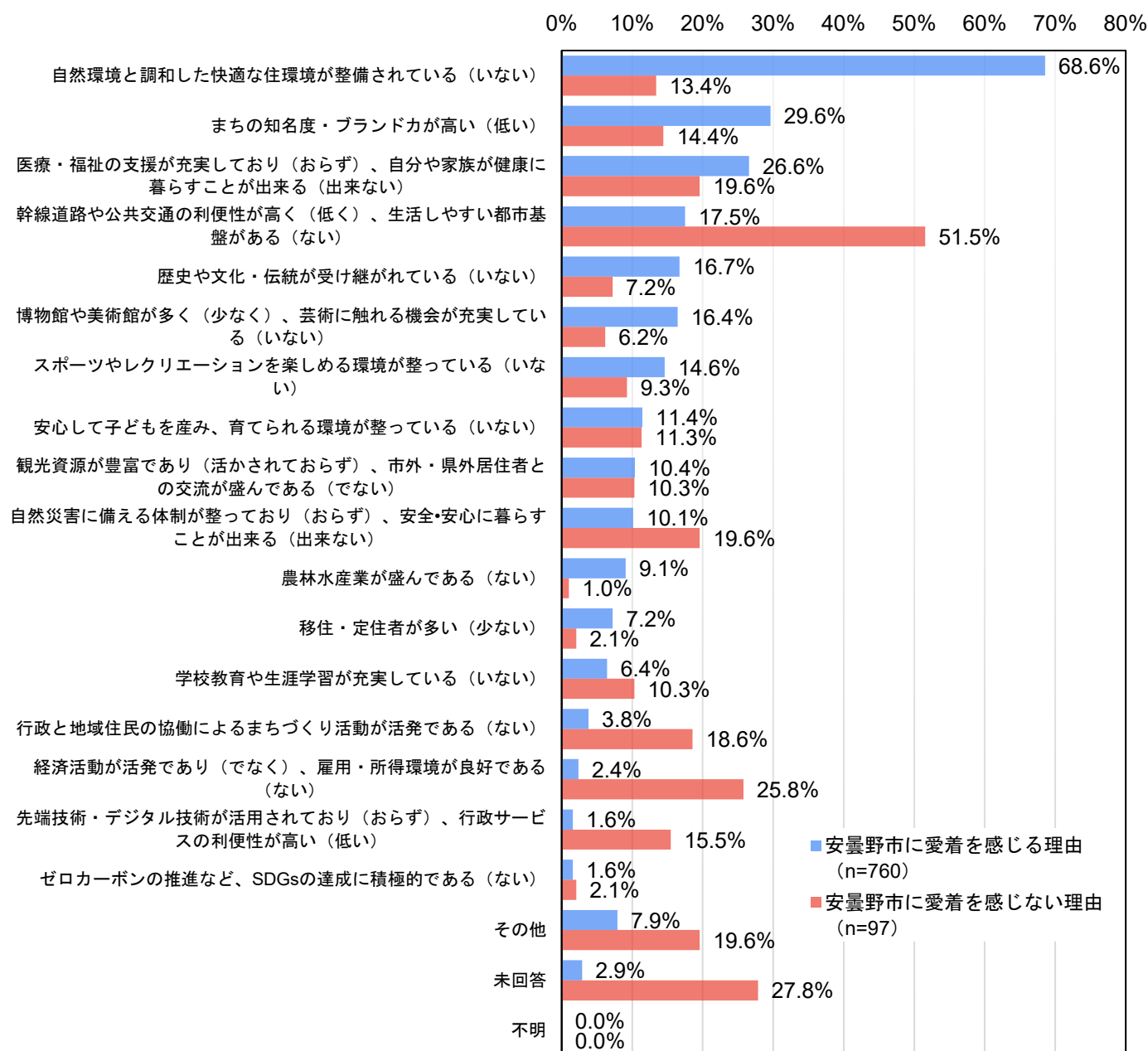
図表 47 【過去比較】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）



安曇野市に「愛着を感じる理由」と「愛着を感じない理由」の比較

「愛着を感じる理由」と「愛着を感じない理由」を比較すると、下図のようになった。

図表 48 愛着を感じている理由・愛着を感じていない理由の比較



3. 安曇野市の行政に関すること

市の全般的な施策等について

以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

- ・市の 17 分野に関する 53 の施策について、「現状の満足度」と「今後の重要度」を調査した。
- ・本調査報告書では全 53 施策について図表 49 の通り略称を用いて表記する。

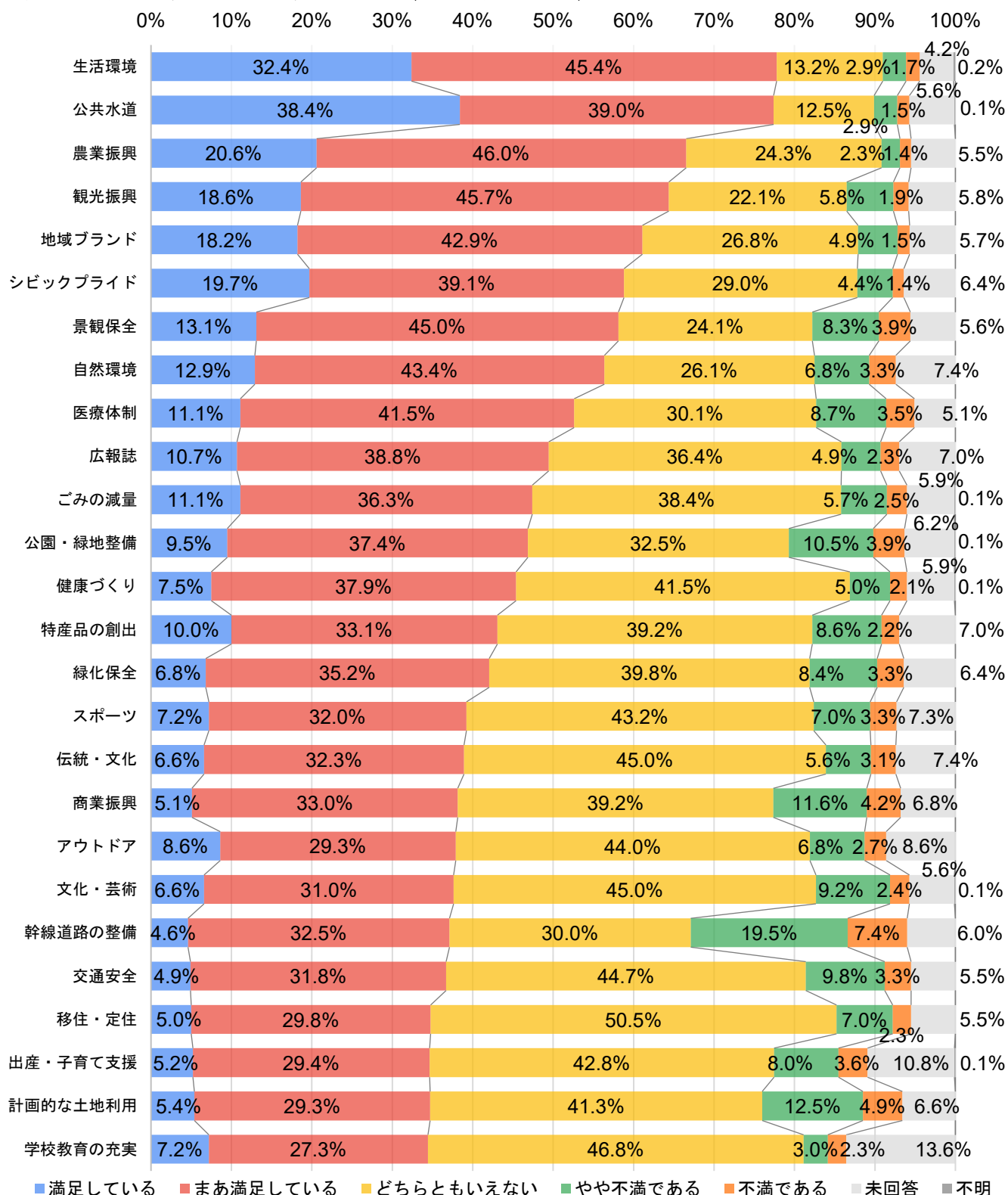
図表 49 施策一覧及び施策の略称

分野	施策名	施策名（略称）
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	自然環境
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	生活環境
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	自然エネルギーの普及
	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	ごみの減量
医療・福祉・人権	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	健康づくり
	医療体制が整っている	医療体制
	地域において、支え合える関係が築けている	地域福祉
	障がい者が安心して生活していける地域である	障がい者福祉
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	高齢者福祉
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	介護支援
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	生活困窮者支援
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	男女共同参画
	互いの個性や立場を尊重している地域である	多様性の尊重
	性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	性的マイノリティ
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である	出産・子育て支援
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	スポーツ
	アウトドアを楽しめる環境が整っている	アウトドア
教育・学習	小中学校での教育が充実している	学校教育の充実
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	学校と地域・家庭の連携
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	生涯学習
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	伝統・文化
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	文化・芸術
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができています	防災対策
	交通安全の取り組みが行われている	交通安全
	防犯対策が行われている	防犯対策
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	消費者保護
都市基盤	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	計画的な土地利用
	安曇野らしい景観が保全されている	景観保全
	緑地の保全、普及が進められている	緑化保全
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	公園・緑地整備
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	幹線道路の整備
	生活道路である市道が整備されている	生活道路の整備
	公共交通網が整備されている	公共交通網
	安全でおいしい水が利用できる	公共水道
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	農業振興
経済活動	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	商業振興
	工業・製造業が盛んな地域である	工業振興
	働きやすい地域である	労働・雇用環境
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	観光振興
	安曇野らしい産品が生み出されている	特産品の創出
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	地域ブランド
	市外在住者に誇ることのできる地域である	シビックプライド
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	移住・定住
協働・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	コミュニティ活動
	NPO、ボランティア活動が行われている	ボランティア活動
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	市民参画
デジタル社会・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	地域の情報化
	行政運営の効率化が図られている	効率的な行政運営
	市政に関する情報が入手しやすい	市政情報の入手
	広報紙「広報あづみの」が充実している	広報誌
	市公式ホームページ、SNSが充実している	市のHP・SNS
SDGs	市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	ラジオ広報
	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	SDGs達成への取組

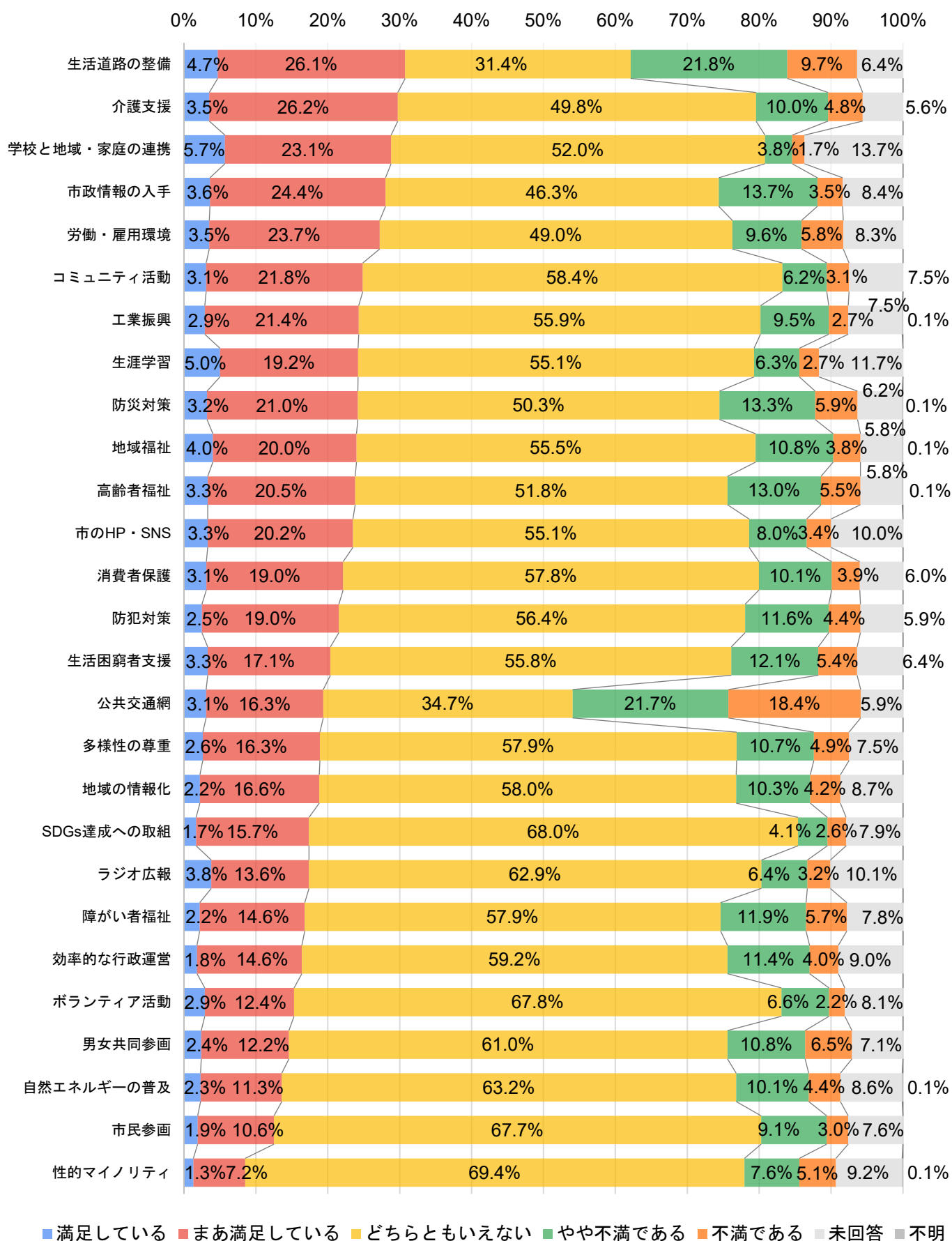
① 市の施策に対する現状の満足度

「満足している」「まあ満足している」を合わせた割合の上位3項目は「生活環境」(77.8%)、「公共水道」(77.4%)、「農業振興」(66.6%)、下位3項目は「性的マイノリティ」(8.5%)、「市民参画」(12.5%)、「自然エネルギーの普及」(13.6%)となった。「やや不満である」「不満である」を合わせた割合の上位3項目は「公共交通網」(40.1%)、「生活道路の整備」(31.5%)、「幹線道路の整備」(26.9%)、下位3項目は「農業振興」(3.7%)、「公共水道」(4.4%)、「生活環境」(4.6%)であった。

図表 50 市の施策に対する現状の満足度（満足上位 26 項目）



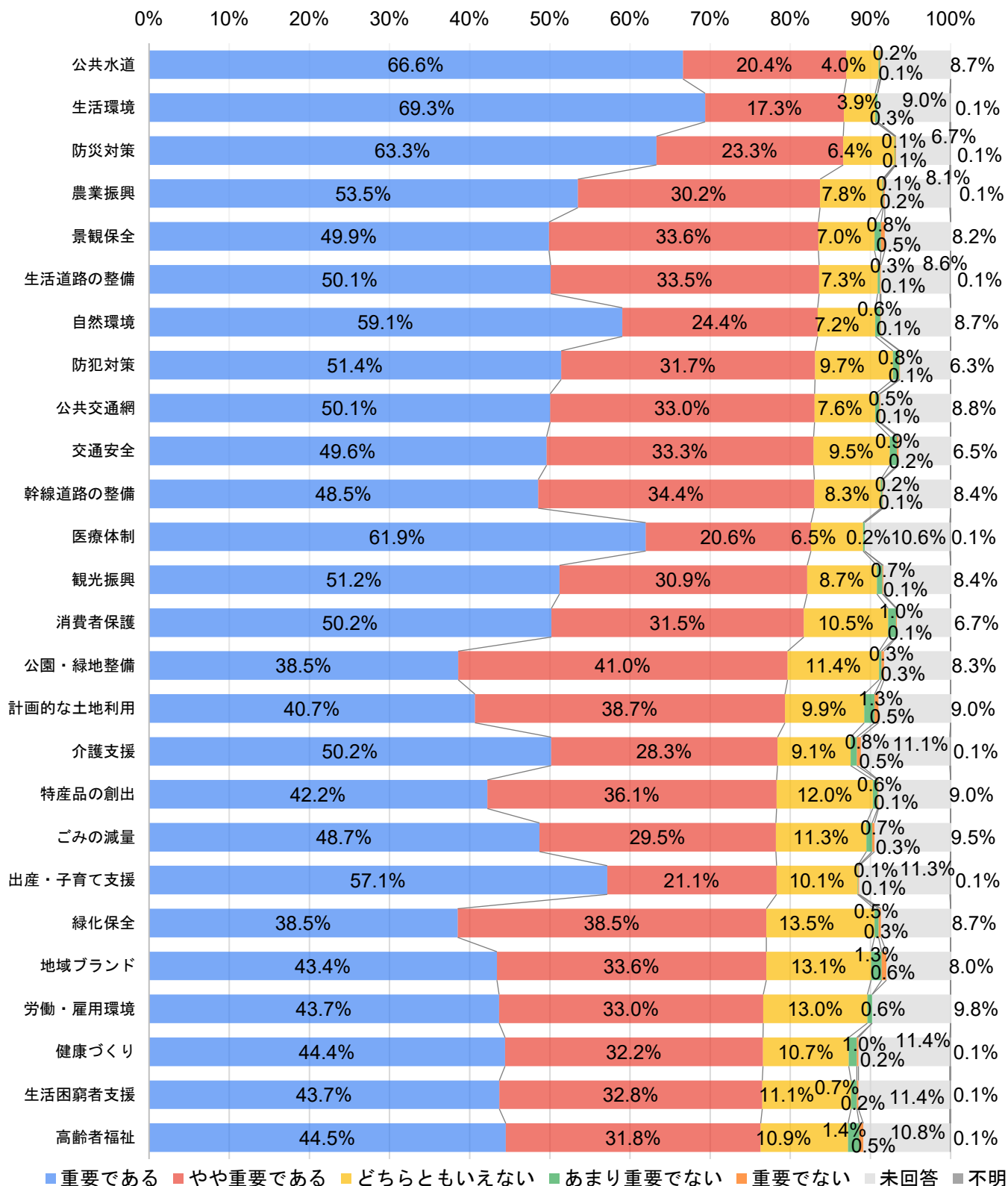
図表 51 市の施策に対する現状の満足度（満足下位 27 項目）



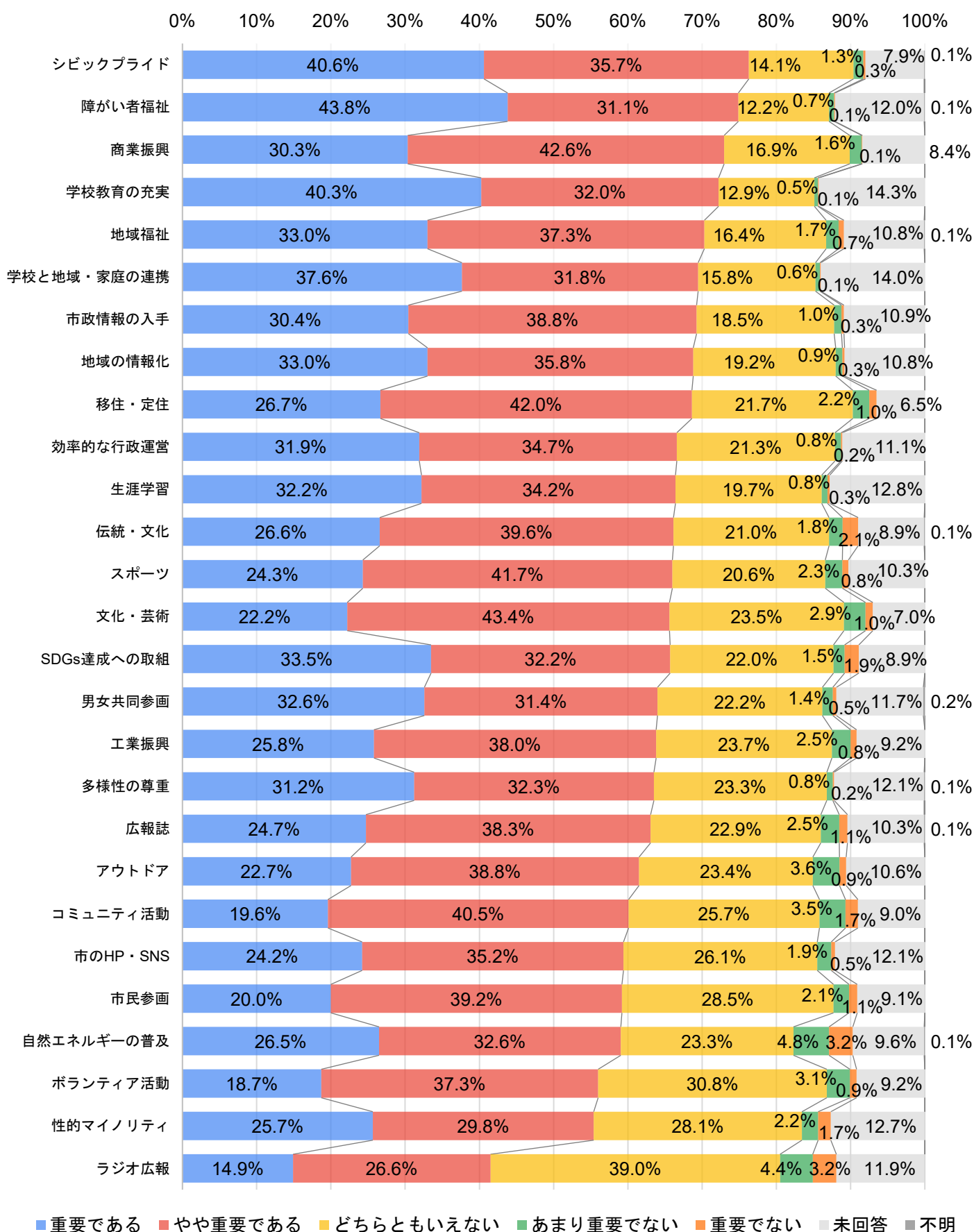
② 市の施策に対する現状の重要度

「重要である」「やや重要である」を合わせた割合の上位3項目は「公共水道」(87.0%)、「生活環境」(86.6%)、「防災対策」(86.6%)、下位3項目は「ラジオ広報」(41.5%)、「性的マイノリティ」(55.5%)、「ボランティア活動」(56.0%)となった。「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた割合の上位3項目は「自然エネルギーの普及」(8.0%)、「ラジオ広報」(7.6%)、「コミュニティ活動」(5.2%)、下位3項目は「出産・子育て支援」(0.2%)、「医療体制」(0.2%)、「防災対策」(0.2%)であった。

図表 52 市の施策に対する今後の重要度（重要上位 26 項目）



図表 53 市の施策に対する今後の重要度（重要下位 27 項目）



③ 「現状の満足度」と「今後の重要度」のマトリクス分析について

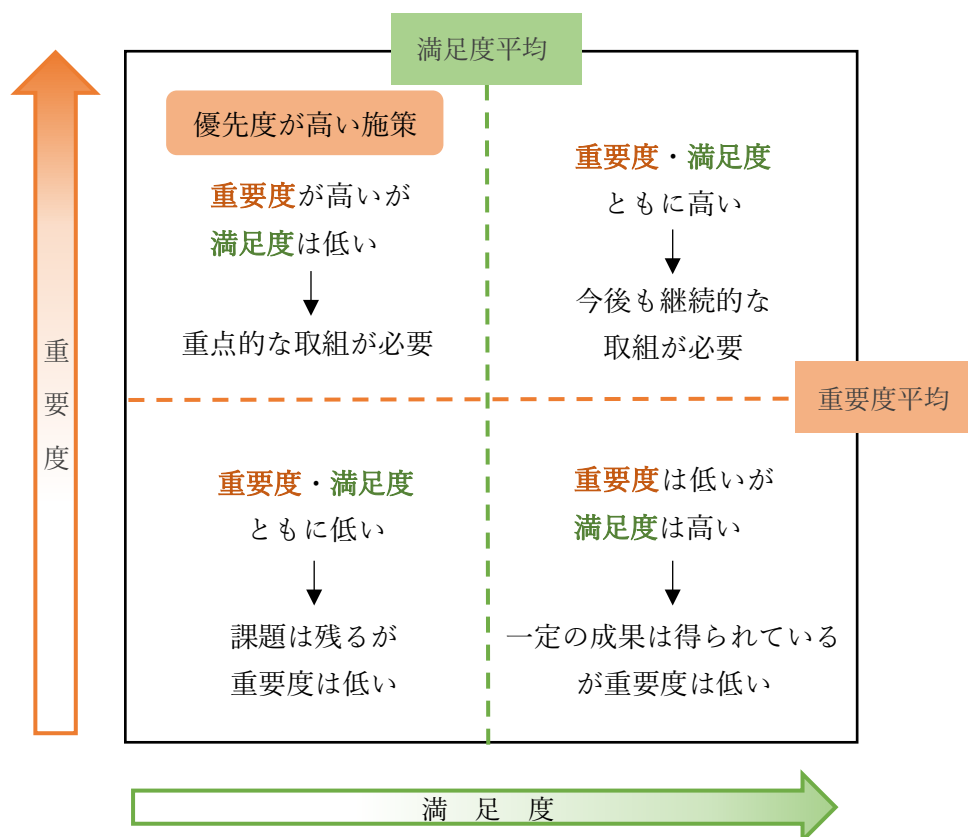
● マトリクス作成方法

- ・市の施策 17 分野 53 項目について、「現状の満足度」（以下、「満足度」という）と「今後の重要度」（以下、「重要度」という）の各選択肢に以下の通り点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで施策ごとの「満足度」、「重要度」を算出した。（ここで用いる回答数は、「どちらともいえない」および「無回答」を除く。）
- ・全 53 施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって 4 象限に区分されるマトリクス上に、各施策の結果をプロットした。

満足度	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である
重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
点数	4	3	2	1

● マトリクスの見方

- ・ **満足度**【横方向】：市の各施策に対する、住民の現状での満足度。高いほど（右にあるほど）、住民からの評価が高い。
- ・ **重要度**【縦方向】：住民が考える各施策の重要度。高いほど（上にあるほど）、今後重点的に取り組むことを望む住民が多い。



I. 全体

全 53 施策中 12 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。

図表 54 マトリクス分析結果一覧

分野	施策名（略称）	満足度	重要度	重要度：高 満足度：高	重要度：高 満足度：低	重要度：低 満足度：低	重要度：低 満足度：高
自然環境	自然環境	2.99	3.69	●			
	生活環境	3.32	3.79	●			
	自然エネルギーの普及	2.40	3.23			●	
	ごみの減量	3.01	3.60	●			
医療・福祉・人権	健康づくり	2.97	3.55	●			
	医療体制	2.93	3.75	●			
	地域福祉	2.63	3.41			●	
	障がい者福祉	2.39	3.57		●		
	高齢者福祉	2.51	3.54		●		
	介護支援	2.64	3.61		●		
	生活困窮者支援	2.48	3.55		●		
	男女共同参画	2.33	3.46			●	
	多様性の尊重	2.48	3.46			●	
	性的マイノリティ	2.22	3.34			●	
	子育て支援	2.78	3.72	●			
スポーツ	スポーツ	2.87	3.30				●
	アウトドア	2.92	3.26				●
教育・学習	学校教育の充実	2.99	3.54	●			
	学校と地域・家庭の連携	2.96	3.53	●			
	生涯学習	2.80	3.45				●
地域の伝統	伝統・文化	2.89	3.29				●
文化・芸術	文化・芸術	2.85	3.25				●
防災・防犯	防災対策	2.49	3.73		●		
	交通安全	2.77	3.57	●			
	防犯対策	2.52	3.60		●		
	消費者保護	2.59	3.59		●		
都市基盤	計画的な土地利用	2.67	3.48		●		
	景観保全	2.96	3.57	●			
	緑化保全	2.85	3.48	●			
	公園・緑地整備	2.86	3.47				●
	幹線道路の整備	2.53	3.58		●		
	生活道路の整備	2.41	3.59		●		
	公共交通網	2.07	3.59		●		
	公共水道	3.40	3.76	●			
農林水産業	農業振興	3.22	3.63	●			
経済活動	商業振興	2.72	3.38			●	
	工業振興	2.67	3.32			●	
	労働・雇用環境	2.59	3.56		●		
観光	観光振興	3.12	3.61	●			
	特産品の創出	2.95	3.52	●			
地域ブランド	地域ブランド	3.15	3.52	●			
	シビックプライド	3.19	3.50	●			
移住・定住	移住・定住	2.85	3.31				●
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動	2.73	3.19			●	
	ボランティア活動	2.66	3.23			●	
	市民参画	2.47	3.25			●	
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.50	3.45			●	
	効率的な行政運営	2.45	3.45			●	
	市政情報の入手	2.62	3.41			●	
	広報誌	3.02	3.30				●
	市のHP・SNS	2.67	3.35			●	
	ラジオ広報	2.67	3.08			●	
SDGs	SDGs達成への取組	2.68	3.41			●	
	平均値	2.74	3.48				

図表 55 県内他市との比較（重要度が高いが満足度は低い施策等）

佐久市（令和5年度アンケート結果）

50 項目中 13 項目が該当	
1	介護・高齢者福祉
2	就労・雇用
3	医療保険・国民年金
4	地域交通ネットワーク
5	地球温暖化対策
6	高校教育・高等教育
7	障がい者福祉
8	農業
9	環境保全
10	ひとり親家庭支援・低所得者福祉
11	観光
12	商業・サービス業
13	少子化対策

諏訪市（令和5年度アンケート結果）

33 項目中 5 項目が該当	
1	子ども・子育て
2	学校教育
3	高齢者福祉
4	社会保障制度
5	地域公共交通

駒ヶ根市（令和5年度アンケート結果）

57 項目中 10 項目が該当	
1	病院など地域医療体制が整っている
2	高齢者や障がい者が安心して暮らせる
3	交通の便がよく移動しやすい
4	必要な情報が分かりやすく伝わっている
5	道路は歩行者にとって安全である
6	子育てしながらでも安心して働くことができる
7	専門医療や救急医療をいつでも受ける子とができる
8	働く場の確保など雇用対策が充実している
9	子どもたちが遊び場や公園などで遊んでいる
10	市政に市民の声が反映されている

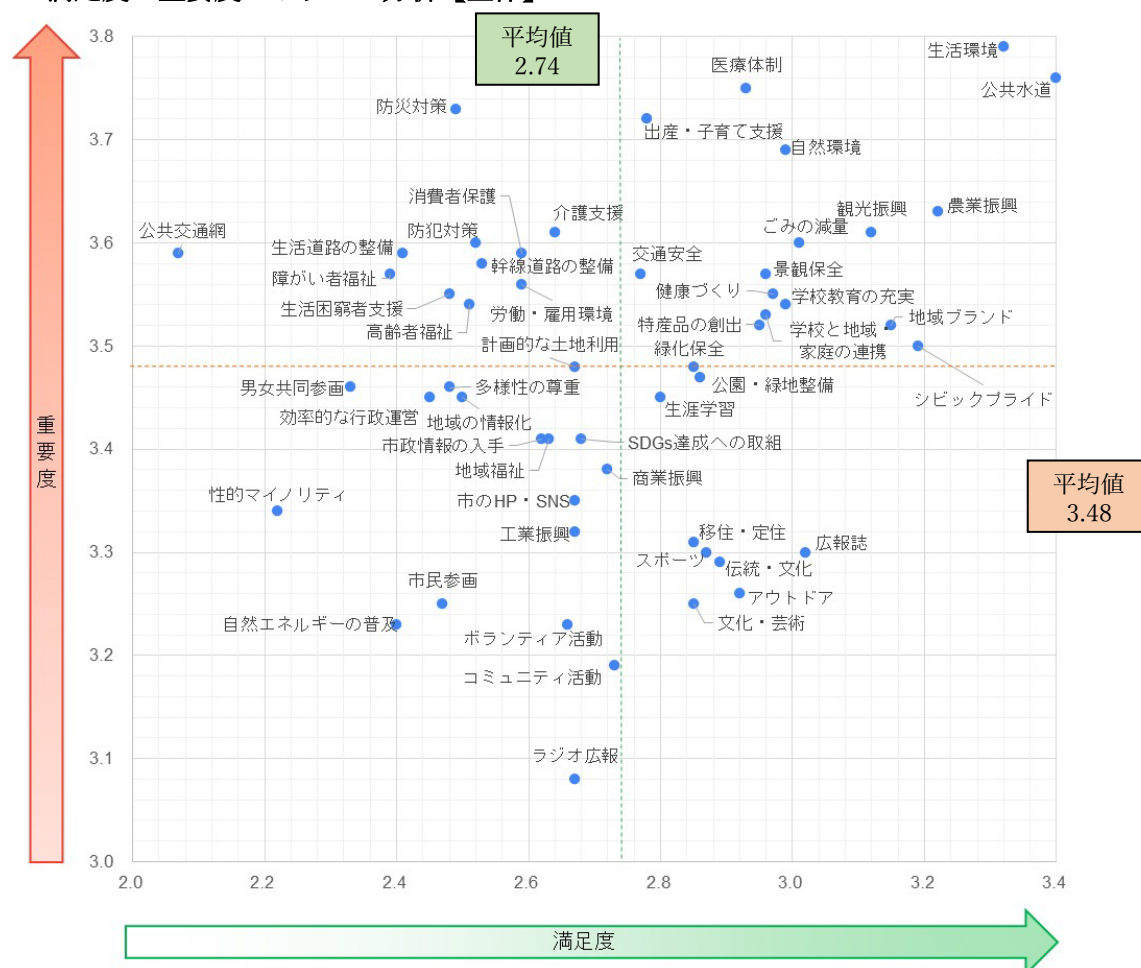
(i) 満足度×重要度マトリクス分析【全体】

全体では、満足度では公共水道、重要度では生活環境が最も高い結果となった。

満足度は「公共水道」(3.40)が最も高く、次いで「生活環境」(3.32)、「農業振興」(3.22)の順となった。一方で「公共交通網」(2.07)、「性的マイノリティ」(2.22)、「男女共同参画」(2.33)が低かった。

重要度は、「生活環境」(3.79)が最も高く、次いで「公共水道」(3.76)、「医療体制」(3.75)の順となった。一方で「ラジオ広報」(3.08)、「コミュニティ活動」(3.19)、「自然エネルギーの普及」(3.23)が低かった。

図表 56 満足度×重要度マトリクス分析【全体】



図表 57 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【全体】

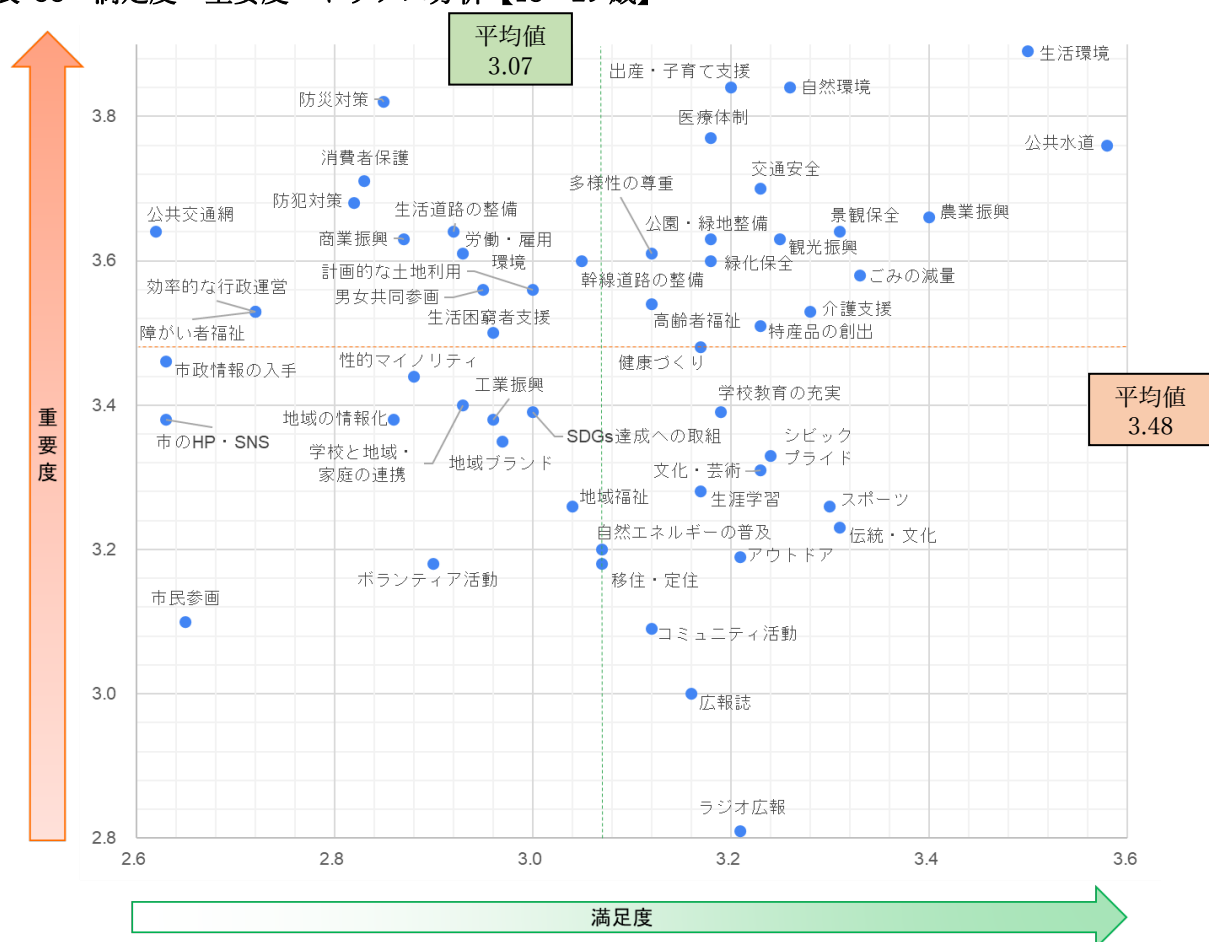
分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.39	3.57
	高齢者福祉	2.51	3.54
	介護支援	2.64	3.61
	生活困窮者支援	2.48	3.55
防災・防犯	防災対策	2.49	3.73
	防犯対策	2.52	3.60
	消費者保護	2.59	3.59
都市基盤	計画的な土地利用	2.67	3.48
	幹線道路の整備	2.53	3.58
	生活道路の整備	2.41	3.59
	公共交通網	2.07	3.59
経済活動	労働・雇用環境	2.59	3.56

II. 年代別

(i) 満足度×重要度マトリクス分析【18～29 歳】

18～29 歳では満足度の平均が 3.07 となり、全体の平均 2.74 に比べて 0.33 ポイント高かった。全 53 施策中 13 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。18～29 歳の特徴として、全体では見られなかった「男女共同参画」「商業振興」「効率的な行政運営」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 58 満足度×重要度マトリクス分析【18～29 歳】



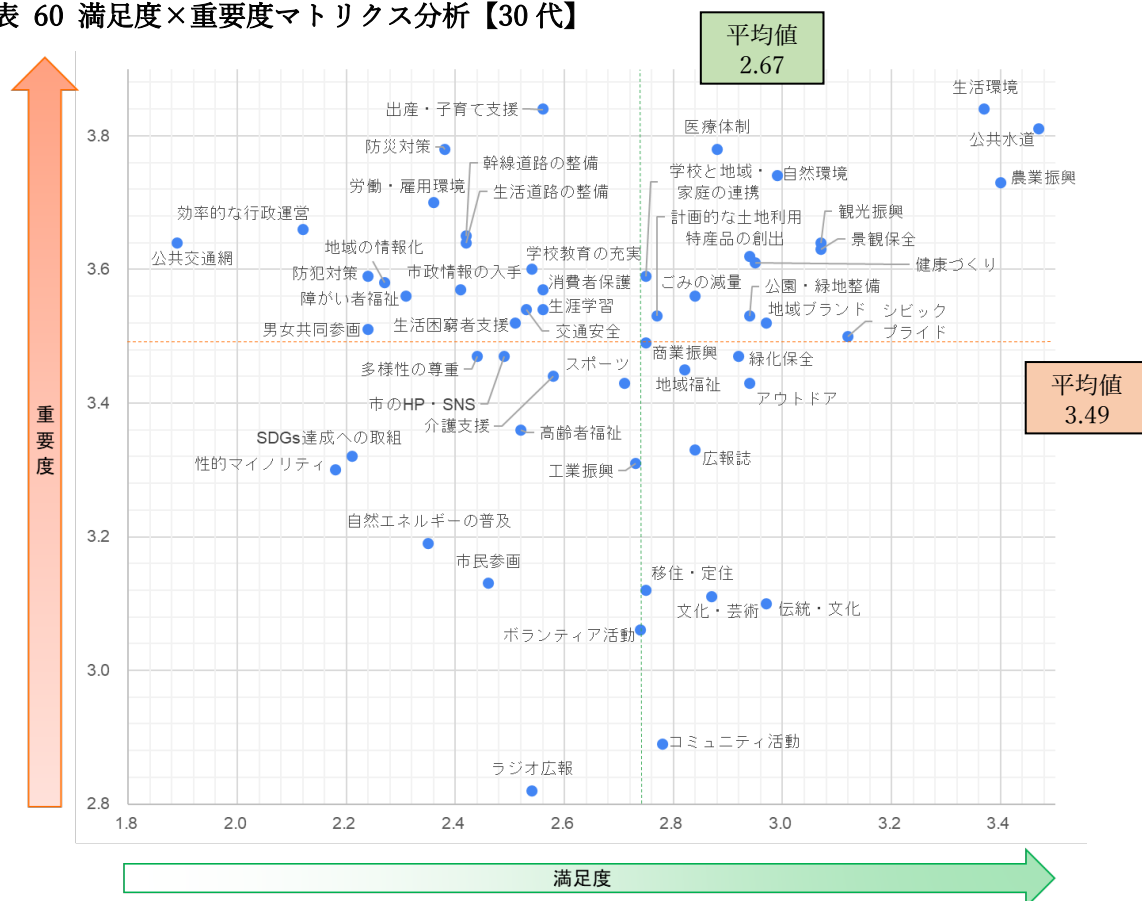
図表 59 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【18～29 歳】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.72	3.53
	生活困窮者支援	2.96	3.50
	男女共同参画	2.95	3.56
防災・防犯	防災対策	2.85	3.82
	防犯対策	2.82	3.68
	消費者保護	2.83	3.71
都市基盤	計画的な土地利用	3.00	3.56
	幹線道路の整備	3.05	3.60
	生活道路の整備	2.92	3.64
	公共交通網	2.62	3.64
経済活動	商業振興	2.87	3.63
	労働・雇用環境	2.93	3.61
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.72	3.53

(ii) 満足度×重要度マトリクス分析【30代】

30代では満足度の平均が2.67となり、全体の平均2.74に比べて0.07ポイント低かった。全53施策中17施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。30代の特徴として、全体では見られなかった「男女共同参画」「出産・子育て支援」「学校教育の充実」「生涯学習」「交通安全」「地域の情報化」「効率的な行政運営」「市政情報の入手」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 60 満足度×重要度マトリクス分析【30代】



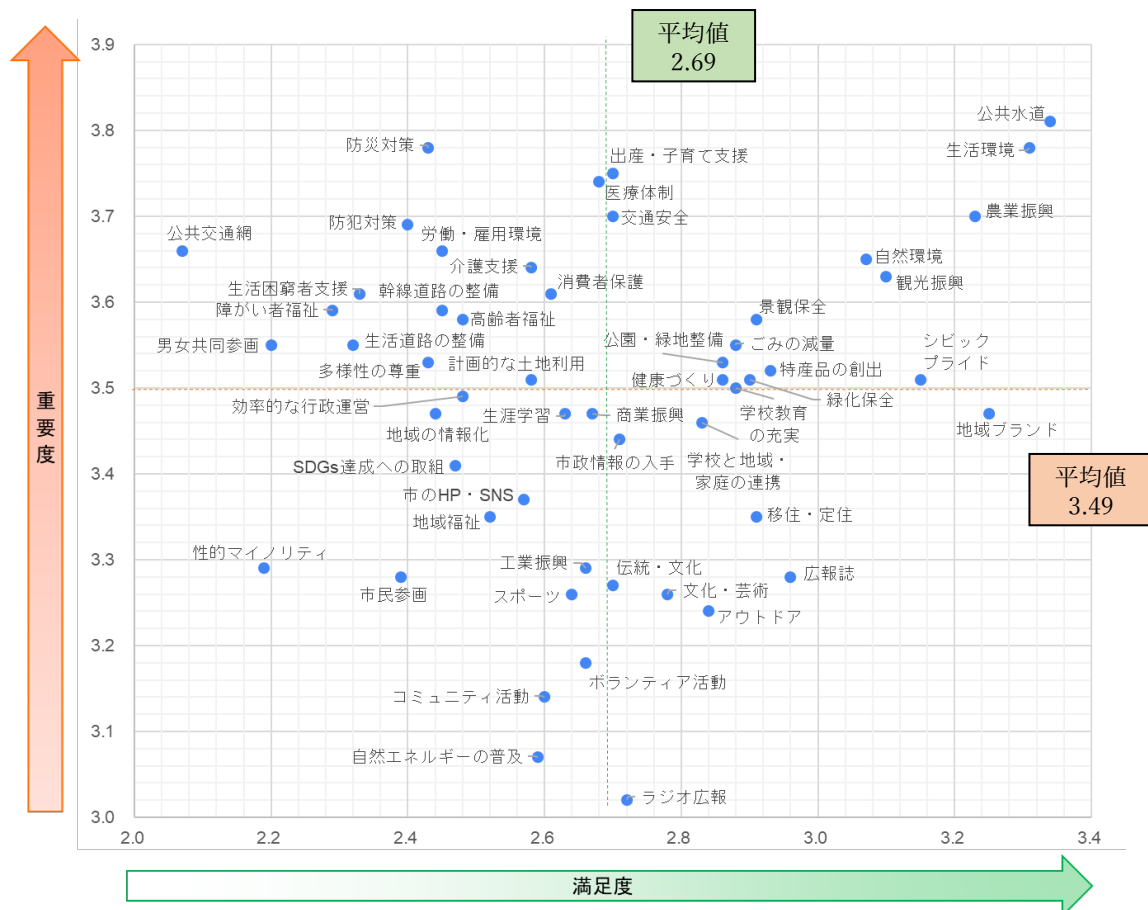
図表 61 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【30代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.31	3.56
	生活困窮者支援	2.51	3.52
	男女共同参画	2.24	3.51
子育て支援	出産・子育て支援	2.56	3.84
教育・学習	学校教育の充実	2.54	3.60
	生涯学習	2.56	3.54
防災・防犯	防災対策	2.38	3.78
	交通安全	2.53	3.54
	防犯対策	2.24	3.59
	消費者保護	2.56	3.57
都市基盤	幹線道路の整備	2.42	3.65
	生活道路の整備	2.42	3.64
	公共交通網	1.89	3.64
経済活動	労働・雇用環境	2.36	3.70
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.27	3.58
	効率的な行政運営	2.12	3.66
	市政情報の入手	2.41	3.57

(iii) 満足度×重要度マトリクス分析【40代】

40代では満足度の平均が2.69となり、全体の平均2.74に比べて0.05ポイント低かった。全53施策中15施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。40代の特徴として、全体では見られなかった「医療体制」「男女共同参画」「多様性の尊重」「効率的な行政運営」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 62 満足度×重要度マトリクス分析【40代】



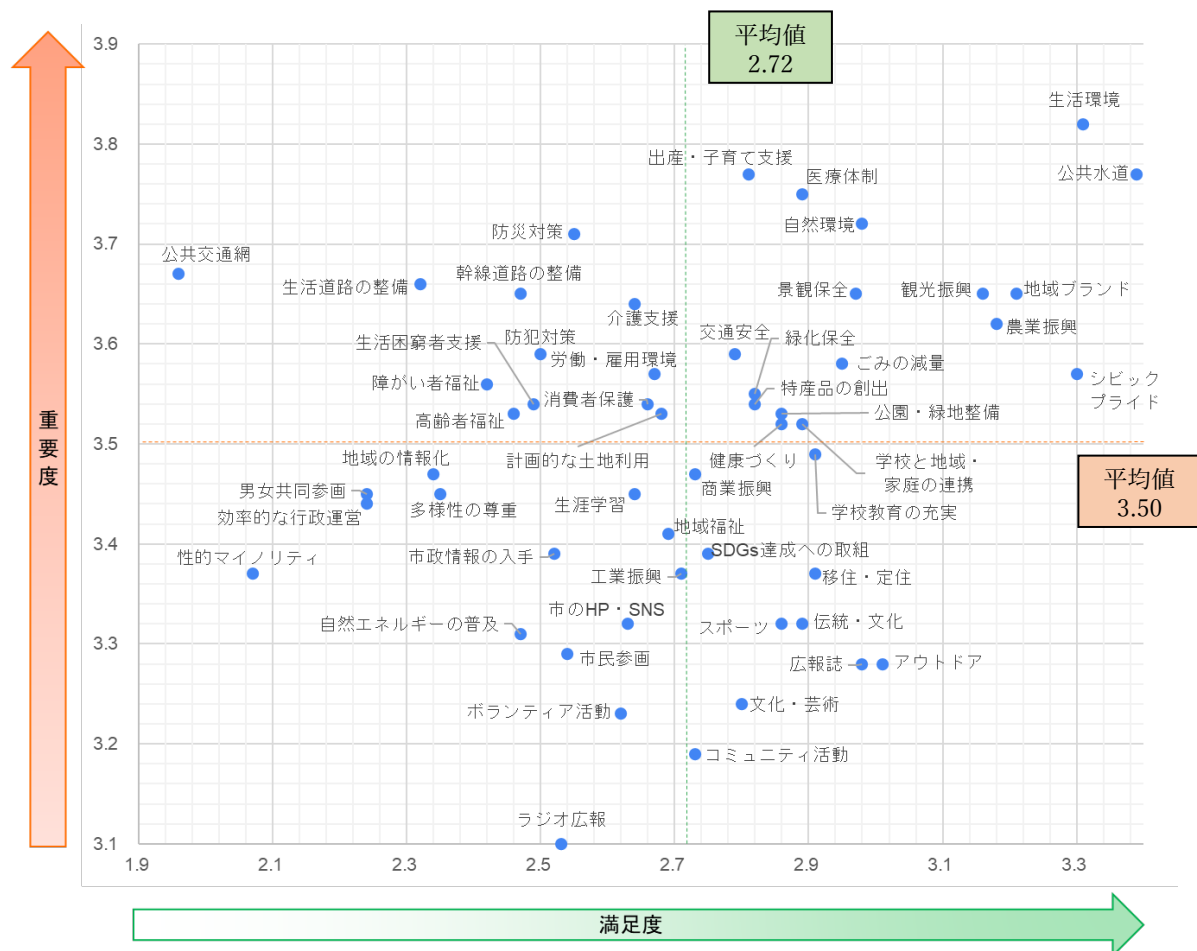
図表 63 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【40代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	医療体制	2.68	3.74
	障がい者福祉	2.29	3.59
	高齢者福祉	2.48	3.58
	介護支援	2.58	3.64
	生活困窮者支援	2.33	3.61
	男女共同参画	2.20	3.55
	多様性の尊重	2.43	3.53
	防災対策	2.43	3.78
防災・防犯	防犯対策	2.40	3.69
	消費者保護	2.61	3.61
	計画的な土地利用	2.58	3.51
都市基盤	幹線道路の整備	2.45	3.59
	生活道路の整備	2.32	3.55
	公共交通網	2.07	3.66
	労働・雇用環境	2.45	3.66

(iv) 満足度×重要度マトリクス分析【50代】

50代では満足度の平均が2.72となり、全体の平均2.74に比べて0.02ポイント低かった。全53施策中12施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。50代であがった今後重点的に取り組むべき施策は、全体の今後重点的に取り組むべき施策に含まれていた。

図表 64 満足度×重要度マトリクス分析【50代】



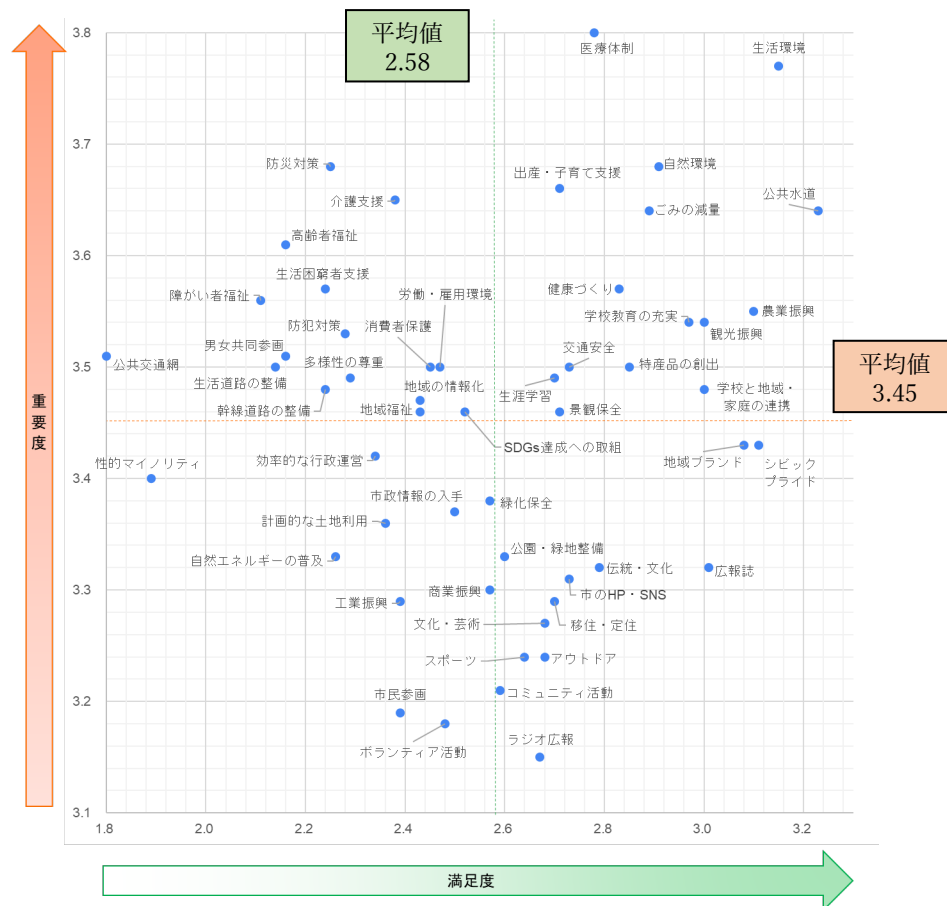
図表 65 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【50代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.42	3.56
	高齢者福祉	2.46	3.53
	介護支援	2.64	3.64
	生活困窮者支援	2.49	3.54
防災・防犯	防災対策	2.55	3.71
	防犯対策	2.50	3.59
	消費者保護	2.66	3.54
都市基盤	計画的な土地利用	2.68	3.53
	幹線道路の整備	2.47	3.65
	生活道路の整備	2.32	3.66
	公共交通網	1.96	3.67
経済活動	労働・雇用環境	2.67	3.57

(v) 満足度×重要度マトリクス分析【60代】

60代では満足度の平均が2.58となり、全体の平均2.74に比べて0.16ポイント低かった。全53施策中16施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。60代の特徴として、全体では見られなかった「地域福祉」「男女共同参画」「多様性の尊重」「地域の情報化」「SDGs達成への取組」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 66 満足度×重要度マトリクス分析【60代】



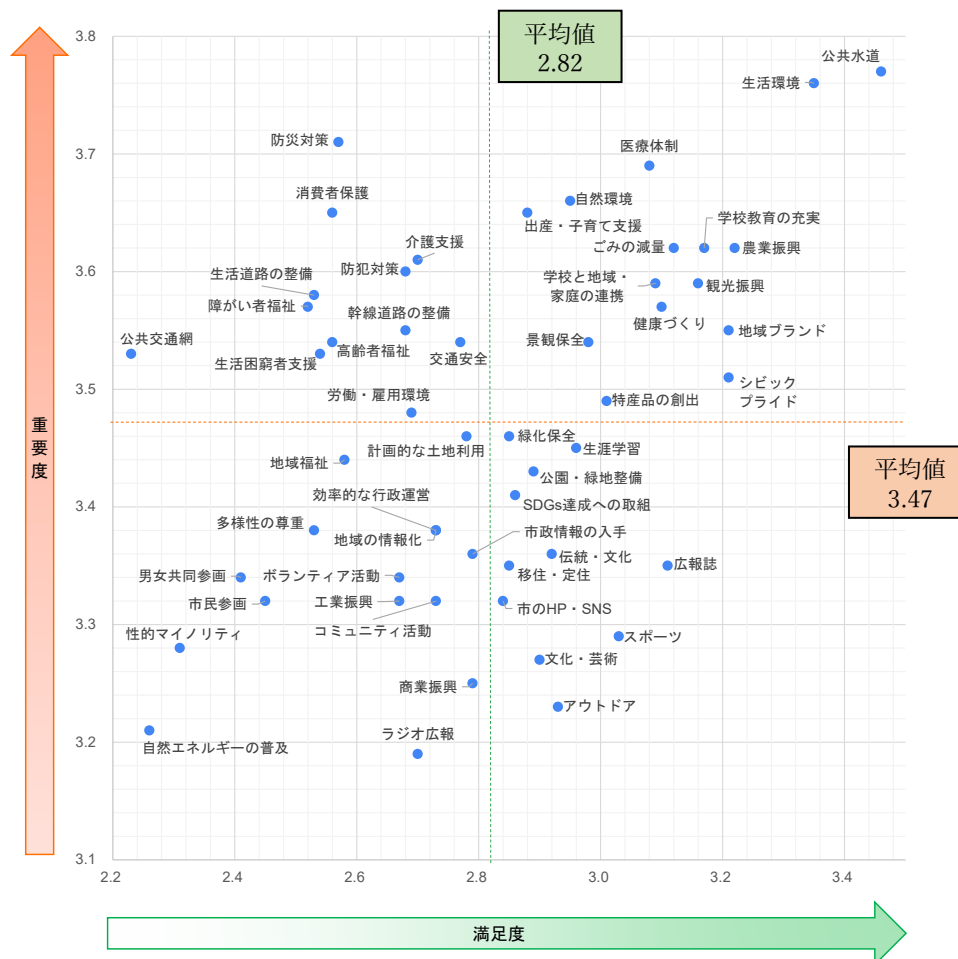
図表 67 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【60代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	地域福祉	2.43	3.46
	障がい者福祉	2.11	3.56
	高齢者福祉	2.16	3.61
	介護支援	2.38	3.65
	生活困窮者支援	2.24	3.57
	男女共同参画	2.16	3.51
	多様性の尊重	2.29	3.49
	防災対策	2.25	3.68
防災・防犯	防犯対策	2.28	3.53
	消費者保護	2.45	3.50
	幹線道路の整備	2.24	3.48
都市基盤	生活道路の整備	2.14	3.50
	公共交通網	1.80	3.51
	労働・雇用環境	2.47	3.50
デジタル社会・行政サ	地域の情報化	2.43	3.47
SDGs	SDGs達成への取組	2.52	3.46

(vi) 満足度×重要度マトリクス分析【70代以上】

70代では満足度の平均が2.82となり、全体の平均2.74より0.08ポイント高かった。全53施策中12施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。70代の特徴として、全体では見られなかった「交通安全」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 68 満足度×重要度マトリクス分析【70代】



図表 69 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【70代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.52	3.57
	高齢者福祉	2.56	3.54
	介護支援	2.70	3.61
	生活困窮者支援	2.54	3.53
防災・防犯	防災対策	2.57	3.71
	交通安全	2.77	3.54
	防犯対策	2.68	3.60
	消費者保護	2.56	3.65
都市基盤	幹線道路の整備	2.68	3.55
	生活道路の整備	2.53	3.58
	公共交通網	2.23	3.53
経済活動	労働・雇用環境	2.69	3.48

(vii) 満足度×重要度マトリクス分析【年代別結果一覧】

すべての年代で共通して今後重点的に取り組むべきとされた施策は、「障がい者福祉」「生活困窮者支援」「防災対策」「防犯対策」「消費者保護」「幹線道路の整備」「生活道路の整備」「公共交通網」及び「労働・雇用環境」の9施策だった。

図表 70 今後重点的に取り組むべき施策【年代別結果一覧】

●…全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

○…全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されていないが、年代別では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

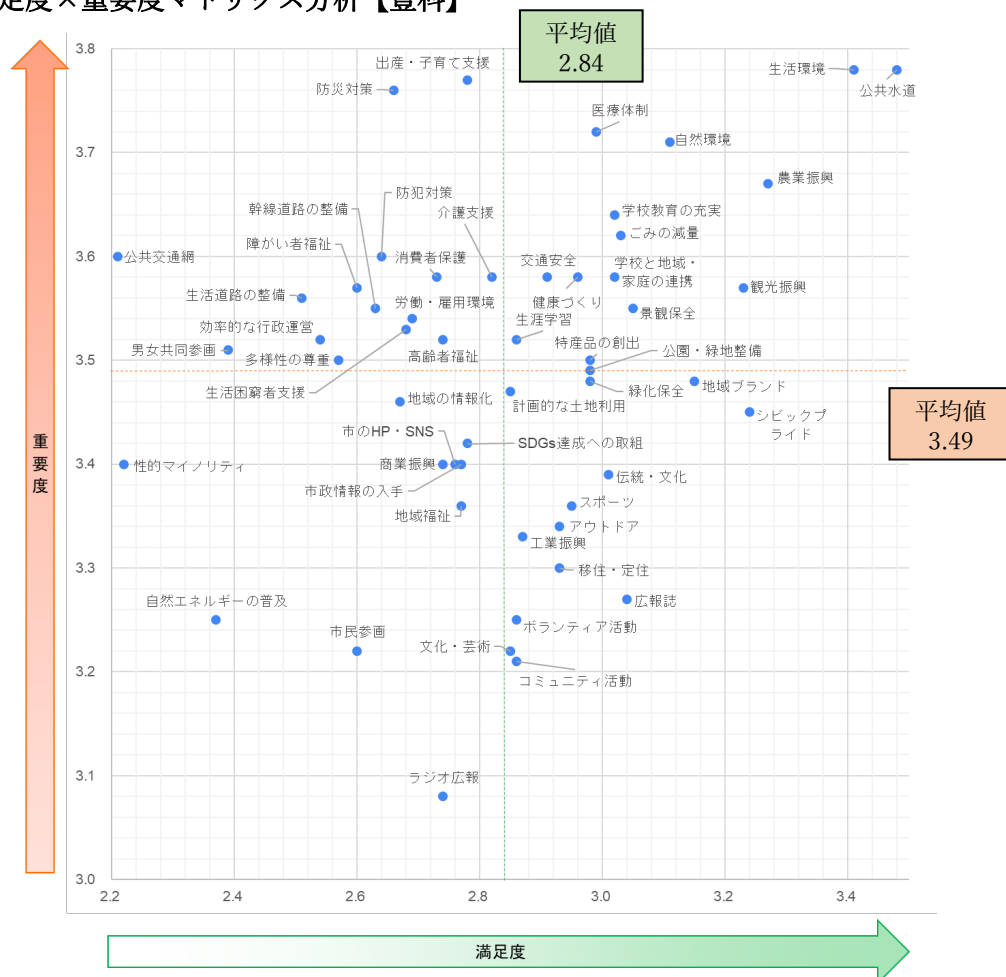
分野	施策名（略称）	全体	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上
自然環境	自然環境							
	生活環境							
	自然エネルギーの普及							
	ごみの減量							
医療・福祉・人権	健康づくり							
	医療体制				○			
	地域福祉						○	
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●			●	●	●	●
	介護支援	●			●	●	●	●
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画		○	○	○		○	
	多様性の尊重				○		○	
	性的マイノリティ							
子育て支援	出産・子育て支援			○				
スポーツ	スポーツ							
	アウトドア							
教育・学習	学校教育の充実			○				
	学校と地域・家庭の連携							
	生涯学習			○				
地域の伝統	伝統・文化							
文化・芸術	文化・芸術							
防災・防犯	防災対策	●	●	●	●	●	●	●
	交通安全			○				○
	防犯対策	●	●	●	●	●	●	●
	消費者保護	●	●	●	●	●	●	●
都市基盤	計画的な土地利用	●	●		●	●		
	景観保全							
	緑化保全							
	公園・緑地整備							
	幹線道路の整備	●	●	●	●	●	●	●
	生活道路の整備	●	●	●	●	●	●	●
	公共交通網	●	●	●	●	●	●	●
	公共水道							
農林水産業	農業振興							
経済活動	商業振興		○					
	工業振興							
	労働・雇用環境	●	●	●	●	●	●	●
観光	観光振興							
	特産品の創出							
地域ブランド	地域ブランド							
	シビックプライド							
移住・定住	移住・定住							
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動							
	ボランティア活動							
	市民参画							
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化			○			○	
	効率的な行政運営		○	○	○			
	市政情報の入手			○				
	広報誌							
	市のHP・SNS							
	ラジオ広報							
SDGs	SDGs達成への取組						○	

Ⅲ. 居住地区別

(i) 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】

豊科地区では満足度の平均が 2.84 となり、全体の平均 2.74 より 0.10 ポイント高かった。全 53 施策中 15 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。豊科地区の特徴として、全体では見られなかった「男女共同参画」「多様性の尊重」「出産・子育て支援」「効率的な行政運営」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 71 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】



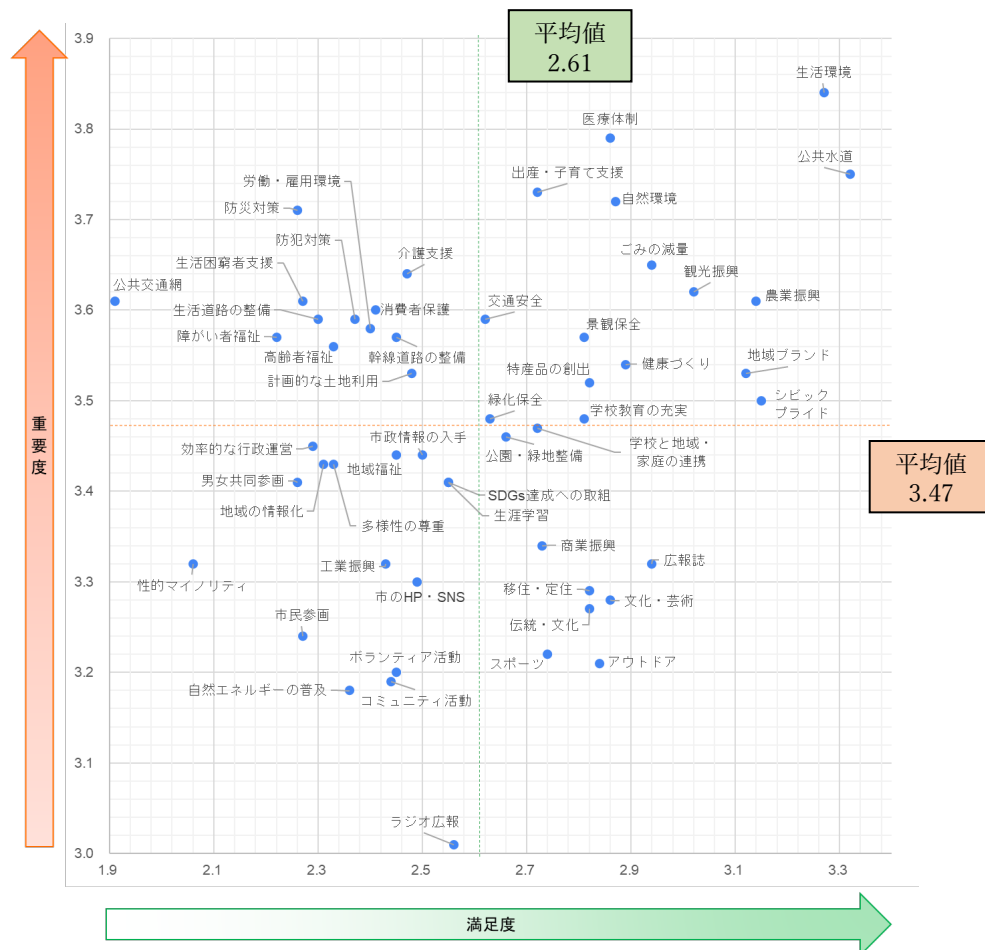
図表 72 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【豊科】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.60	3.57
	高齢者福祉	2.74	3.52
	介護支援	2.82	3.58
	生活困窮者支援	2.68	3.53
	男女共同参画	2.39	3.51
	多様性の尊重	2.57	3.50
子育て支援	出産・子育て支援	2.78	3.77
防災・防犯	防災対策	2.66	3.76
	防犯対策	2.64	3.60
	消費者保護	2.73	3.58
都市基盤	幹線道路の整備	2.63	3.55
	生活道路の整備	2.51	3.56
	公共交通網	2.21	3.60
経済活動	労働・雇用環境	2.69	3.54
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.54	3.52

(ii) 満足度×重要度マトリクス分析【穂高】

穂高地区では満足度の平均が 2.61 となり、全体の平均 2.74 より 0.13 ポイント低かった。全 53 施策中 12 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。穂高地区であがった今後重点的に取り組むべき施策は、全体の今後重点的に取り組むべき施策に含まれていた。

図表 73 満足度×重要度マトリクス分析【穂高】



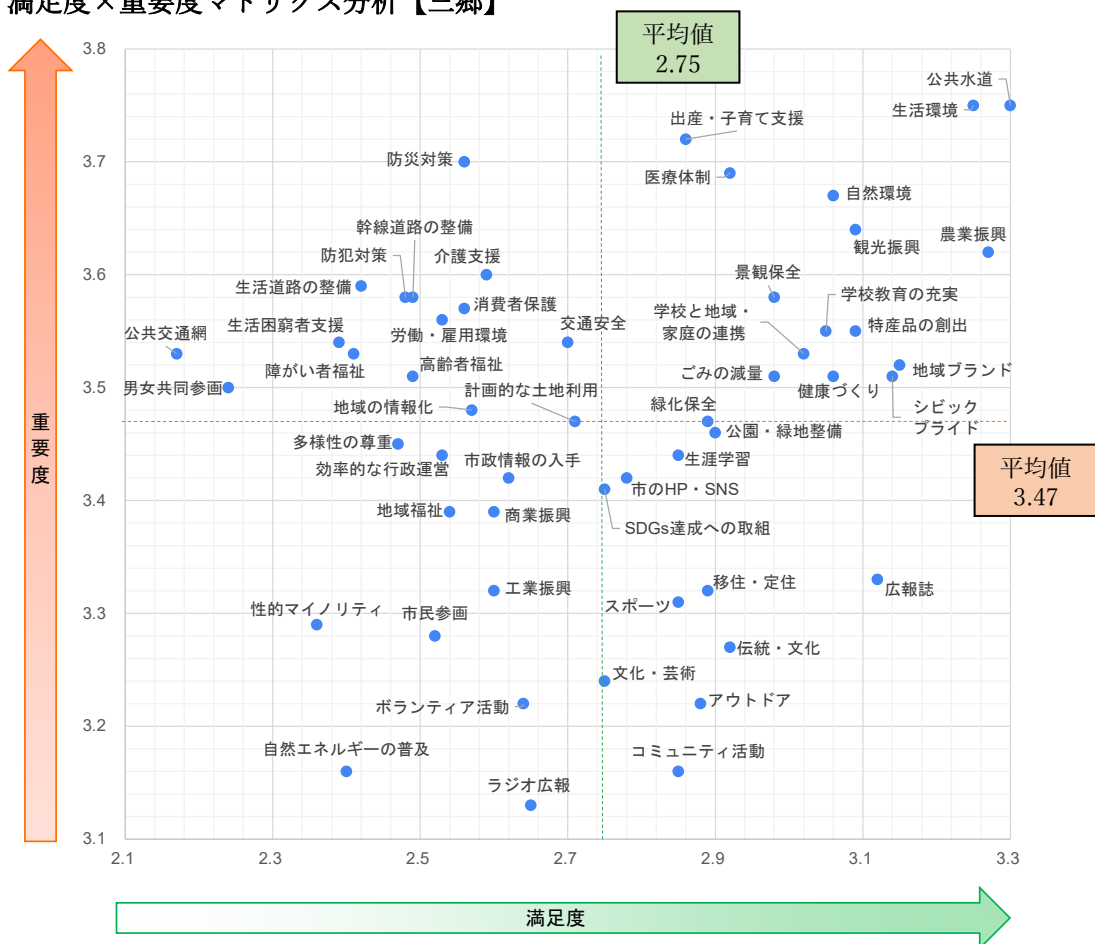
図表 74 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【穂高】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.22	3.57
	高齢者福祉	2.33	3.56
	介護支援	2.47	3.64
	生活困窮者支援	2.27	3.61
防災・防犯	防災対策	2.26	3.71
	防犯対策	2.37	3.59
	消費者保護	2.41	3.60
防災・防犯	計画的な土地利用	2.48	3.53
都市基盤	幹線道路の整備	2.45	3.57
	生活道路の整備	2.30	3.59
	公共交通網	1.91	3.61
経済活動	労働・雇用環境	2.40	3.58

(iii) 満足度×重要度マトリクス分析【三郷】

三郷地区では満足度の平均が 2.75 となり、全体の平均 2.74 より 0.01 ポイント高かった。全 53 施策中 14 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。三郷地区の特徴として、全体では見られなかった「男女共同参画」「交通安全」「地域の情報化」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 75 満足度×重要度マトリクス分析【三郷】



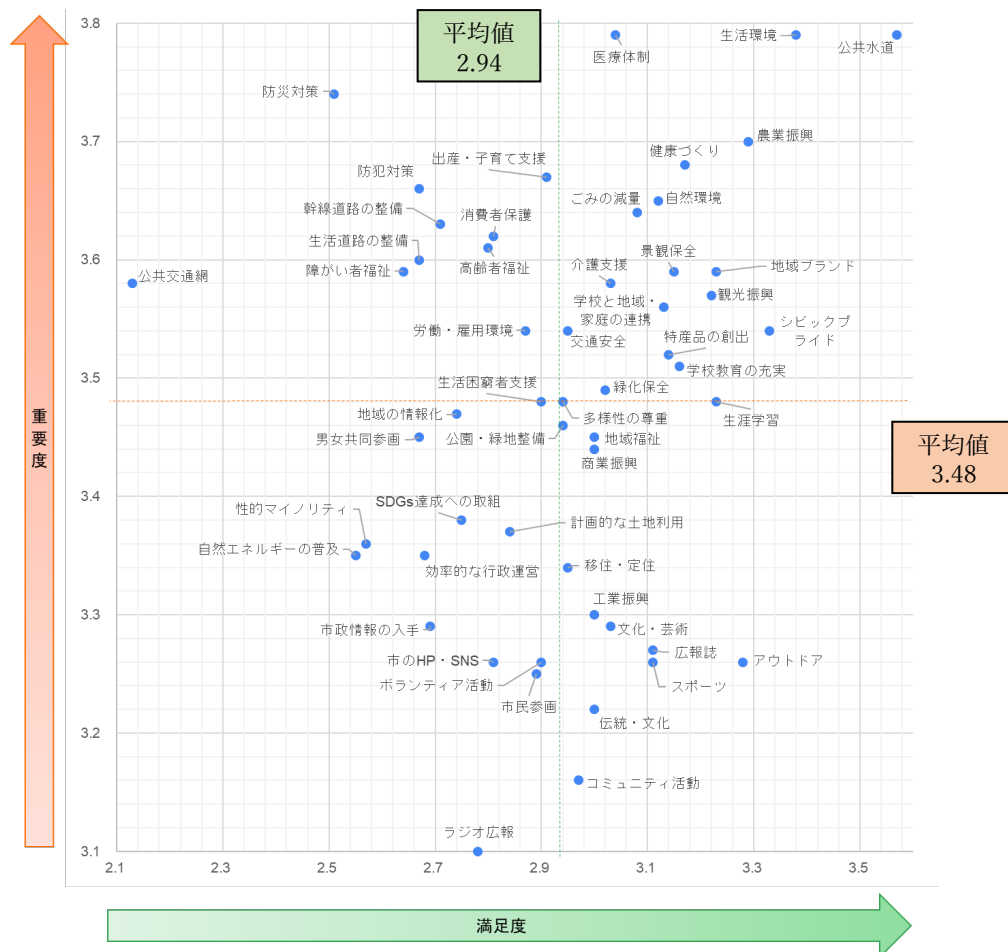
図表 76 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【三郷】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.41	3.53
	高齢者福祉	2.49	3.51
	介護支援	2.59	3.60
	生活困窮者支援	2.39	3.54
	男女共同参画	2.24	3.50
防災・防犯	防災対策	2.56	3.70
	交通安全	2.70	3.54
	防犯対策	2.48	3.58
	消費者保護	2.56	3.57
都市基盤	幹線道路の整備	2.49	3.58
	生活道路の整備	2.42	3.59
	公共交通網	2.17	3.53
経済活動	労働・雇用環境	2.53	3.56
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.57	3.48

(iv) 満足度×重要度マトリクス分析【堀金】

堀金地区では満足度の平均が 2.94 となり、全体の平均 2.74 より 0.20 ポイント高かった。全 53 施策中 10 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。堀金地区の特徴として、全体では見られなかった「出産・子育て支援」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 77 満足度×重要度マトリクス分析【堀金】



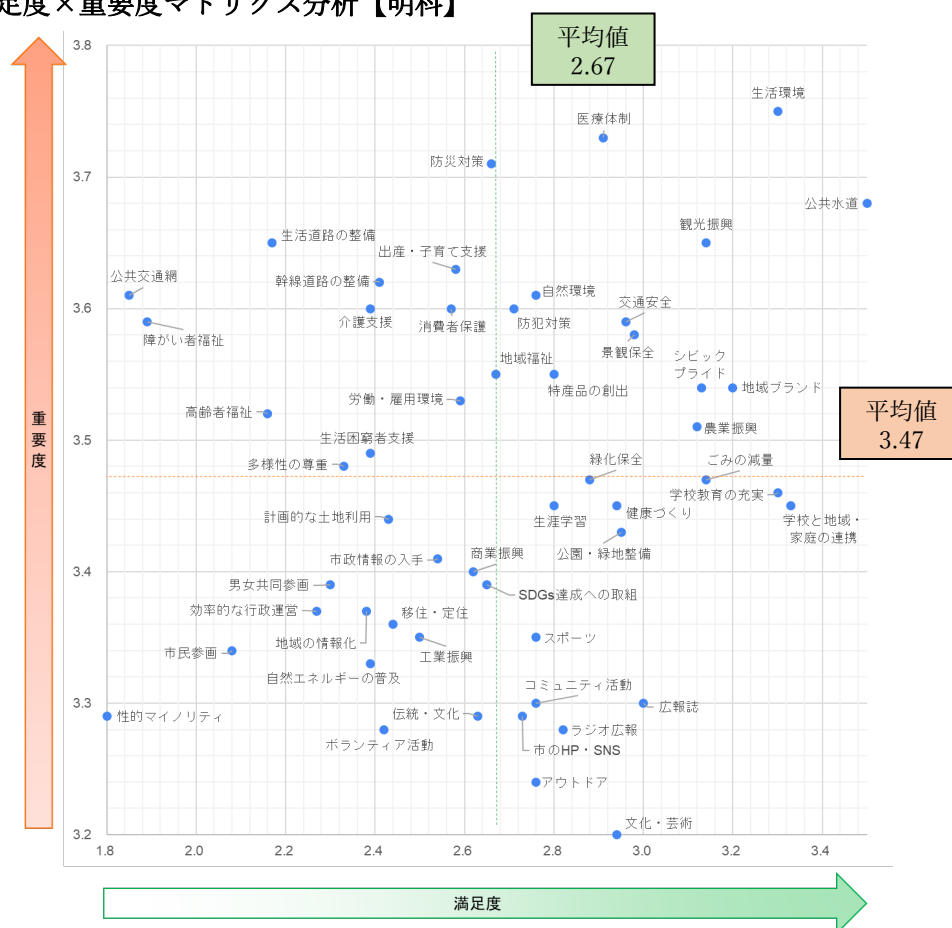
図表 78 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【堀金】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.64	3.59
	高齢者福祉	2.80	3.61
子育て支援	出産・子育て支援	2.91	3.67
防災・防犯	防災対策	2.51	3.74
	防犯対策	2.67	3.66
	消費者保護	2.81	3.62
都市基盤	幹線道路の整備	2.71	3.63
	生活道路の整備	2.67	3.60
	公共交通網	2.13	3.58
経済活動	労働・雇用環境	2.87	3.54

(v) 満足度×重要度マトリクス分析【明科】

明科地区では満足度の平均が 2.67 となり、全体の平均 2.74 より 0.07 ポイント低かった。全 53 施策中 13 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。明科地区の特徴として、全体では見られなかった「地域福祉」「多様性の尊重」「出産・子育て支援」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 79 満足度×重要度マトリクス分析【明科】



図表 80 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【明科】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	地域福祉	2.67	3.55
	障がい者福祉	1.89	3.59
	高齢者福祉	2.16	3.52
	介護支援	2.39	3.60
	生活困窮者支援	2.39	3.49
	多様性の尊重	2.33	3.48
子育て支援	出産・子育て支援	2.58	3.63
防災・防犯	防災対策	2.66	3.71
	消費者保護	2.57	3.60
都市基盤	幹線道路の整備	2.41	3.62
	生活道路の整備	2.17	3.65
	公共交通網	1.85	3.61
経済活動	労働・雇用環境	2.59	3.53

(vi) 満足度×重要度マトリクス分析【居住地区別一覧】

すべての居住地区で共通して今後重点的に取り組むべきとされた施策は、「障がい者福祉」「高齢者福祉」「防災対策」「消費者保護」「幹線道路の整備」「生活道路の整備」「公共交通網」及び「労働・雇用環境」の8施策だった。

図表 81 今後重点的に取り組むべき施策【居住地区別一覧】

●…全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

○…全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されていないが、居住区別では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

分野	施策名（略称）	全体	豊科	穂高	三郷	堀金	明科
自然環境	自然環境						
	生活環境						
	自然エネルギーの普及						
	ごみの減量						
医療・福祉・人権	健康づくり						
	医療体制						
	地域福祉						○
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●	●	●	●	●	●
	介護支援	●	●	●	●		●
	生活困窮者支援	●	●	●	●		●
	男女共同参画		○		○		
	多様性の尊重		○				○
	性的マイノリティ						
子育て支援	出産・子育て支援		○			○	○
スポーツ	スポーツ						
	アウトドア						
教育・学習	学校教育の充実						
	学校と地域・家庭の連携						
	生涯学習						
地域の伝統	伝統・文化						
文化・芸術	文化・芸術						
防災・防犯	防災対策	●	●	●	●	●	●
	交通安全				○		
	防犯対策	●	●	●	●	●	
	消費者保護	●	●	●	●	●	●
都市基盤	計画的な土地利用	●		●			
	景観保全						
	緑化保全						
	公園・緑地整備						
	幹線道路の整備	●	●	●	●	●	●
	生活道路の整備	●	●	●	●	●	●
	公共交通網	●	●	●	●	●	●
	公共水道						
農林水産業	農業振興						
経済活動	商業振興						
	工業振興						
	労働・雇用環境	●	●	●	●	●	●
観光	観光振興						
	特産品の創出						
地域ブランド	地域ブランド						
	シビックプライド						
移住・定住	移住・定住						
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動						
	ボランティア活動						
	市民参画						
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化				○		
	効率的な行政運営		○				
	市政情報の入手						
	広報誌						
	市のHP・SNS						
SDGs	ラジオ広報						
	SDGs達成への取組						

Ⅳ. 過去調査（令和４年）との比較

（い）満足度

満足度について、過去調査（令和４年）と比較した上昇幅が大きい上位 10 施策を分野ごとに見ると、「自然環境」「医療・福祉・人権」「子育て支援」「教育・学習」「防災・防犯」「協働・コミュニティ活動」及び「SDGs」がそれぞれ 1 施策、「デジタル社会・行政サービス」3 施策となった。

図表 82 満足度 過去調査（令和４年）との比較

過去調査（令和４年）と比較したポイント差の上位 10 施策

過去調査（令和４年）と比較したポイント差の下位 10 施策

分野	施策名（略称）	過去（R4）	→	今回	ポイント差	順位
自然環境	自然環境	3.01	→	2.99	▲ 0.02	42
	生活環境	3.25	→	3.32	0.07	21
	自然エネルギーの普及	2.27	→	2.40	0.13	10
	ごみの減量	2.97	→	3.01	0.04	32
医療・福祉・人権	健康づくり	2.92	→	2.97	0.05	27
	医療体制	2.91	→	2.93	0.02	34
	地域福祉	2.54	→	2.63	0.09	16
	障がい者福祉	2.38	→	2.39	0.01	37
	高齢者福祉	2.44	→	2.51	0.07	19
	介護支援	2.58	→	2.64	0.06	24
	生活困窮者支援	2.38	→	2.48	0.10	12
	男女共同参画	2.33	→	2.33	0.00	39
	多様性の尊重	2.39	→	2.48	0.09	15
	性的マイノリティ	2.06	→	2.22	0.16	3
子育て支援	出産・子育て支援	2.64	→	2.78	0.14	7
スポーツ	スポーツ	2.81	→	2.87	0.06	22
	アウトドア	2.83	→	2.92	0.09	14
教育・学習	学校教育の充実	2.91	→	2.99	0.08	18
	学校と地域・家庭の連携	2.85	→	2.96	0.11	11
	生涯学習	2.63	→	2.80	0.17	2
地域の伝統	伝統・文化	2.92	→	2.89	▲ 0.03	45
文化・芸術	文化・芸術	2.84	→	2.85	0.01	36
防災・防犯	防災対策	2.62	→	2.49	▲ 0.13	52
	交通安全	2.71	→	2.77	0.06	25
	防犯対策	2.39	→	2.52	0.13	9
	消費者保護	2.54	→	2.59	0.05	28
都市基盤	計画的な土地利用	2.67	→	2.67	0.00	38
	景観保全	2.95	→	2.96	0.01	35
	緑化保全	2.81	→	2.85	0.04	30
	公園・緑地整備	2.82	→	2.86	0.04	31
	幹線道路の整備	2.56	→	2.53	▲ 0.03	44
	生活道路の整備	2.43	→	2.41	▲ 0.02	41
	公共交通網	2.15	→	2.07	▲ 0.08	49
	公共水道	未調査	→	3.40	—	—
農林水産業	農業振興	3.17	→	3.22	0.05	26
経済活動	商業振興	2.82	→	2.72	▲ 0.10	51
	工業振興	2.76	→	2.67	▲ 0.09	50
	労働・雇用環境	2.65	→	2.59	▲ 0.06	48
観光	観光振興	3.13	→	3.12	▲ 0.01	40
	特産品の創出	2.98	→	2.95	▲ 0.03	46
地域ブランド	地域ブランド	3.18	→	3.15	▲ 0.03	43
	シビックプライド	3.17	→	3.19	0.02	33
移住・定住	移住・定住	2.90	→	2.85	▲ 0.05	47
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動	2.66	→	2.73	0.07	20
	ボランティア活動	2.51	→	2.66	0.15	4
	市民参画	2.37	→	2.47	0.10	13
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.46	→	2.50	0.04	29
	効率的な行政運営	2.30	→	2.45	0.15	6
	市政情報の入手	2.48	→	2.62	0.14	8
	広報誌	2.96	→	3.02	0.06	23
	市のHP・SNS	2.52	→	2.67	0.15	5
	ラジオ広報	2.58	→	2.67	0.09	17
SDGs	SDGs達成への取組	2.51	→	2.68	0.17	1
平均値		2.69	→	2.74	0.06	

(ii) 重要度

重要度について、過去調査（令和4年）と比較した上昇幅が大きい上位10施策を分野ごとに見ると、「自然環境」「医療・福祉・人権」「防災・防犯」「農林水産業」及び「地域ブランド」がそれぞれ1施策、「都市基盤」4施策、「デジタル社会・行政サービス」3施策となった。

図表 83 重要度 過去調査（令和4年）との比較

過去調査（令和4年）と比較したポイント差の上位10施策

過去調査（令和4年）と比較したポイント差の下位10施策

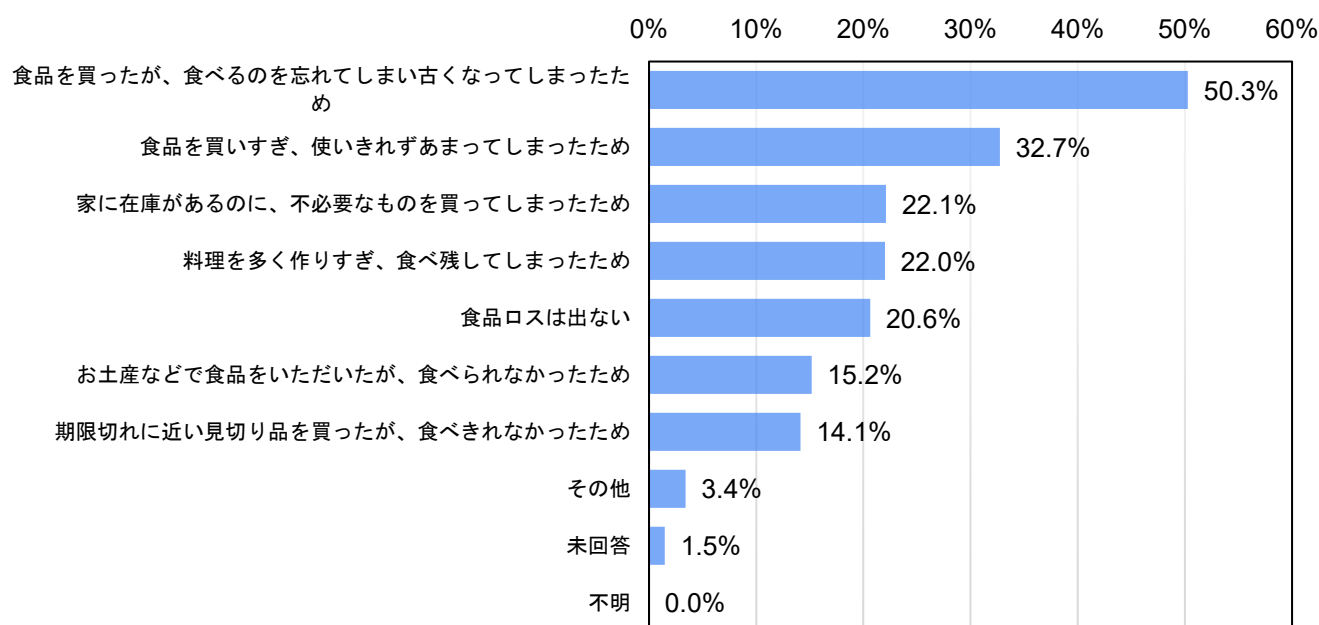
分野	施策名（略称）	過去（R4）	→	今回	ポイント差	順位
自然環境	自然環境	3.71	→	3.69	▲ 0.02	25
	生活環境	3.76	→	3.79	0.03	3
	自然エネルギーの普及	3.34	→	3.23	▲ 0.11	51
	ごみの減量	3.60	→	3.60	0.00	17
医療・福祉・人権	健康づくり	3.53	→	3.55	0.02	6
	医療体制	3.74	→	3.75	0.01	13
	地域福祉	3.44	→	3.41	▲ 0.03	34
	障がい者福祉	3.60	→	3.57	▲ 0.03	33
	高齢者福祉	3.59	→	3.54	▲ 0.05	41
	介護支援	3.63	→	3.61	▲ 0.02	27
	生活困窮者支援	3.62	→	3.55	▲ 0.07	49
	男女共同参画	3.52	→	3.46	▲ 0.06	46
	多様性の尊重	3.50	→	3.46	▲ 0.04	40
	性的マイノリティ	3.39	→	3.34	▲ 0.05	42
子育て支援	出産・子育て支援	3.76	→	3.72	▲ 0.04	36
スポーツ	スポーツ	3.35	→	3.30	▲ 0.05	44
	アウトドア	3.33	→	3.26	▲ 0.07	48
教育・学習	学校教育の充実	3.66	→	3.54	▲ 0.12	52
	学校と地域・家庭の連携	3.59	→	3.53	▲ 0.06	47
	生涯学習	3.49	→	3.45	▲ 0.04	35
地域の伝統	伝統・文化	3.29	→	3.29	0.00	15
文化・芸術	文化・芸術	3.29	→	3.25	▲ 0.04	39
防災・防犯	防災対策	3.71	→	3.73	0.02	8
	交通安全	3.61	→	3.57	▲ 0.04	37
	防犯対策	3.66	→	3.60	▲ 0.06	45
	消費者保護	3.64	→	3.59	▲ 0.05	43
都市基盤	計画的な土地利用	3.50	→	3.48	▲ 0.02	28
	景観保全	3.58	→	3.57	▲ 0.01	21
	緑化保全	3.51	→	3.48	▲ 0.03	31
	公園・緑地整備	3.46	→	3.47	0.01	14
	幹線道路の整備	3.52	→	3.58	0.06	1
	生活道路の整備	3.56	→	3.59	0.03	4
	公共交通網	3.57	→	3.59	0.02	7
	公共水道	未調査	→	3.76	—	—
農林水産業	農業振興	3.59	→	3.63	0.04	2
経済活動	商業振興	3.40	→	3.38	▲ 0.02	26
	工業振興	3.40	→	3.32	▲ 0.08	50
観光	労働・雇用環境	3.57	→	3.56	▲ 0.01	21
	観光振興	3.61	→	3.61	0.00	16
	特産品の創出	3.53	→	3.52	▲ 0.01	19
地域ブランド	地域ブランド	3.51	→	3.52	0.01	9
	シビックプライド	3.52	→	3.50	▲ 0.02	29
移住・定住	移住・定住	3.32	→	3.31	▲ 0.01	18
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動	3.22	→	3.19	▲ 0.03	30
	ボランティア活動	3.27	→	3.23	▲ 0.04	38
	市民参画	3.26	→	3.25	▲ 0.01	23
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	3.44	→	3.45	0.01	12
	効率的な行政運営	3.44	→	3.45	0.01	10
	市政情報の入手	3.44	→	3.41	▲ 0.03	32
	広報誌	3.29	→	3.30	0.01	11
	市のHP・SNS	3.32	→	3.35	0.03	5
	ラジオ広報	3.10	→	3.08	▲ 0.02	24
SDGs	SDGs達成への取組	3.42	→	3.41	▲ 0.01	20
平均値		3.50	→	3.48	▲ 0.02	

(1) 自然環境について

問6. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約600万～700万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

「食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため」(50.3%) が最も高く、次いで「食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため」(32.7%)、「家に在庫があるのに、 unnecessaryなものを買ってしまったため」(22.1%)「料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため」(22.0%)「食品ロスは出ない」(20.6%)の順となった。

図表 84 食品ロスが発生してしまう原因



(n=877)

図表 85 【年代別】食品ロスが発生してしまう原因

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため	50.3%	46.0%	54.1%	52.1%	57.3%	47.5%	47.2%	0.0%
食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため	32.7%	34.0%	29.4%	37.6%	35.7%	30.4%	31.4%	0.0%
家に在庫があるのに、 unnecessaryなものを買ってしまったため	22.1%	18.0%	18.8%	17.1%	17.8%	24.1%	26.9%	0.0%
料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため	22.0%	24.0%	21.2%	17.1%	23.6%	20.3%	23.9%	0.0%
食品ロスは出ない	20.6%	22.0%	21.2%	14.5%	16.6%	22.8%	23.3%	100.0%
お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため	15.2%	20.0%	11.8%	19.7%	17.8%	14.6%	12.6%	0.0%
期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため	14.1%	10.0%	14.1%	15.4%	17.2%	13.3%	13.3%	0.0%
その他	3.4%	0.0%	3.5%	5.1%	3.8%	2.5%	3.6%	0.0%
未回答	1.5%	0.0%	1.2%	0.9%	0.6%	1.3%	2.6%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 86 【居住地区別】食品ロスが発生してしまう原因

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため	50.3%	50.6%	50.7%	51.4%	50.0%	46.5%	25.0%
食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため	32.7%	28.5%	35.7%	33.1%	25.0%	43.7%	25.0%
家に在庫があるのに、 unnecessaryなものを買ってしまったため	22.1%	18.1%	27.6%	21.1%	15.5%	25.4%	0.0%
料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため	22.0%	22.9%	21.8%	18.9%	21.4%	29.6%	0.0%
食品ロスは出ない	20.6%	22.5%	19.7%	17.7%	23.8%	21.1%	25.0%
お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため	15.2%	15.7%	13.6%	16.6%	17.9%	14.1%	0.0%
期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため	14.1%	18.5%	13.3%	12.0%	9.5%	14.1%	0.0%
その他	3.4%	2.0%	4.1%	5.1%	3.6%	1.4%	0.0%
未回答	1.5%	2.0%	1.7%	1.1%	0.0%	0.0%	25.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

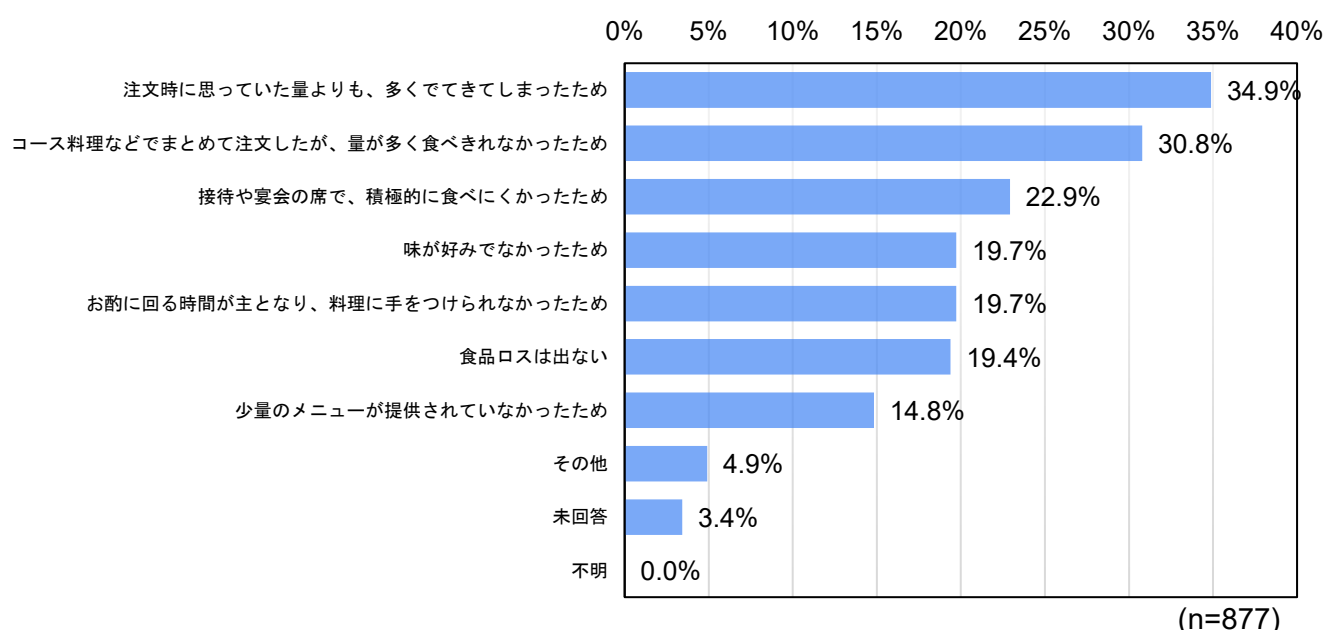
問7. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

「注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため」(34.9%)が最も高く、次いで「コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため」(30.8%)、「接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため」(22.9%)の順となった。

年代別では、「接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため」は30代(31.8%)が高く、70代以上(15.2%)が低かった。「お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため」は50代(27.4%)が高く、18～29歳及び70代以上(12.0%)が低かった。

居住地区別では、「味が好みでなかったため」は明科地区(29.6%)が高かった。

図表 87 外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因



図表 88 【年代別】外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため	34.9%	34.0%	35.3%	34.2%	33.8%	36.1%	35.3%	0.0%
コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため	30.8%	40.0%	34.1%	38.5%	34.4%	26.6%	25.6%	100.0%
接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため	22.9%	22.0%	31.8%	30.8%	31.2%	19.0%	15.2%	100.0%
味が好みでなかったため	19.7%	12.0%	21.2%	18.8%	19.1%	20.3%	21.0%	0.0%
お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため	19.7%	12.0%	27.1%	26.5%	27.4%	20.9%	12.0%	0.0%
食品ロスは出ない	19.4%	22.0%	11.8%	18.8%	16.6%	19.6%	22.7%	0.0%
少量のメニューが提供されていなかったため	14.8%	12.0%	15.3%	9.4%	11.5%	19.6%	16.5%	0.0%
その他	4.9%	4.0%	5.9%	4.3%	4.5%	5.1%	5.2%	0.0%
未回答	3.4%	0.0%	1.2%	0.0%	1.3%	1.9%	7.8%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 89 【居住地区別】外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため	34.9%	36.5%	33.3%	34.9%	39.3%	32.4%	0.0%
コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため	30.8%	32.1%	26.5%	32.6%	40.5%	28.2%	25.0%
接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため	22.9%	27.3%	21.1%	21.7%	25.0%	15.5%	25.0%
味が好みでなかったため	19.7%	20.5%	17.7%	20.6%	15.5%	29.6%	0.0%
お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため	19.7%	18.9%	20.1%	17.7%	25.0%	21.1%	0.0%
食品ロスは出ない	19.4%	20.5%	21.4%	16.6%	13.1%	22.5%	0.0%
少量のメニューが提供されていなかったため	14.8%	18.1%	14.6%	12.0%	15.5%	9.9%	25.0%
その他	4.9%	4.0%	5.1%	6.9%	3.6%	2.8%	25.0%
未回答	3.4%	3.6%	3.7%	2.3%	2.4%	4.2%	25.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

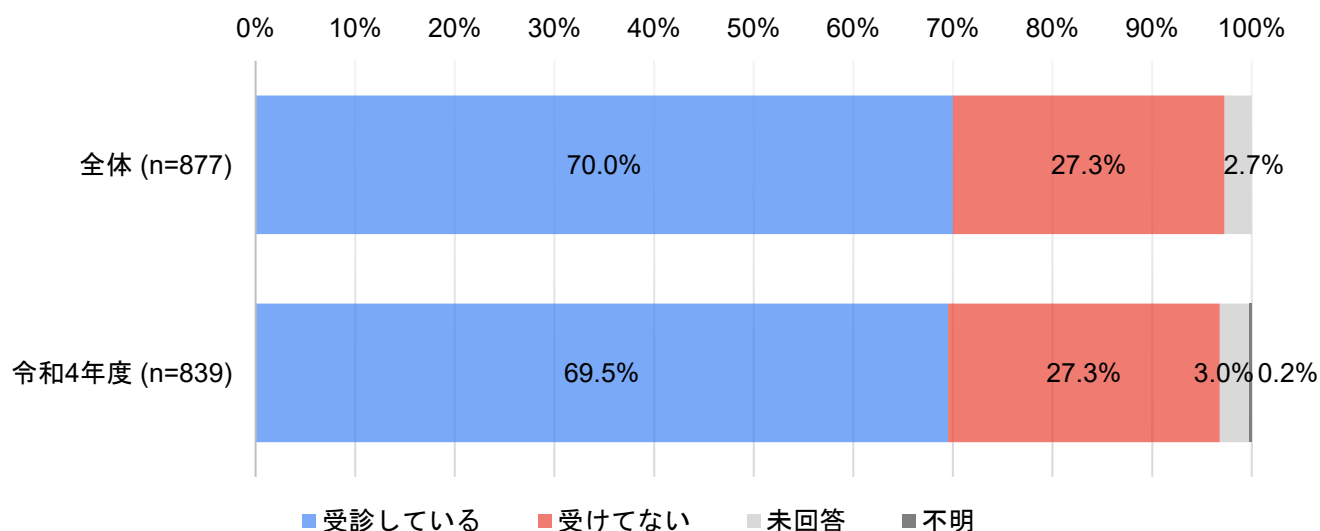
(2) 医療・福祉・人権について

問8. 毎年、健康診断（人間ドックを含む）の受診はされていますか。（1つに○）

「受診している」（70.0%）が最も高く、次いで「受けてない」（27.3%）の順となった。

年代別では、「受診している」は、50代（82.8%）が高く、18～29歳（48.0%）が低かった。「受けてない」は、18～29歳（52.0%）が高かった。

図表 90 毎年の健康診断の受診状況



図表 91 【年代別】毎年の健康診断の受診状況

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
受診している	70.0%	48.0%	67.1%	76.1%	82.8%	77.2%	61.8%	100.0%
受けてない	27.3%	52.0%	31.8%	23.1%	16.6%	20.9%	32.4%	0.0%
未回答	2.7%	0.0%	1.2%	0.9%	0.6%	1.9%	5.8%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 92 【居住地区別】毎年の健康診断の受診状況

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
受診している	70.0%	71.9%	67.3%	72.6%	72.6%	64.8%	75.0%
受けてない	27.3%	24.9%	30.6%	25.1%	23.8%	32.4%	0.0%
未回答	2.7%	3.2%	2.0%	2.3%	3.6%	2.8%	25.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問8で「2. 受けていない」と回答した方のみご回答ください。

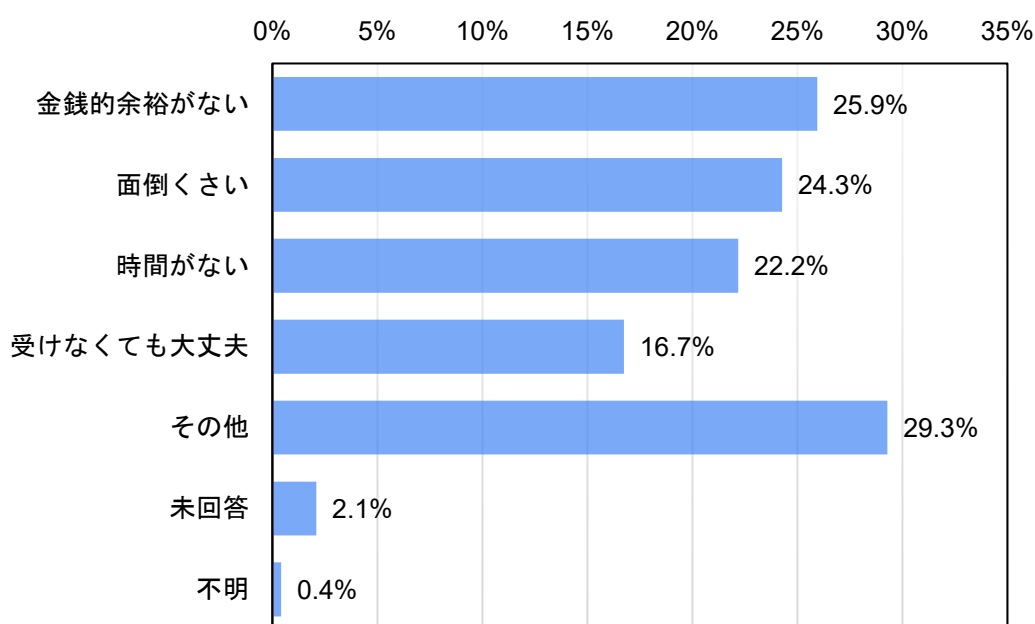
(1) 健康診断を受診していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

健康診断を毎年「受けていない」と回答した 239 人に聞いたところ、「金銭的余裕がない」(25.9%) が最も高く、次いで「面倒くさい」(24.3%)、「時間がない」(22.2%)、「受けなくても大丈夫」(16.7%) の順となった。

年代別では、「金銭的余裕がない」は 40 代 (59.3%) で高く、70 代以上 (12.0%) で低かった。「時間がない」は 40 代 (48.1%) 及び 50 代 (42.3%) で高く、70 代以上 (8.0%) で低かった。「受けなくても大丈夫」は 40 代 (0.0%) で低かった。

居住地区別では、「金銭的余裕がない」は三郷地区 (43.2%) で高く、堀金 (5.0%) で低かった。

図表 93 健康診断を受診していない理由



(n=239)

図表 94 【年代別】健康診断を受診していない理由

	全体 (n=239)	18～29歳 (n=26)	30代 (n=27)	40代 (n=27)	50代 (n=26)	60代 (n=33)	70代以上 (n=100)	未回答 (n=0)
金銭的余裕がない	25.9%	34.6%	37.0%	59.3%	23.1%	27.3%	12.0%	0.0%
面倒くさい	24.3%	19.2%	22.2%	33.3%	34.6%	21.2%	22.0%	0.0%
時間がない	22.2%	23.1%	37.0%	48.1%	42.3%	15.2%	8.0%	0.0%
受けなくても大丈夫	16.7%	19.2%	18.5%	0.0%	3.8%	21.2%	22.0%	0.0%
その他	29.3%	23.1%	22.2%	7.4%	19.2%	24.2%	43.0%	0.0%
未回答	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	4.0%	0.0%
不明	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%

図表 95 【居住地区別】健康診断を受診していない理由

	全体 (n=239)	豊科 (n=62)	穂高 (n=90)	三郷 (n=44)	堀金 (n=20)	明科 (n=23)	未回答 (n=0)
金銭的余裕がない	25.9%	29.0%	24.4%	43.2%	5.0%	8.7%	0.0%
面倒くさい	24.3%	22.6%	24.4%	20.5%	30.0%	30.4%	0.0%
時間がない	22.2%	24.2%	18.9%	27.3%	25.0%	17.4%	0.0%
受けなくても大丈夫	16.7%	17.7%	17.8%	6.8%	20.0%	26.1%	0.0%
その他	29.3%	29.0%	31.1%	20.5%	30.0%	39.1%	0.0%
未回答	2.1%	3.2%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.4%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 子育て支援について

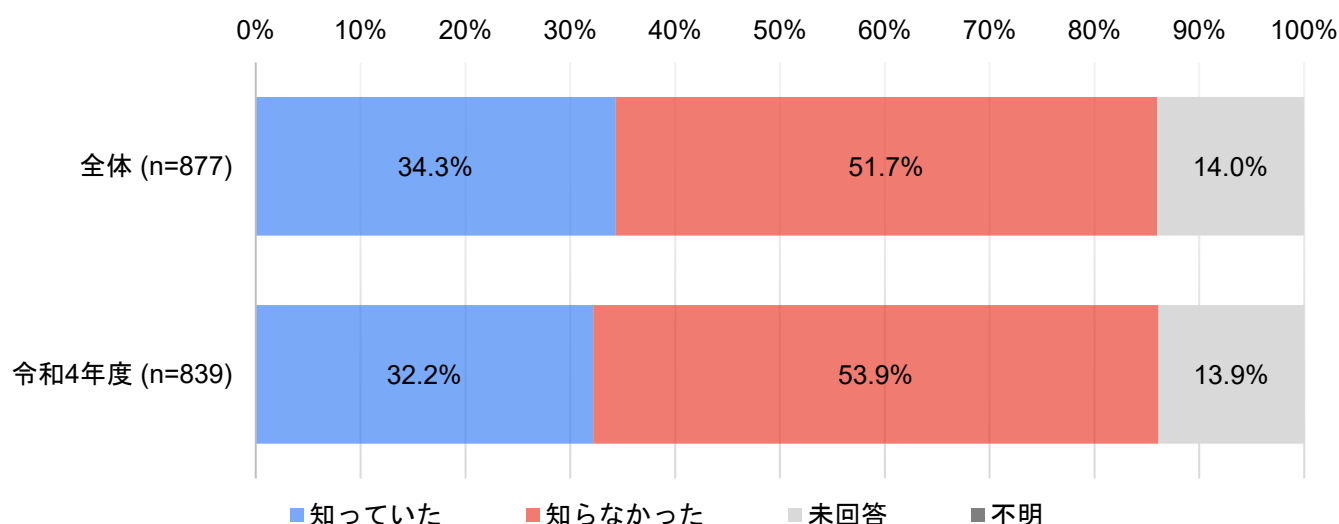
問9. 安曇野市では豊かな自然環境を保育に取り入れ、子どもたちの学びや感性を育む「自然保育」に取り組んでいます。そのことを知っていましたか。(1つに○)

「知らなかった(51.7%)」及び「知っていた(34.3%)」と過半数が知らず、認知は3割程度になった。

年代別では、「知っていた」は30代(56.5%)及び40代(44.4%)で高かった。「知らなかった」は、18~29歳(64.0%)、50代(60.5%)及び60代(61.4%)で高く、30代(36.5%)及び70代以上(43.7%)で低かった。「未回答」は、70代以上(25.9%)で高く、18~29歳(4.0%)及び40代(2.6%)で低かった。

居住地区別では、「知らなかった」は明科(36.6%)で低かった。

図表 96 「自然保育」への取り組みについての認知度



図表 97 【年代別】「自然保育」への取り組みについての認知度

	全体 (n=877)	18~29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
知っていた	34.3%	32.0%	56.5%	44.4%	30.6%	27.2%	30.4%	0.0%
知らなかった	51.7%	64.0%	36.5%	53.0%	60.5%	61.4%	43.7%	100.0%
未回答	14.0%	4.0%	7.1%	2.6%	8.9%	11.4%	25.9%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 98 【居住地区別】「自然保育」への取り組みについての認知度

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
知っていた	34.3%	34.5%	34.0%	28.0%	40.5%	45.1%	0.0%
知らなかった	51.7%	52.6%	53.1%	58.3%	44.0%	36.6%	25.0%
未回答	14.0%	12.9%	12.9%	13.7%	15.5%	18.3%	75.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) スポーツについて

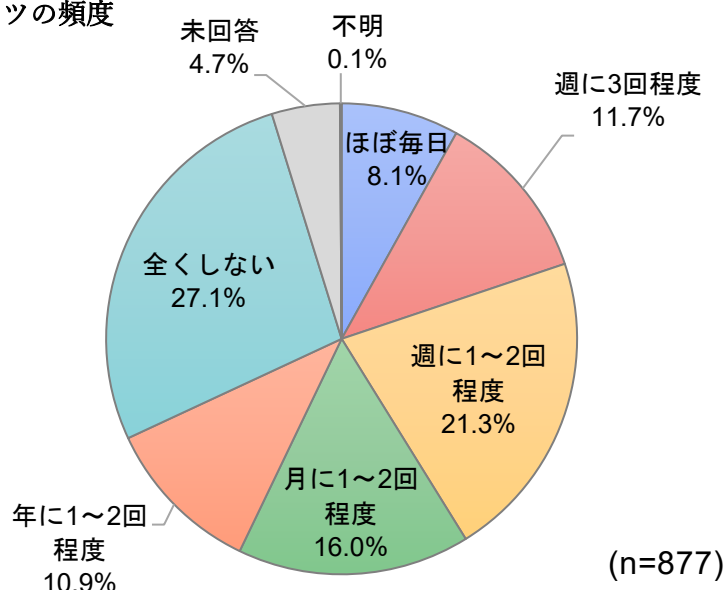
問 10. あなたの運動又はスポーツの頻度について教えてください（1つに○）

「全くしない」（27.1%）が最も高く、次いで「週に1～2回程度」（21.3%）、「月に1～2回程度」（16.0%）の順となった。

年代別では、「月に1～2回程度」は30代（28.2%）で高く、70代以上（10.4%）で低かった。「年に1～2回程度」は40代（20.5%）が高かった。「未回答」は70代（9.4%）が高かった。

居住地区別では、「年に1～2回程度」は、堀金地区（19.0%）が高く、穂高地区（6.5%）で低かった。「ほぼ毎日」は三郷地区（3.4%）で低かった。

図表 99 運動又はスポーツの頻度



図表 100 【年代別】運動又はスポーツの頻度

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
ほぼ毎日	8.1%	8.0%	4.7%	3.4%	10.8%	7.0%	10.0%	0.0%
週に3回程度	11.7%	10.0%	11.8%	6.0%	9.6%	10.8%	15.9%	0.0%
週に1～2回程度	21.3%	24.0%	14.1%	23.1%	24.8%	19.6%	21.0%	100.0%
月に1～2回程度	16.0%	22.0%	28.2%	17.1%	20.4%	13.3%	10.4%	0.0%
年に1～2回程度	10.9%	6.0%	9.4%	20.5%	7.0%	12.0%	10.0%	0.0%
全くしない	27.1%	28.0%	30.6%	29.1%	25.5%	32.9%	23.3%	0.0%
未回答	4.7%	0.0%	1.2%	0.9%	1.9%	4.4%	9.4%	0.0%
不明	0.1%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 101 【居住地区別】運動又はスポーツの頻度

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
ほぼ毎日	8.1%	8.8%	9.9%	3.4%	9.5%	8.5%	0.0%
週に3回程度	11.7%	13.7%	9.2%	13.1%	8.3%	16.9%	0.0%
週に1～2回程度	21.3%	20.9%	22.8%	20.0%	23.8%	15.5%	50.0%
月に1～2回程度	16.0%	16.1%	17.0%	16.6%	15.5%	11.3%	0.0%
年に1～2回程度	10.9%	12.4%	6.5%	13.1%	19.0%	9.9%	0.0%
全くしない	27.1%	24.5%	27.6%	29.1%	22.6%	35.2%	25.0%
未回答	4.7%	3.6%	6.8%	4.6%	1.2%	2.8%	25.0%
不明	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

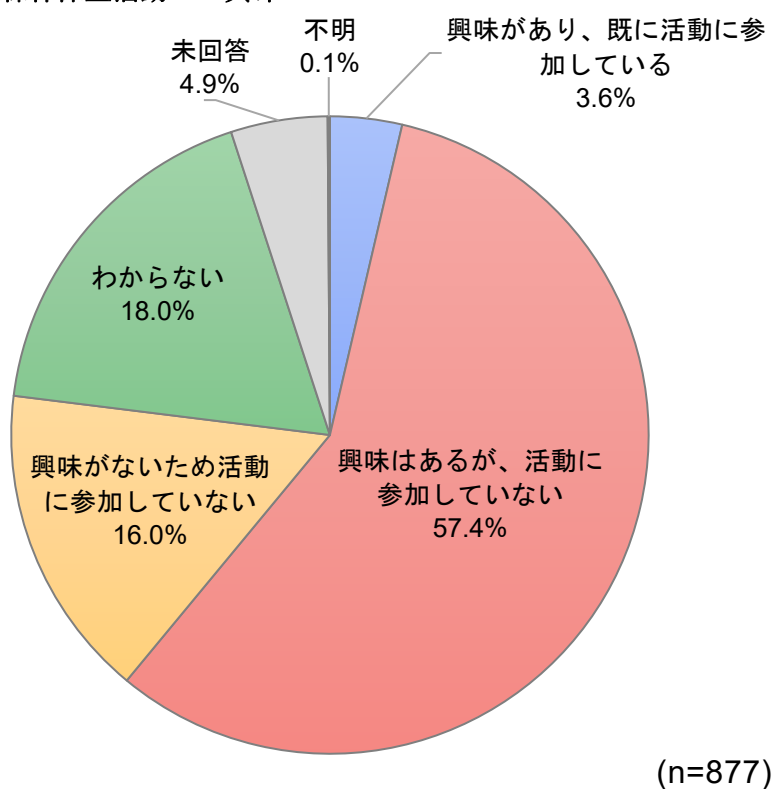
(10) 農林水産業について

問 11. あなたは、里山再生、森林保全といった活動に興味がありますか。(1つに○)

「興味があり、既に活動に参加している」と「興味があるが、活動に参加していない」を合わせた 61.0%が里山再生及び森林保全活動に興味があると答えた。

具体的には、「興味があるが、活動に参加していない」(57.4%) が最も高く、次いで「わからない」(18.0%)、「興味がないため活動に参加していない」(16.0%)、「未回答」(4.9%)、「興味があり、既に活動に参加している」(3.6%) の順となった。

図表 102 里山再生及び森林保全活動への興味



年代別では、「興味がないため活動に参加していない」は18～29歳（28.0%）及び30代（28.2%）で高く、70代以上（8.1%）で低かった。「未回答」は70代以上（9.7%）で高く、40代（0.9%）及び50代（1.3%）で低かった。

居住地区別では、「興味があり、既に活動に参加している」は堀金地区（8.3%）及び明科地区（8.5%）で高かった。

図表 103 【年代別】里山再生及び森林保活動への興味

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
興味があり、既に活動に参加している	3.6%	2.0%	4.7%	2.6%	2.5%	3.2%	4.9%	0.0%
興味はあるが、活動に参加していない	57.4%	48.0%	49.4%	55.6%	59.9%	60.1%	59.2%	0.0%
興味がないため活動に参加していない	16.0%	28.0%	28.2%	21.4%	15.9%	16.5%	8.1%	100.0%
わからない	18.0%	22.0%	16.5%	19.7%	20.4%	13.9%	18.1%	0.0%
未回答	4.9%	0.0%	1.2%	0.9%	1.3%	5.7%	9.7%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%

図表 104 【居住地区別】里山再生及び森林保活動への興味

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
興味があり、既に活動に参加している	3.6%	2.4%	3.1%	2.3%	8.3%	8.5%	0.0%
興味はあるが、活動に参加していない	57.4%	59.0%	60.9%	54.9%	47.6%	56.3%	25.0%
興味がないため活動に参加していない	16.0%	14.9%	14.6%	17.1%	20.2%	16.9%	25.0%
わからない	18.0%	19.3%	16.3%	19.4%	21.4%	12.7%	25.0%
未回答	4.9%	4.4%	4.8%	6.3%	2.4%	5.6%	25.0%
不明	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 12. 市では、平成 27 年度に「里山再生計画」を策定し、その計画に関連し里山再生を行う取り組みを「さとぷろ。」と位置づけ、里山が抱える課題の解決について様々な取り組みを行っています。あなたは「さとぷろ。」を知っていますか。(1つに○)

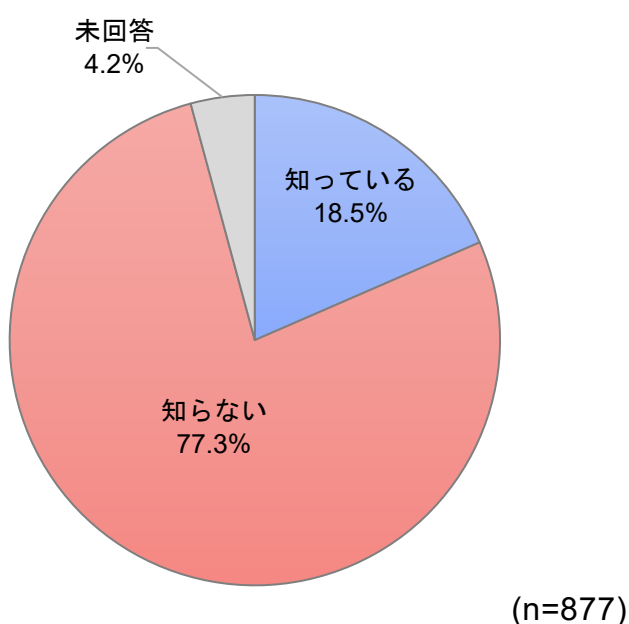
「知らない」(77.3%) 及び「知っている」(18.5%) となった。「さとぷろ。」認知度は 2 割を切っていた。

年代別では、「知らない」は 18～29 歳 (92.0%) で高かった。

居住地区別では、「知っている」は穂高地区 (24.8%) で高く、豊科地区 (12.0%) で低かった。

「知らない」は豊科地区 (83.5%) で高く、穂高地区 (71.4%) で低かった。

図表 105 「さとぷろ。」の認知度



図表 106 【年代別】「さとぷろ。」の認知度

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
知っている	18.5%	8.0%	21.2%	17.1%	18.5%	23.4%	17.2%	100.0%
知らない	77.3%	92.0%	77.6%	82.9%	80.3%	70.9%	74.8%	0.0%
未回答	4.2%	0.0%	1.2%	0.0%	1.3%	5.7%	8.1%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 107 【居住地区別】「さとぷろ。」の認知度

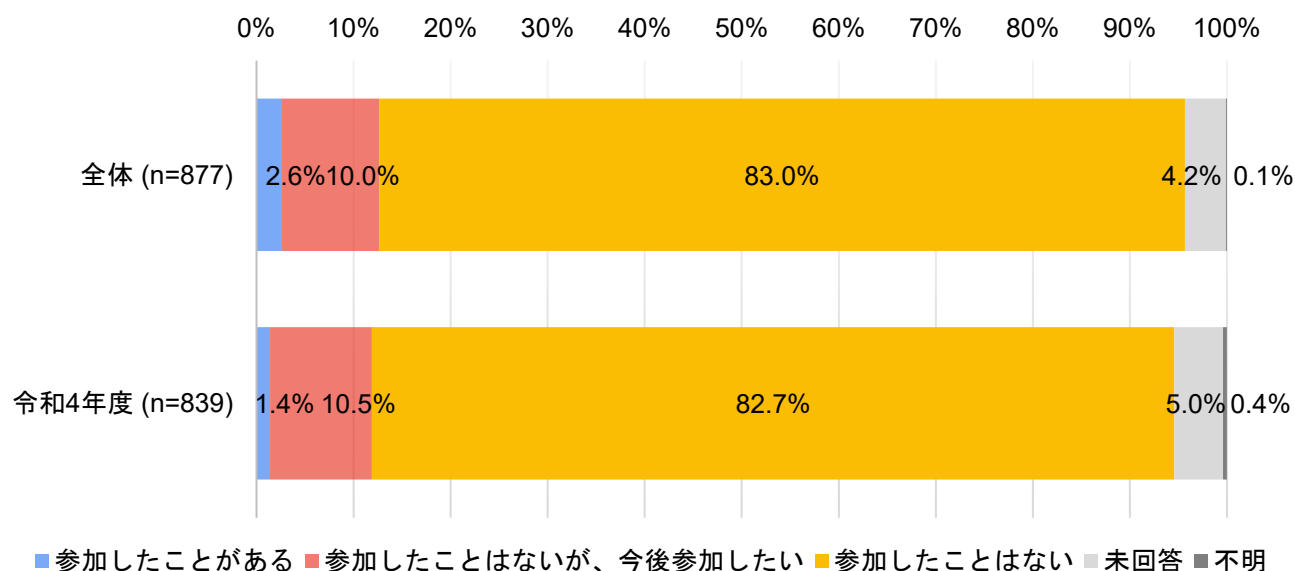
	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
知っている	18.5%	12.0%	24.8%	17.1%	14.3%	22.5%	25.0%
知らない	77.3%	83.5%	71.4%	78.3%	83.3%	71.8%	50.0%
未回答	4.2%	4.4%	3.7%	4.6%	2.4%	5.6%	25.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 13. あなたは「さとぶろ。」の活動に参加したことはありますか。（1つに○）

「参加したことはない」（83.0%）が最も高く、次いで「参加したことはないが、今後参加したい」（10.0%）の順となった。

居住地区別では、「参加したことはないが、今後参加したい」は明科地区（2.8%）で低かった。

図表 108 「さとぶろ。」活動への参加状況



図表 109 【年代別】「さとぶろ。」活動への参加状況

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
参加したことがある	2.6%	0.0%	4.7%	2.6%	2.5%	1.9%	2.9%	0.0%
参加したことはないが、今後参加したい	10.0%	8.0%	14.1%	12.0%	9.6%	13.3%	7.1%	0.0%
参加したことはない	83.0%	92.0%	80.0%	85.5%	86.6%	79.7%	81.2%	100.0%
未回答	4.2%	0.0%	1.2%	0.0%	1.3%	4.4%	8.7%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%

図表 110 【居住地区別】「さとぶろ。」活動への参加状況

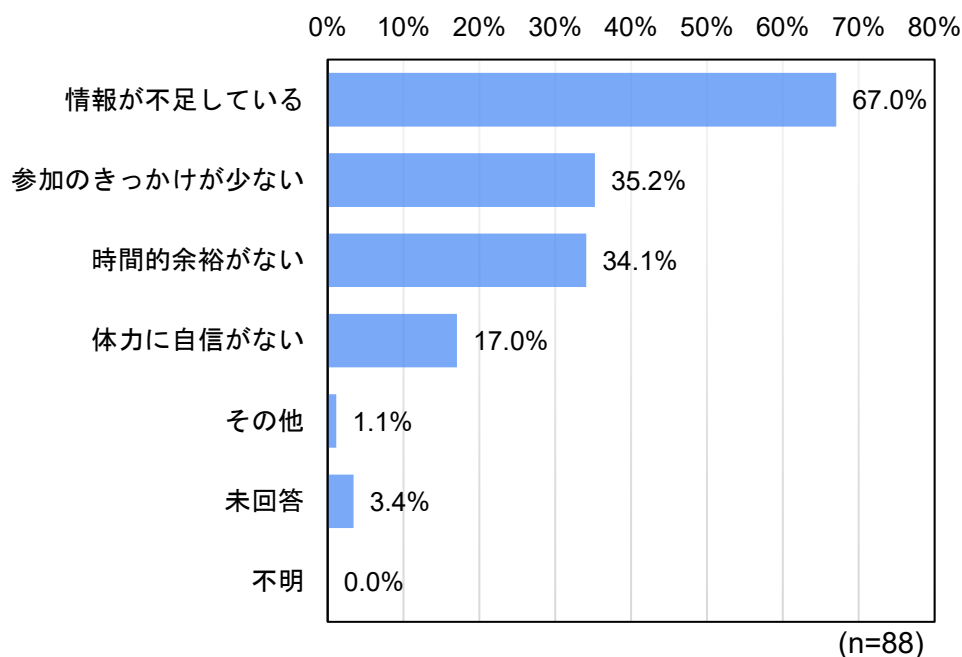
	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
参加したことがある	2.6%	1.2%	2.7%	4.0%	1.2%	5.6%	0.0%
参加したことはないが、今後参加したい	10.0%	9.2%	10.9%	12.6%	10.7%	2.8%	0.0%
参加したことはない	83.0%	84.3%	83.3%	78.3%	85.7%	85.9%	75.0%
未回答	4.2%	5.2%	3.1%	4.6%	2.4%	5.6%	25.0%
不明	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%

問 13 で「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した方のみご回答ください。
 (1) 参加していなかった理由はなんですか。(〇はいくつでも)

「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した方に聞いたところ、「情報が不足している」(67.0%) が最も高く、次いで「参加のきっかけが少ない」(35.2%)、「時間的余裕がない」(34.1%) の順となった。

図表 111

参加していなかった理由



図表 112 【年代別】参加していなかった理由

	全体 (n=88)	18～29歳 (n=4)	30代 (n=12)	40代 (n=14)	50代 (n=15)	60代 (n=21)	70代以上 (n=22)	未回答 (n=0)
情報が不足している	67.0%	100.0%	66.7%	57.1%	53.3%	71.4%	72.7%	0.0%
参加のきっかけが少ない	35.2%	0.0%	25.0%	35.7%	46.7%	33.3%	40.9%	0.0%
時間的余裕がない	34.1%	0.0%	50.0%	50.0%	60.0%	14.3%	22.7%	0.0%
体力に自信がない	17.0%	0.0%	16.7%	7.1%	6.7%	19.0%	31.8%	0.0%
その他	1.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	9.1%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

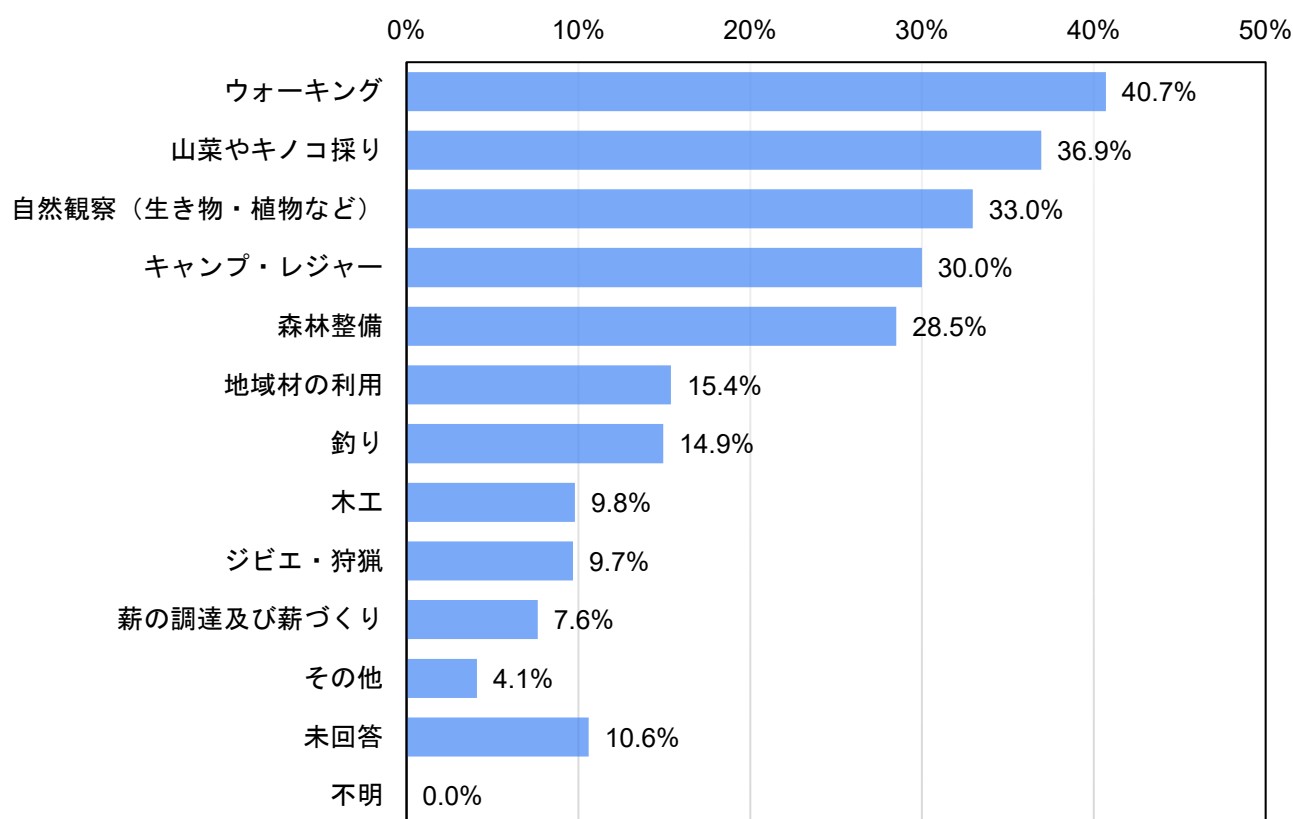
図表 113 【居住地区別】参加していなかった理由

	全体 (n=88)	豊科 (n=23)	穂高 (n=32)	三郷 (n=22)	堀金 (n=9)	明科 (n=2)	未回答 (n=0)
情報が不足している	67.0%	65.2%	68.8%	72.7%	44.4%	100.0%	0.0%
参加のきっかけが少ない	35.2%	34.8%	37.5%	40.9%	22.2%	0.0%	0.0%
時間的余裕がない	34.1%	34.8%	34.4%	36.4%	33.3%	0.0%	0.0%
体力に自信がない	17.0%	8.7%	21.9%	18.2%	22.2%	0.0%	0.0%
その他	1.1%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	3.4%	4.3%	3.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 14. あなたが、身近な山林での活動において興味があるものは何ですか。(〇はいくつでも)

「ウォーキング」(40.7%)が最も高く、次いで「山菜やキノコ採り」(36.9%)、「自然観察」(33.0%)、「キャンプ・レジャー」(30.0%)、「森林整備」(28.5%)の順となった。

図表 114 興味がある身近な山林活動



(n=877)

年代別では、「ウォーキング」は50代（54.1%）で高かった。「キャンプ・レジャー」は18～29歳（52.0%）30代（50.6%）、40代（47.0%）及び50代（40.8%）で高く、70代以上（10.0%）で低かった。「森林整備」は18～29歳（12.0%）で低かった。「地域材の利用」は60代（22.8%）で高く、70代以上（9.4%）で低かった。「釣り」は18～29歳（34.0%）及び30代（28.2%）で高く、60代（7.6%）及び70代以上（8.7%）で低かった。「木工」は30代（18.8%）で高く、70代以上（4.5%）で低かった。「ジビエ・狩猟」は18～29歳（28.0%）及び30代（23.5%）で高く、60代（4.4%）及び70代以上（2.6%）で低かった。「薪の調達及び薪づくり」は30代（14.1%）で高く、70代以上（3.6%）で低かった。

図表 115 【年代別】興味がある身近な山林活動

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
ウォーキング	40.7%	28.0%	40.0%	43.6%	54.1%	41.1%	35.0%	0.0%
山菜やキノコ採り	36.9%	38.0%	38.8%	31.6%	38.2%	31.6%	40.5%	0.0%
自然観察（生き物・植物など）	33.0%	34.0%	40.0%	35.9%	31.2%	34.8%	29.8%	0.0%
キャンプ・レジャー	30.0%	52.0%	50.6%	47.0%	40.8%	27.2%	10.0%	100.0%
森林整備	28.5%	12.0%	27.1%	30.8%	29.9%	27.8%	30.4%	0.0%
地域材の利用	15.4%	10.0%	22.4%	20.5%	14.0%	22.8%	9.4%	0.0%
釣り	14.9%	34.0%	28.2%	17.9%	19.1%	7.6%	8.7%	0.0%
木工	9.8%	10.0%	18.8%	13.7%	12.1%	10.1%	4.5%	0.0%
ジビエ・狩猟	9.7%	28.0%	23.5%	13.7%	12.7%	4.4%	2.6%	0.0%
薪の調達及び薪づくり	7.6%	2.0%	14.1%	9.4%	12.1%	8.2%	3.6%	0.0%
その他	4.1%	8.0%	3.5%	0.9%	3.2%	3.8%	5.5%	0.0%
未回答	10.6%	2.0%	3.5%	6.0%	3.8%	13.3%	17.8%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 116 【居住地区別】興味がある身近な山林活動

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
ウォーキング	40.7%	42.6%	40.8%	40.0%	39.3%	38.0%	25.0%
山菜やキノコ採り	36.9%	39.4%	37.4%	37.7%	34.5%	28.2%	25.0%
自然観察（生き物・植物など）	33.0%	32.9%	34.0%	34.9%	25.0%	33.8%	25.0%
キャンプ・レジャー	30.0%	36.1%	28.2%	30.9%	20.2%	25.4%	25.0%
森林整備	28.5%	24.9%	32.7%	25.1%	23.8%	38.0%	25.0%
地域材の利用	15.4%	14.9%	16.3%	17.7%	14.3%	9.9%	0.0%
釣り	14.9%	16.9%	13.9%	15.4%	16.7%	9.9%	0.0%
木工	9.8%	10.8%	10.9%	10.3%	8.3%	2.8%	0.0%
ジビエ・狩猟	9.7%	10.0%	10.2%	12.0%	7.1%	4.2%	0.0%
薪の調達及び薪づくり	7.6%	7.2%	9.5%	6.9%	8.3%	2.8%	0.0%
その他	4.1%	3.2%	5.8%	3.4%	6.0%	0.0%	0.0%
未回答	10.6%	10.4%	10.2%	9.7%	11.9%	12.7%	25.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(13) 地域ブランドについて

問 15. 小説『安曇野』を知っていますか。(1つに○)

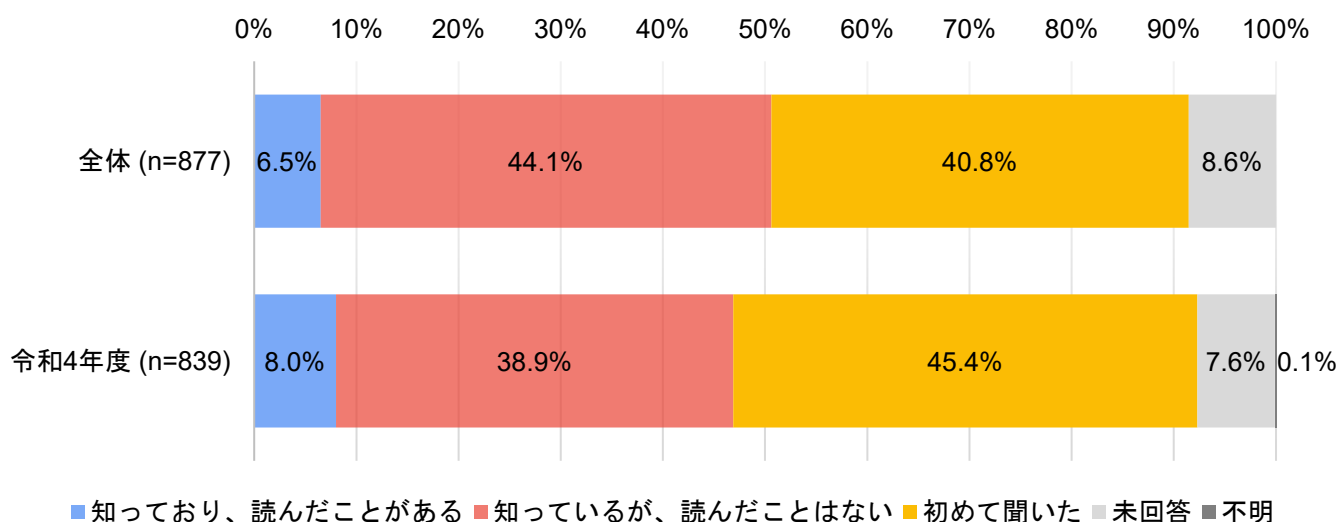
※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で1974年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の臼井吉見氏です。

「知っているが、読んだことはない」(44.1%) が最も高く、次いで「初めて聞いた」(40.8%)、「知っており、読んだことがある」(6.5%) の順となった。

年代別では、「知っているが、読んだことはない」は、60代(57.0%)及び70代以上(52.4%)が高く、18～29歳(18.0%)及び30代(28.2%)が低かった。「初めて聞いた」は、18～29歳(78.0%)、30代(67.1%)、40代(60.7%)及び50代(54.8%)が高く、60代(29.7%)及び70代以上(18.8%)が低かった。

居住地区別では、堀金地区において、「知っており、読んだことがある」(11.9%)が高く、「初めて聞いた」(27.4%)が低かった。

図表 117 小説『安曇野』の認知度



図表 118 【年代別】小説『安曇野』の認知度

	全体 (n=877)	18～29歳 (n=50)	30代 (n=85)	40代 (n=117)	50代 (n=157)	60代 (n=158)	70代以上 (n=309)	未回答 (n=1)
知っており、読んだことがある	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	6.3%	13.3%	0.0%
知っているが、読んだことはない	44.1%	18.0%	28.2%	36.8%	36.9%	57.0%	52.4%	100.0%
初めて聞いた	40.8%	78.0%	67.1%	60.7%	54.8%	29.7%	18.8%	0.0%
未回答	8.6%	4.0%	4.7%	2.6%	4.5%	7.0%	15.5%	0.0%

図表 119 【居住地区別】小説『安曇野』の認知度

	全体 (n=877)	豊科 (n=249)	穂高 (n=294)	三郷 (n=175)	堀金 (n=84)	明科 (n=71)	未回答 (n=4)
知っており、読んだことがある	6.5%	4.8%	8.5%	3.4%	11.9%	5.6%	0.0%
知っているが、読んだことはない	44.1%	43.4%	41.8%	40.0%	56.0%	52.1%	50.0%
初めて聞いた	40.8%	44.2%	39.1%	48.0%	27.4%	36.6%	0.0%
未回答	8.6%	7.6%	10.5%	8.6%	4.8%	5.6%	50.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他

問 16. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください。（自由記載）

【生活環境】

〈自然環境〉

- 自然環境と調和した快適な住環境の整備について。整備は十分でないと思っています。
- 水が昔よりすごくまずいです。水の町なのに。
- 近所に薪ストーブ設置の家が増え、窓を閉めていても煙の臭いが家の中でしたり、外壁が黒くなった。フィルターを付けられないのか。薪は、森林整備で生じた薪にするしかない材を使う認識が、薪ストーブ使用者に必要。
- 緑豊かな町であってほしい。豊科大天井岳線の街路樹の植え直し（景観整備）。

〈公共施設〉

- 生涯学習センターを利用させていただいています。書道、大正琴等々集まれる場所として近くにあると助かります。でも老朽化した建物、文化財となっているのに市からの補助は受けられないと聞きました、残念です。先生達の間だけでは難しいと思うので、よろしくお願いします。
- 運転免許返納後や、車が無い人の生活（買い物、通院、レジャーなど）をしっかりと支える事業、公共交通の充実。
- 松本市波田の文化センターの取り組みがなかなかユニークで楽しいです。
- 観光資源である北アルプス山域におけるトイレなどの整備が必要。
- 松本市、塩尻市と比較してしまうと、駅の施設（周りも含め）が劣り残念です。
- 豊科南部公園の遊具の近くに駐車場が欲しい。
- 児童館のおもちゃ、もう少し衛生的に管理してほしい。
- 土日未満児が安心して遊べる屋内施設が欲しい。
- 冬季の公園でもトイレが使えるようにしてほしい。
- 総合体育館など、箱物はいらぬ。維持費の無駄。
- 市民会館を建ててほしい。大きなイベント、大勢収容できる市民会館が欲しい。
- 包括支援センターが1階、介護保険課が3階にある。高齢になると歩行困難者が多くなる。3階の介護保険課の窓口を1階入口の包括支援センターと同一にするか、せめて1階にすることはできないでしょうか。
- 今更だがもっとまじな体育館を造ってほしかった。今からでも入り口に屋根はつけられないのか。
- シャクナゲの湯の備品ですが、過去は無料ドライヤーが設置されておりましたが、近年では100円で有料化されております。入浴料金値上げしているにもかかわらず有料ドライヤーはいかぬものか。扇風機で乾かしていた。

【医療・福祉・人権】

〈医療体制〉

- 市のがん検診のチケットが届きません。
- 動物病院を増やしてほしい。（日曜日も受診できるところ）
- メディアで带状疱疹ワクチンの予防接種を知りました。松本市では、ワクチン接種の補助金があります。安曇野市でも補助金があればと思います。医療費が家計を圧迫するのが、これから

の心配事です。

- 病児保育、病児後保育の環境を、もう少し充実させてほしい。
- 犬を飼っていますが、動物病院も新たに誘致してもらいたい。診察がとても大変です。

〈障がい者福祉〉

- 「障がい者が安心して生活していける地域」かどうか疑問、差別があり。

〈高齢者福祉〉

- 介護保険の算出基準に納得できない。市民税は所得金額で出しているのに、なぜ介護保険は110万円引かないで計算しているのか。年金しか収入がないのに一年で89320円も介護保険に取られているのは（しかも1度も利用していないので）納得できない。
- 介護士の給料引き上げ。
- 私は70歳になった時、健康保険が2割になったのですが75歳になったらまた、3割になりました。年齢で変わると思っていたので、とても不公平に思います。医者にかかるのも大変になります。
- 高齢化が進み、買い物など、車を返納した時が心配。タクシーの台数も少なく、移動手段の充実を希望します。
- 高齢者に優しい街づくりにも力を入れてください。
- 高齢者の移動手段をもっと充実してほしいです。（運転免許証を返納した後の生活が不安です。）
- 高齢者には手厚いサポートがあると感謝しております。
- 高齢者の足の確保をお願いしたい。
- 子育て支援は手厚いが、我が家は縁のないこと。両親の介護保険料が上がってしまい、家計に響きます。特定疾患受給者証を持っていますが、障がい者手帳を持っていないため、障がい者雇用枠に入らないので、健康な人と同等に勤務するのはしんどいです。
- 住民の高齢化対策
- 高齢者で涙している人がいることを知ってほしい。
- 福祉関係、介護度についても平等でないと感じます。必要な時に対応が受けられないことがあります。
- 保健師の人数を多くして、地区の食事、学習を望む。
- 高齢者対策

〈生活困窮者支援〉

- 一人暮らしの低所得者にも住みやすい市にしてほしい。
- 低所得者への支援金は少ない金でいいから一律に考えてください。該当者よりつらい困窮者がいらっしやいます。

〈多様性の尊重〉

- 同性パートナーシップ制度導入。

〈その他〉

- 母子家庭への取り組みが何もない。不満。女性に優しい地域とは言えない。
- あまりいい人間が住んでいる町とは思えない。心の狭い人間が多く閉鎖的な町だと思う。山に囲まれているとそんなものかと思う。
- 私は離婚をして豊科に来ました。周りの人が助けてくれて、子どもを育てて、生活ができてきました。離婚時、夫に借金をさせられていて、仕事をして借金を返しながらの生活でしたが、

行政から助けられたのは児童手当のみでした。市営住宅にやっと入れて生き延びて来ましたが、入るのにもかなり時間がかかり大変でした。この先老後も気になります。相談できる方がいればと思いました。

【子育て支援】

〈出産・子育て〉

- 子育てに対してもっと、協力的であってほしい、保護者の負担が大きすぎるが大変。
- 子ども、幼児が遊べる遊園地。他県にあるような、お金を払ってでも楽しい所。
- 子育てのしやすさを充実させる。
- ファミサボも知らない人だと怖いし、子どもを安心して預けられる整備にしてほしい。
- 妊娠中、出産後に使える家事代行サービスなどがあればうれしい。それを利用できる補助券などもあれば有り難い。(他自治体でそのようなサービスが増えているため)
- 子育てしやすい地域となるよう送迎の支援(習いごとや中・高生の通学)をご検討いただきたいです。
- 子育てしやすい地域となるよう市民プールの復活をご検討いただきたいです。
- 子育て支援とか、かけ声はあるが支援金くらいで保育園などの送迎バスも無く、そのための車を購入したり、駐車場代の出費が生活費を圧迫し、新たに借金をする状況が何軒も聞く状況にある。格差があり困る家庭も増えてきた。対策を願いたい。
- 市の〇〇は最低。執拗に連絡、質問してきてかなり精神的に追い詰められました。後任の方は、ずっとタメ口です。まともな大人はいないのでしょうか。他の妊婦さんが嫌な思いをしませんように。
- 幼稚園児～小学生低学年くらいの子どもの室内で遊べる場所や遊具が歩いて行かれる所に何か所も欲しいと思います。雨の時遊ぶ所が少ないです。
- 子どもたちが、暮らしやすい町・市にしてほしい。物価も高く、子どもたちにかかる費用も、大きく成長するにつれて、どんどん増えています。生活するだけで、精一杯。預金なんてできません。無料で遊べる施設や、子ども手当の充実を切に願います。
- 子どもたち、障がいのある子が安心して暮らせる町に。福祉サービスの充実、送迎サービス、預かり。(放デイなど)
- 子育て、福祉に関する対応をこれからもお願いします。
- 子育ての支援が充実してない。
- 少子化対策と言っているのに、3人4人産んでも、物価は上がるばかりで、働いても、働いても、税金取られて、取られて、取られているのに、なぜ非課税の人ばかり、お金がもらえるのか。国会で決まったからなのか。それなら、産まない方がいい。本当に生活が苦しいのは、非課税の人も納税者も一緒なのに。
- 子育てしやすいかと聞かれたら、保育園入るのも大変だし、学校行けば古いトイレで、はつきり言って、子育てしにくいとしか言えない。
- 雨の日でも子どもが屋外で遊べる施設を増やしてほしい。
- 少子化対策
- 子育てにかかる金額が他市に比べて高いのでなんとかしてください。
- 子育て世帯に対する支援を充実させてほしい。

【スポーツ】

〈スポーツ環境〉

- 運動場がいくつもあるが、そんなに必要だったのだろうか。もっと、活用、スポーツチームへの働きかけ（国内外）。せっかく無いお金をかけたのにもったいない。
- スポーツ環境の充実。特に自然豊かな安曇野の特色を生かしたスポーツ。各種大会が可能な施設。（武道、陸上競技など）
- 陸上競技場のような、400mトラックを作ってほしい。
- 南部総合公園マレット駐車場の件についてのお願い。駐車場がない、アリーナもいっぱい。道路に駐車をするといった状況です。ぜひマレットの練習をする住民のためにも駐車場の確保をお願いしたいと思います。（要望）

〈アウトドア環境〉

- かじかの里公園キャンプ場を予約制にしてください。（料金高くなってもいいので）
- アウトドア施設の整備拡充
- 恵まれた自然環境なので、もっと山登りや戸外活動での参加イベントを増やしてほしい。
- 自然環境が売りなら、キャンプ場を増やすとか、工夫すれば良いのに。
- フリーマーケットを定期的で開催してほしいです。
- アウトドア施設整備をお願い。

【教育・学習】

〈学校教育の充実〉

- 松本市や、池田町は、子ども（小学生）もタブレットを持ち帰り、宿題の日記や、勉強を取り入れているが、安曇野市では、タブレットの持ち帰りや勉強の宿題を1日もしたことがなく、不満だ。
- 教育に、もっともっと力を入れるべきではないか。
- 教育について。個人に合う教育と言われていますが、それも大事かもしれませんが、まずは、先生一人一人が余裕を持てるよう、仕事を分担したり教員を増やしたり、先生の職場環境を良くしてほしい。大人に気持ちの余裕がなければ良い教育は生まれません。先生は子どもに向き合い、雑務は雑務係がいれば良いのに。テストの採点、事務作業は外注で。
- 行政の力弱すぎ、良い先生は他市町にとられている。
- 市内の公立高校の整備。

〈その他〉

- 保育無償化（未満児）や、給食での主食が出ると良い（以上児）。
- 子どもを認定こども園へ通わせているが、先生の質に差を感じる。先生への教育をしっかりとやってほしい。また、未満児も通わせているが、あまり登園してほしくないのかな、と感じられる言動が多い。確かに未満児は親のそばにいた方がいいかもしれませんが、保育料も払っているし、こちらも都合があるのに、と思ってしまいます。未満児はまだ話もしっかり伝えられないし、通わせている親も不安な部分もあり、もっと子が親に寄り添った保育をしてほしい。
- 小学生が室内で自由に遊べる施設が欲しい。児童館は児童クラブ、幼児のためだけに感じる。
- 小さい頃から自然の中で育つことはとても大事だと思います。考える力や感性豊かな人間に育ててほしい。そのためには私たち大人も自然についての勉強が必要と考えます。
- 小・中学校の老朽化とはいえ、いまだにトイレが和式とかありえない。早く洋式にしてほしい

と要望を出しても、順番だからと返ってきた。いったい、いつになったら工事してもらえるのか。あと10年？20年？なぜ、はっきり、何年後とか教えてもらえないのか。市に問い合わせたら、教えてくれるのですか。特に1年生は困っている。男の子のトイレも壊れていて、使えないのがあるから並んでいるらしい。女の子は、洋式1個だけに、列を作っているらしい。

- 教育や文化事業にもう少し力を入れても良いのではないのでしょうか。

【地域の伝統】

〈伝統・文化〉

- 三九郎が場所がなくてできなくなった地域がある。隣の地区に参加させてもらうとかできないものかと思った。
- うちの子どもたちは穂高北小で天蚕を育て、きれいな緑のままでコサージュを作ってくれました。大事にとってあります。

【文化・芸術】

〈文化・芸術〉

- 安曇野市に日展が開催されました。10万に未だない都市での開催は、極めてまれ。高橋節郎、荻原碌山と名だたる美術館があった文化都市だからと、何かで知りました。安曇野は、すばらしいところと誇りに思います。
- 市は新市立博物館を造り、各種の文化施設の集約を計画しているが集約には反対である。各施設が歴史的に成立したそれぞれの地区に分散して個別に活動してこそ充実した文化、芸術活動が行われ、各地区の盛り上がりにつながってゆく。こうした各地区の施設の活動こそを支援すべきと考える。

【防災・防犯】

〈防災対策〉

- 防災用品を一式、揃えた後に、人から言われ、「防災用品購入補助金」があることを初めて知りました。返品も封を開けた後で手遅れ。泣く泣く諦めました。このような補助金に関する情報（お得情報）をもっと大々的に発信してほしい。災害に備える意識も高まると思います。（災害用品、揃えると結構高い。）
- 犀川の増水に対する防災対策
- 築堤など防水対策も提案をお願いしたい。
- 防災対策の取り組み・充実
- 災害があったとき避難場所にペットも一緒に連れて行けるようにしてほしい。
- 災害時の対策の充実。ネット弱者が取り残されない対策を。
- 駅から帰るのに街灯が少ない。

〈防犯対策〉

- 夜の警察のパトロールをお願いしたい。

〈交通安全〉

- 通学・通勤に徒歩で利用するのに歩道がない。狭い。また、夜街灯がなく歩きづらい。
- 幹線道路の横断歩道に街灯がほとんど無いので夜間の車の走行時歩行者に気づかない。もっと多く明るい信号のない交差点にしないと事故につながる。
- 三郷明盛、中萱付近に住んでいますが街灯が少ない。夜はまっ暗すぎて、子どもが成長し、電車を使用するようになった時など自転車も不安ですし、自分が運転する時もペットのお散歩、

自転車乗っている人も見えづらくて恐いです。暗すぎるエリアに街灯を。

- 通学路の雪かき
- 高齢者の自動車の運転が大変危険だと思います。「危ないな」と思う時は、たいてい運転手は高齢者です。
- センターラインの無い道路で“右寄り”を走る。右折時、直進車や左折車がいるにもかかわらず右折してくる。50キロ制限の道路で30キロも出せていない。(そんな運転しかできないなら乗るな。)
- ここ半年ほどで危ないと感じたことがたくさんあり、子どもには「道路のはじを歩いていてもおじいちゃんやおばあちゃんの車が突っ込んでくるから気を付けなさい」と教えています。免許更新時だけでなく、高齢者への指導や免許返納を促す活動が必要だと思います。
- 小学生の通学路の除雪が全然されない。
- 通学経路の歩道整備が不十分。用水路が危険。
- 通学路の歩道が少ない。
- 高齢者の運転する自動車事故が多くなっていますが、地域的に高齢になっても運転せざるを得ない環境であると思います。自分も高齢者の仲間ですが、高齢者が運転しなくてもよい生活環境を目指していただきたい。

【都市基盤】

〈道路など整備〉

- 幅広く歩道を作って舗装までされていますが、割れ目から草が出ていても除去されず、広く取った歩道が狭くなっています。草の除去ができないのなら、車も大きくなってきていますから車道を少し広くしてほしいです。出来ないですか。除去してくれますか。安曇野市のイメージが悪い。イメージダウンです。
- 安曇野市は昔からの農業用水(堰)の整備が充実しています。それらを利用して小水力発電を各地域で行ってはどうか。
- 道路整備をしてほしいです。右折帯がなく渋滞する事が多い。通学路に歩道がなく小学生にとっては危険。
- 近年は積雪が少ないですが、地域によって除雪の開始が遅い所があり、通行に苦勞する時があります。ご配慮いただければありがたいです。
- 自転車専用道路の整備やウォーキングコースの整備。
- 道路の舗装状況はもう少し良くならないものか、あまりにも段差が多い。
- 道路整備が他地方より遅れている。
- 雑草が多い。(市民との調整を図り清潔な環境の保持)
- 人の歩かない歩道が目立つ。
- 30年以上も前の計画が今も未執行。
- 道路の整備を早急にお願いしたい。
- 道路整備が不満。
- 穴が空いている箇所が多く整備がされていない。
- 除雪がされない。
- 山麓線沿いの道路整備がなかなか進まないのが不安です。
- 山麓線 安曇野市の歩道の整備。(穂高温泉郷周辺は観光客も多く交通量も多く危険)

- 全体的に道がぼこぼこしています。きれいにしてください。
- 歩道も無い所がありますので通学などで使用するのその辺を対応していただきたいです。
- 地域網についても東西道路の改善を進める必要あり。
- 自転車道の整備にも力を入れてほしい。
- 生活道路の整備（舗装、除雪）、拡張
- 市所有の赤線道路の管理（除草、舗装化）
- 都市基盤がなっていない。まずは、安全な道を。柏矢町駅南踏切道。通行量にあっていない。
- 先日、雪が降りましたが、年々、除雪が適当になってしまっていると思います。今回も1回くらいしかできていないような感じで、1回もできていない道路もありました。何とか考えていただきたいです。
- どの市町村でもあると思うのですが、全員が道路や歩道は使います。舗装なども大切ですが、道路の草を適切な時期に刈る（除草）ようお願いしたいです。主要な道路ですから子どもの背丈まで伸びた草がたくさん。安全面でも観光面でもどうでしょうか。
- 市道の整備をしてほしい。狭いし危ない。
- 最近道路の白線が消えている所が多いので改善してほしいです。
- 柏矢町駅南側の踏切が狭いです。西側に住宅が多くなったこともあり（かつ見通しの悪いカーブもあることから）、いつか事故が起こるのではないかと思います。
- 安曇野市は国道を含め、ほぼ全域の道路が片側一車線ですが、大型連休になると、幹線道路が混み合い特に私が住んでいる地区、インター周辺は渋滞で大変です。交通量が多い道路を二車線に整備してほしい。さらに右折レーンの増設もしてほしい。
- 大雪が降った際に、除雪されていない道（市道、私道、県道）があり、運転しづらい。豊科管内西友近くの道路など。
- 冬期、凍結した道路を主要道路に出るまでの市道にも凍結防止剤をまいてほしい。橋の上にもまいてほしい。
- 松本と安曇野をつなぐ橋（道路）を増やして渋滞緩和してほしい。
- 大雪なのに道路（国道147）の除雪がなっていない。建設会社に委託してあるのに業社が除雪しない。しても一部だけ（毎回）歩道も除雪してないため子どもが靴の中に雪を入れながら歩いている。業者への指導が必要である。除雪の後の現状を見るべきだ。行政は、本当に。
- 渋滞がひどいのでなんとかしてほしいです。
- 渋滞対策として、主要交差点の右折レーン整備をお願い。R147 豊科駅交差点等。
- 大糸線の利用増加と長野市への通勤アクセスが不便です。

〈計画的な土地利用〉

- 分譲住宅開発の許可を出す前に、袋小路にならないよう指導できないか。もうこれ以上の宅地開発は望まない。
- 製造業を蔑ろにしすぎ。工場跡地を分譲せず製造業を誘致してほしい。
- 公園開発、居住地近くの公園はうれしくありません。ゴミ、夜間の騒音（声）、BBQなどの煙（くさい）。今でも問題がたくさんあります。考えていってほしいです。開発はいいけれど、店や銀行が無くなり不便になりました。今後に期待します。住民に優しい街になりますように。
- 各駅に駐車場を整備してほしい。
- 最近、田んぼのあとに建物が建ってきたり、田んぼの数が減ってきているのが少し心配です。

- 豊科駅に裏口があれば便利だと思いました。
- そろそろ安曇野市の中心地を決めて市街地再開発すべき。もし豊科であれば国道沿い市役所回りはこれを行い利用したい。できる施設をまとめるべきではないかと思います。

〈景観保全〉

- 水の安曇野について。拾ヶ堰のゴミの山。水路際の雑草また水路内のゴミの山。水の保全に市民との調整を図り水質の保全を。
- 道路や川などへのゴミ（ポイ捨て）がとても気になる。特に川にゴミが多くて嫌になる。
- あちこちで（西山）木の伐採が行われているようですが災害に影響はないのでしょうか。
- 万水川の堤防整備がされないため草木が繁殖し歩けない所がある。都会からの絵画教室のグループが写生に来て、汚くてもう来ないと言って、他の場所（大町方面）に変えたと言っていた。
- 山々と田んぼ、道祖神のある風景は残して欲しい。
- 自然の美しさが魅力的で移住しましたが、最近雑木林が余すところなく伐採された区画に住宅が新築されたり、更地になっているのを見かけることが増えました。せっかく安曇野にいながら、全国どこにでもあるニュータウンの景色と変わらない印象です。せめてある程度の景観を残すようにしないと安曇野の魅力は消えてしまいます。観光客や移住者も少しずつ気づき始めているようです。
- 安曇野らしい景観を保つための規制も必要。
- 豊かな自然を守り残して欲しい。自然が豊かなら、虫や動物もたくさんいて観察はとても楽しい。人間の都合で、薬を使って虫や草を殺すことを少なくし、共存したい。農業をする方にとっては難しいこととは思いますが。夏の緑がきれいな時期に、田んぼのあぜ道など除草剤で茶色になるのが残念です。ここは本当にきれいな田園風景、山々もすばらしく、のびのびした景色が大好きです。
- 近くでは水路がコンクリートで整備され、トノサマガエルが住めなくなりました。虫や生き物たちが人間と上手に共存し、田園風景、川、山があるのどかな安曇野を子孫に残していきたいです。
- 水の綺麗な街をうたっているが、平気で生活ゴミ（生ゴミ、食品包装ビニール他）を川に捨てている。非常に迷惑している。

〈公園、緑地、その他の整備〉

- 完全個人の意見ですが「国営アルプス安曇野公園」は、国営なのに、あまり楽しめないように感じる。イルミネーションは好きです。夏も冬も毎回行っています。あと、長野県は自然が豊かだが、活用法がサイクリングコースなど全ての人は楽しめないように思う。
- 矢原堰をもっときれいになるようにしてほしい。
- 私の住んでいる所は上原地区ですが、墓地公園に近いです。富田橋から鳥川沿いに散歩コースがあったらいいなと思っています。ただ片側が川になりますので、工事などが大変かなと思います。高齢者社会になり歩く方が、多くなり、冬期は大変ですが、季節の良い時は最高だと思います。墓地に来られた方も散歩がてら。
- 公園に除草剤をまいて、枯れた草があわれにいつも思います。雑草という草はない。松本「城西公園」の草がゆれ、時々刈って風景がとても良いです。どうぞ見てください。
- 地区の用水路は常に水を多く流してほしい。用水路の水は重要だと思うので田畑の必要の時以外でも用水路は必要。

- 安曇野の美しい景観に配慮した電柱の埋設は喫緊の課題である。特に観光客が最初に目にするであろう安曇野インターチェンジ当りは優先順位を上げて着手していくべきと思われる。
- 公園にタバコがよく捨てられている。もっと大々的に看板などを設置して、罰則など大きく記載してほしい。
- 山麓線沿線や古厩交差点付近、有明の学者村など、車で走っていると森林が激減して生態系の破壊が進んでいることに気付きます。私の越してきた 30 年ほど前は、アオサギの飛び交う豊かな土地でした。水資源の保全や防災の観点からも、森林の伐採がこれ以上進まないよう規制していただきたいです。
- しゃくなげ荘近くの桜なぜ切ったのか。
- 動物と人間がどちらも安心して遊べるよう、公園に柵付きのドッグランなどがほしいです。
- 水や農産物はとても良いです。森林整備を活発にしてください。松くいにより山がみすぼらしいです。整備してもらい、老若男女問わず美しい自然と触れられる街でいてほしい。表面的な福祉ではなく抜本的改革を願います。

〈公共交通網〉

- 我家では 2 人家族で現在は、1 人 1 台の車で用事を済ませていますが、今後高齢となり、自分で運転できなくなった時のことを考えると、あまりにもあづみんは、使いにくいと思います。もっと簡単に乗れる交通手段ができるといいと思います。
- 新幹線利用で一番近い安曇野という明科だが、利用してみて感じたことは、長野からの利便が悪い。一時間かかるし、また駅からの利用する手段がない。近くにコインロッカーもない。中央線からの利用でも特急到着前に篠ノ井線が発車してしまう。
- 松本市のようにタウンスニーカーが欲しい。あづみんは使いにくい。
- 公共共通機・バス等の充実をしてほしいです。自転車と自動車の分離を望んでいます。特に山麓線の自転車は危険、歩行者でさえ危険です。公民館や病院、スーパー等を継ぐバス等があれば学ぶこと、出かけることが、高齢者も可能です。
- たつみ原に住んでいます。高齢者が外出する時に利用できる交通機関が使いづらいと思います。(予約方法、料金、情報収集の方法) ぜひ、ご検討をお願いいたします。
- 東京や長野市に行く時、明科駅を利用したいと思います。大きい駐車場が駅前にあると、観光客も含め利用数が増えると思います。
- 私は毎月松本の病院まで行っています。今は主人が車で送ってくれていますが、主人が送ってくれなくなれば明科駅まで 30 分以上かかります。とても歩いては行けません。何か方法がありますか。
- 今後運転免許返納者が増加します。交通手段に困ります。あづみん車の増加、運賃など考えてください。(運転車不足の問題もあるかと思いますが)
- 不安なために免許を返納しづらいと考えています。
- 公共交通は「存在している」とは言い難いくらいに貧弱。周辺市町村・県・JR と連携して大糸線・篠ノ井線の本数を増やしてほしい。あと明科駅・穂高駅間に毎時バスを運行すれば観光客の利便性が上がる。市民も新幹線を使いやすくなる。デマンド交通は使う気にならない。現状の「車は 1 人 1 台」という居住条件は、若者の定着には不利といえる。(貧乏が加速するので車のいない都会へ出る)
- 交通のバスが町になく自家用車が無ければどこへも行かない。

- 信大に行く市バスが松本市内にはあるのに、なぜ安曇野市にはないのか不思議に思った。
- 明科駅について、朝夕だけでなく昼間も「しなの」の停車本数を増やして交通網としての東の玄関口の価値を高め、かつ市内交通網確立へつなげてほしい。(バス・タクシー・レンタサイクルなど)
- 光城山への道を早く開通してください。(冬期の止めと重なっていたら申し訳ありません)
- 現在の「あづみん」は、使い勝手が悪く、時間の予測がつきません。
- 先年「乗合いバス」の運行のお願いが有志市民より出されましたが、予算がないとのことで却下されて、そのままになっています。ボランティアで送迎して、事故も起きています。
- 定期バスがダメであれば、「あづみん」をもっと使いやすく(DXを利用した)高齢者にも、一般市民にも住みよい街になるようお願いします。
- 安曇野市の市中心は生活しやすいが、市境の方へ行くと生活しにくい。車の無い高齢者などは、生活が不便だと思う。バスなどを増やした方が良いと思う。
- 公共交通をもっと充実させてほしい。
- 公共交通機関(バス)の充実を求めています。大糸線の駅から自宅付近に向うバスがあれば便利である。
- 右折信号の充実。1台の右折車で渋滞が起こり、道が混んでいる。
- あづみんで隣の大型店、病院へ直接行くことができればうれしいです。
- 安曇野市は公共移動手段が他地域より不十分である(公共バスなど)。早急に対応をお願いします。
- 公共公通があづみんしかなく、不便で転居せざるを得なかったシニア世代の家庭が複数あったと聞いた(2年前)。本当にあづみんだけで日常生活ができるのかどうか、調査・改善の余地があるのでは。
- 電車の遅れが多すぎます。
- 公共交通の充実、(市バス)を望みます。
- 高齢者増加、核家族が進む車社会で交通難民増加は確実とされ、経済・健康・事故などに直結する交通機関に関する事項は早急な課題と考えます。市の援助、運営で、いくつかの地域に分けた循環定期小型バスなど高齢利用者の立場を優先した運航の検討をお願いしたいと存じます。
- 高齢になり自家用車が使えなくなると非常に不便な地域です。予約のいらない安価な路線バスの交通手段を整備していただきたいです。
- 小学校で通学路4km以上がバスの該当になるということですが、バスの利用を見ても、4人くらいしか乗ってない日もあります。もう少し利用しやすくしてほしい。すぐ近くの児童がバス利用に該当していないと、集団登下校もしにくい。バス通学の見直しをぜひ。子連れの移住者を呼び込みたいならば、このあたりまで整備していかないと。
- あづみんの運営時間がもっと長いと利用しやすいと思います。せめて、7時~19時で運営してほしいです。理由としては、高齢者が病院の行き来に使用する際に、開始時間が遅くなると予約に間に合わないためです。
- 路線バスが無いので、免許返納した時のことを考えると終の住処にするのは難しいと感じます。車を持たなくとも不便なく暮らせるような公共交通機関を整えてほしいです。
- 交通の便(電車、飛行機)が悪く、車以外の旅行がしづらい。これは安曇野市へ要望する内容で

はないかも知れませんが、国際交流を深めるためにも松本空港から国際便が出ればありがたい。

【農林水産業】

〈農業振興〉

- 高齢のため水路管理（草刈りなど）ができなくなってきつつある。
- 道が三方にあるので市へ農転申請したが大型農道（市道）沿いは景観形成で許可が出なかった。水利代支払いもできなくなった場合市で買い取ってほしい。
- 穂高土地改良区の水利代は烏川横断ポンプ使用があり、他より高額である。ビック周辺は農転可なのに他の所は農転否。耕作者がどんどん減り、残っている人は少なくなり水利費が増となっている。この点も考えてほしい。農転否で売れないなら水利費を補助してほしい。
- 農景観を守るため農家への支援を厚くしたり後継者を探したりするシステムが必要。
- 使用していない農地が目立ちます。せっかくの農地を有効に活用する方法がないものでしょうか。
- 耕作放棄地を減らしてほしい。
- 高齢化により離農者が増加傾向にあり荒廃地も多く見られます。農業の魅力を若者や移住者に積極的に発信し土地を有効に活用していただきたい。
- 農業後継者対策も急がないとりんごは特産品じゃなくなってしまう。
- 兼業農家に対する補助金の充実を希望する。
- 農業政策を、充実して欲しい。産業団地開発も必要と思うが、それによって優良農地が失われていく。

〈商業振興〉

- 大形店が無く困る。だから子どもたちは都会に憧れるのかも。
- コストコができてほしい。
- 旧アートヒルズの後利用が気になります。
- コストコを誘致してほしい。訪れる人が増える。雇用が増える。税収が増える。
- 年寄りよりも2世代が住み続けたいと思う首都圏企業を誘致した方が良い。
- 市民だけの割引クーポンや、特典を作してほしい。
- 魅力的な飲食店や宿泊施設をもっと充実させると更に良い街になると思う。それに伴うアクセスの整備（道路、駐車場、公共交通機関）も充実させてほしい。
- 安曇野市は松本市、塩尻市と違いお店が少ない。大型連休になると渋滞があるので困る。
- 安曇野の若い人たちはみんな松本駅前に飲みに行きます。遠いので車で رفتたり、終電で泣く泣く帰ってきたりしています。もっと豊科駅前など、駅前広場を活性化してほしいです。街や商店街が廃れすぎです。
- 大きなショッピングモールがほしい。特にスポーツ用品が充実したお店があれば、白馬や大町からの買い物客も増えると思う（スキーや登山客が多いので）

〈工業振興〉

- 工場などをたくさん作り市民の収入を増やすことが大事。
- 工業・製造業について。農地の健全を優先してほしい。

〈労働・雇用〉

- 70歳以上でまだまだ働きたい人はいっぱいいると思います。ボランティアではなく、いくら

かでもお金をいただき、働ける所があれば嬉しいのですが、家にこもることなく、外へ出る機会、情報があればもっと元気に過ごせると思います。介護の仕事 25 年、何か役に立つ場所があれば、元気な今、頑張れるのですが。でも、体力が若い頃と違いますので週 1 日だけでも 4 時間位だったら、まだやれるのですが、今日行く所、今日の用事を作り、元気に老後を過ごしていきたいと願っています。

- 仕事・求人が少ない、給料が安いのを改善してほしいです。
- 働きやすい職場、雇用がもっとたくさんほしい。
- 時給の高い誰もが働きやすい職場がたくさんほしい。
- 定年後の働き口があったら（ボランティアでも）紹介してもらえる制度もしくは制度の周知をお願いしたいです。企業側の出す有償の広告ではなく、市が間に入った形を取ってもらえると家族としても安心できます。
- ハローワークなどがつつり働くのは難しい方も多いと思うので、週 2～3 日、3～5 時間程度の情報が集まっていると希望者は多いと思います。
- 商業施設などを誘致して観光客を呼び込み、住民の働く場所を確保した方が良いと思う。
- 人口減少社会に備え若い女性が集まるような働きかけを関係機関に行ってほしい。具体的には、初任給でも生活できるレベルの賃金（手取りで 20 万以上）をもらえれば、戻ってくる若者、I ターンは必ず増える。
- 何らかの資格がなくても短時間勤務、週のうち 2, 3 日などの仕事ができる求人を増やしてほしい。障害児を育てながら、親は県外で頼れない状況でも働ける場がほしい。

【観光】

〈観光振興〉

- 「ほりで〜ゆ」について、あそこは山の中のホテルなのでそこを活用して、アニメなどのコスプレや写真を撮れるようなイベントをしてみてもどうか。やはり、日本といえばアニメだと思う。コスプレイヤーを受け入れてちょっとした小物を貸出し外で写真を撮れるような感じ。
- 長峰山の絶景と南穂高の湧水池を観光地化してほしい。
- 冬季に観光など、魅力のある町にすることが大事である。
- 旧アートヒルズの後利用が気になります。
- 「ポケふた」による新たな観光客の流入が狙える。
- 景観はそのままに、もう少し安曇野のお土産商品を増やしたり、施設・お店の充実を図り、観光客が楽しめる場所を増やした方がよいと思う。例えば、元アートヒルズを活用して、目玉となる観光地をつくるなど。
- おいしい水がいろんな形で飲めたり、お土産の一つになるように、工夫とアイディアで市民にも愛される一つを開発していただきたい。例、ステキなガラス細工の小ビン・お守り・コーヒー用の水など。
- 観光資源があるにもかかわらず、十分に発揮できていないと思います。私は、17 年間単身赴任していましたが安曇野を知らない人はいませんが、行ったことがある人は少ないのにビックリしました。いつか行きたい思いはあるが今ではないとのこと。すぐ行ってみたいと思う場所にしてください。
- 温泉をもっと活用してほしい。

- 観光地だと思っていたが、観光する所がない（子どもを遊ばせる所がない）。
- 人口減少対策、子育て支援策の充実が、今後の市の発展につながると思います。良い観光資源があると思うが、何か中途半端（通過地点になっている）。穂高中心部の魅力ある街づくり、観光拠点での店舗誘致、若い観光客を呼びこめる展望デッキなど（例えば光城山）。
- 世界遺産とされた拾ヶ堰の作られた歴史等の記念碑を建てていただく等、まだまだ知られていないすばらしい所の紹介をお願いしたいです。もったいないと思います。
- 市内を見て回る足がない。観光シーズン以外にも、バスを走らせることはできないか。市民の足にもなる。

【地域ブランド】

〈地域ブランド〉

- 関東圏の友人から安曇野在住に関して「安曇野良いところだね」とイメージが非常に良い言葉をもらいます。「信州の安曇野」とハッキリとわかるようです。しかし関西や九州の友人に至っては「安曇野？聞いたことあるけれど、どの辺り？」といったイメージのようです。「安曇野」はブランド力は高いと思います。
- 観光客ががっかりしないように、駅前を活性化してほしい。（穂高駅など）
- 「安曇野」では大河ドラマは呼べないと思う。別なポイント、例えば「作家さんたちが住んでいる街」として、作家さんたちを大切にしてみるとか、すてきなレストラン、喫茶店が多いので、そこを大事にする、レストランが使えるような珍しい野菜を育てて、食の街にするとか、わさびをありとあらゆる料理に入れてわさびの街にするとか、わさびを食品保存の薬に開発するとか、何か一つ、これは安曇野と自信を持てるものを作ってください。よろしくお願いします。
- 「安曇野」は知名度が高いが「安曇野市」は知らない人が多い。
- 安曇野市には貴重でパワースポットのすばらしい神社があるので、PRして多くの方に知っていただきたい。
- 安曇野市らしい自然の豊かさと、観光にしっかり力を入れないといけない。外から人を呼び込む取り組みを今始めないと、いつまでも「安曇野」ブランドに頼ってばかりではまずい。
- 同窓会で帰郷した時、安曇野市から来たと言いましたら、ワァーと歓声と共に「いいなあ」との声が聞こえてとてもうれしかったです。
- 小説『安曇野』について。読んでみたい。図書館で借りたいが、2週間では読み切れないのでためらっている。
- 小説安曇野の大河ドラマ化、壮大で夢がある企画に勇気をもらいます。利己的な経済活動を終えて、利他的な経済文化活動がもっと安曇野市内にひろがってゆく、そんな期待をします。
- 安曇野ブランドについて。認知度極端に不足。行政の発信力が必要です。
- 安曇野ナンバープレート、デザインセンスに問題があります。
- 安曇野ナンバーを希望制にしてほしい。
- ラブホテルが安曇野市に何件かあるが、安曇野のブランドを落としている、なんとかならないか。また、アートヒルズミュージアムがなくなってしまったが、ランドマークとしてこのような施設がほしい。

【移住・定住】

〈移住・定住〉

- 移住してみると思っていたより住みづらい。
- 私は埼玉、松本、塩尻に住みましたが、安曇野市は福利厚生がよくないしゴミは高いし交通の便は悪いから老後は不安しかありません。道の駅とか沢山あり野菜がおいしいのが良くて来ましたが。
- 外国人（クルド人）の移民は断固反対致します。川口市のように汚染されてしまいます。

【土地・建物】

〈空き家・古民家〉

- 空き家対策
- 人気の出てくる土地だと思います。田畑の埋立て、空き家などが気になります。景観を守るためにも、空き家の利用、解体により力を入れていただきたい。
- 空き家対策に力を入れてほしい。
- 空き家対策（解体、移住、商店の若返り）補助が必要だと思います。

〈土地・建物〉

- 農地が宅地化していくのがとても悲しいです。空き家もいっぱいあるので、新しく建てるにも、現状で宅地の場所周辺に限ってほしい。農地や堰、北アルプスの、自然と人々との暮らしの調和が保たれた景観を大切にしてほしい。

【地域】

〈協働・コミュニティ活動〉

- 市街地の人達に役立てる方法があればと思う
- 高齢世帯となり、行事などに参加できない。若い方々に負担が増える。行事を簡略、簡単にしたらどうか。
- 地域差はあると思うが、地区で催しをしても参加率が低い地域では地区内のコミュニティが充実しているとは言い難い現状。変革の時は大変だと思うが、今後行政も交えて、もっと地区が活性化するような働きかけも必要だと思う。かといって地区内に負担ばかりでは、結局個人個人になってしまうので、うまいこと区、行政が成り立っていくような方法を考えてほしい。一人一人の意識の問題だとは思いますがそこをどう底上げしていくか、何か良い方法はないものですかね。
- まず、少人数のコミュニティの場づくりに市が率先して、進めてほしい。
- 子どもたち・若者・子育て世代、高齢者が各々の世代が安心して暮らせる町づくりを、各々の世代が交流できる場所づくりを。
- 別荘地で、山際のため、組合もなく、近所付き合いもなく、ましてや高齢のため、これからの成り行きに不安を感じています。

〈自治会〉

- 人口の少ない集落については生活基盤が安定している地域に移住してもらい少ないお金でまかなえるようにしてほしい。
- 区における隣組制度や部制度は高齢化社会、人口減少時代の現在、今後成り立たなくなる事は明白。早急に行政と地元の役割を見直すことが必要。そうしないと今後全ての行政が停滞すると思う。行政の皆さんが考える程、自助・共助の自助は質・量そして熱量において充実していない。行政の役割と責任は益々重くなる一方。早急な対応を期待したい。

- 高齢化が進み、地域の役員への参加が減っている。独身の息子や娘が家にいるのに参加してこない。今後の課題なのではないでしょうか。
- 地区ごとの役員活動など見直してほしい。参加は強制ではありませんが、参加協力している人達だけが大変な思いをするのはおかしいです。定年を決めたり、活動不参加の理由を明確にしてほしい。穂高、堀金、明科、豊科で活動を統一してほしい。
- 町会（自治会）のあり方について、私は安曇野市に戸建てを建てて加入させていただいていますが、運営の仕方を見直していただきたいと感じています（ある程度、行政が中心となっていてほしい）。町会の意義については重要と思いますが、時代に即した取り組みや無駄を省いてほしいという思いはあります。
- 時代が変わってきたので、隣組や地区の行事などのあり方は、変えていく必要があるのでは。コロナ禍で、やらなくても良かったことは、そのまま廃止しても良かったのではないかな。
- 隣組を抜けてしまう家が多く、抜けた者勝ち状態。入っていなくても何も困っていないようなので、負担ばかりを担う隣組に入っている者が馬鹿をみているような気がする。金銭面でも役員などの負担においても。伝統行事は受け継ぎ守っていくべきだが、皆忙しく日々の生活に追われる時代に、どうやってバランスを取って誰がやっていくのか。難しい問題だと思います。
- 区を脱会する方が多く、このままでは区を維持することが難しくなる可能性があり心配です。
- 役員を無くす、もしくは仕事を減らしてほしい（学校の PTA も含む）。ただでさえ人が少ないのに役員決めは無意味。同じ人が何度もやるのはおかしい。自営業は常に家に居るからってほぼ押し付け同然になるから困る。私たちの職種は休日でも仕事があるため暇ではない。こういうことが苦手な人もいるのだから、本当にどうにかしてほしい。
- 安曇野市の区費を安くしてほしい。
- 区に入っていないと区の情報は全く無く何もわからない。公民館活動においても同じ。
- 三郷に住んでおり、家族の話をいつも聞いていると、組が大変そうである。仕事している世代の負担が大きい。組に入っていない方からはお金をもらったりしてもいいかもしれない。
- 移住した際「隣組に入らないとゴミを出せない」言われ仕方なく加入したが、市に問い合わせると「出せる」との返答。加入で5万円。何かあれば掃除だ、祭りだと騒ぎ、仕事なので出られないと出不足金を取る。「詐欺"市"」か何か？これで本当に嫌な思いをした。他は良いのに。この点以外はおおよそ満足。このくだらない隣組制度は今の時代不要。今すぐ無くせ。そして、5万円返せ。出不足金も。
- 地域の役が多くて仕事と両立がととても大変。
- 各自治区では区脱会者が増えている（私共の自治区では）。安曇野市全体の各自治区はどうか。市の区長会も行われていると聞いているが、脱会者増加の話が出ているか。市として把握してこしらい対策をしてほしい。特に市の職員及びその OB たちには使命を持って、自ら進んで対処してもらいたい。常日頃の仕事の中で市の職員のそういった自治区脱退を食い止める方策、対処できる人格をつくる教育も市長進んで行ってもらいたい。区そのものが潰れてしまいかねない。
- 区費、常会費が高い。

- 町内会、隣組、PTA、氏子等昔からの地域活動が破綻している。役員や係の成り手が少なく、やる人の負担が大きすぎる。成り手がいない場合は代行業者に頼める仕組みを市が整備費用についても補助金が出るよう希望。
- 環境保全、区の運営など市民が負担している事業ですが、市民の負担が多く市の介入を増やして欲しい。区役員の担い手が足りません。また、守らないといけない伝統と、あえてやめる伝統の選択は必要だと思います。
- 高齢者が、増加し自治会の存続が厳しくなっています。回覧物も若い世代には、負担だと思います。そろそろ、市でも対策を検討していただきたい。
- 高齢化に伴い、隣組の在り方を見直ししていかなければ現実的ではないと感じる。名前のみ登録で、実際高齢の場合動けない。また若い世代は無関心のようなので。
- 常会役員の負担が多く、役員の成り手不足。常会組織からの脱退者が多い。
- 高齢者増加により自治会の若い人の負担が増えています。昔ながらの回覧方法や募金のお願いをするのは、若い人たちの負担になります。大変だから、市役所で地域にかかわる人材を増やしてほしい。
- 地域の役員をなくしてほしい。昔からある常会をなくしてほしい。合併しても昔からの考えがあって住みにくい。常会入らなくて困ることはないのでなくしてほしい。

〈ゴミ捨て〉

- ゴミステーションの管理を含め、地域のゴミ問題に市ももっと関心を持って介入してほしい。区に任せすぎ。
- 北小倉のゴミ問題を何とかしてほしい。
- 家庭におけるゴミ焼却による臭いが気になります。特に窓を開けたい春から夏にかけての朝や夕方は禁止していただきたい。
- ゴミ処理は松本市に比べて大分見劣りがする。(費用なども)
- 松本市のように、草木用のゴミ袋を作してほしい。
- ゴミ袋が高い。松本市同様もっと安くできませんか。
- ゴミステーションを設置してほしい。現時点では、車で捨てに行く現状である。聞いたところによれば40軒ないと作ることは不可能である。それは昭和の話で、現在は、令和の時代ですよ。(現)16軒。どこも高齢化社会で、歩いて行くにも国道に歩道がなく、交通量も大型車など頻繁に通る、非常に危ないため大変です。近くに作るよう希望します。高齢者にも、優しい街づくりをするようお願いします。
- ゴミの区別は諏訪市よりやりやすいため続けられるよ、「しんえこ」があり助かっている。
- 燃えるゴミの袋が高すぎる、もっと住民に寄り沿って考えてほしい。いろんなものが値上がりして生活が大変なのでゴミ袋くらい安くしてほしい。
- ゴミ袋の料金が安い。
- ゴミ袋が高すぎる。そのせいか、道端に捨てる人が多くなった気がする。
- ゴミ袋が高すぎる。
- 燃えるゴミ袋高すぎる。もっと安くしてほしい。
- ゴミ袋が高すぎるのが不満だ。

〈その他〉

- 犬をリードなしで放しているケースを見かけますが市としてペットの飼育について現状をど

う考えていますか。

【SDGs】

〈自然環境の保全〉

- 里山再生、森林保全の活動について。一度だけ植林しましたが年齢的に難しい。

〈野生鳥獣被害対策〉

- 牧・有明地区の猿害対策をもっと充実させてほしい。追いはらい隊だけでは不十分。
- 凶暴なサルが頻繁に山から降りてくるため、駆除していただきたい。

〈太陽光発電〉

- 太陽光発電については、問題が多く指摘されており慎重に進めるべきだと思います。
- 山林を壊して太陽光するのはやめてほしい。
- 自然エネルギーは普及してほしいが、太陽光パネルによる環境と景観の悪化を考えると、他の方法を検討する必要があると考える。
- 自然エネルギーは普及してほしいが、太陽光パネルによる環境と景観の悪化を考えると、他の方法を検討する必要があると考える。

〈ゴミの減量〉

- プラスチックごみを分別して出しているが、結局、燃えるゴミとして燃やされてしまうことを聞いた。本当のところはどうなのか知らないけど。

〈その他〉

- 農家の人が自家用に作った野菜が余って近所にあげようと思っても近所は、農家同士でもらっても困る。
- SDGs は他と横並びでやっていけるだろうし、一般国民にはどうでもいい。
- SDGs とは理解できません。
- 穂高リサイクルセンターを利用していますが、受入れの種類を増やしていただけないでしょうか。例えば、使わなくなったがまだまだ使える布団類とか、毛布類とか、限りある資源をできるだけ循環させていくためにも。
- グローバルリーダーからの提案（SDGs など）は、要検討と考えます。
- バイオガス発電はどうなった。
- SDGs について。頭文字を並べても何のことかわからない。
- バカらしい。やめてください。
- 地球温暖化対策として、自家用車ではなく公共交通機関で出勤する人に手当をほしいです。

【デジタル社会・行政サービス】

- デジタル社会も良いけど、年寄りにもわかるよう、また、参加できるようお願いします。年寄りを見捨てないで。
- 安曇野市のホームページをスマホで見る時、見にくいので、スマホでも見やすくしてほしい。
- あづみ野 FM はおもしろくない。
- 年寄りには、ホームページなどを見られる者ばかりではありません。
- 高齢者であり、デジタル、スマホインターネット商店でのカード、スマホ支払い等使えば便利と思うが、知識ないので使えない。
- デジタルの弊害が大いにあり。

- 市役所の自己満足ばかりと思います。
- デジタル推進とかですが、アナログ方式もメリットがある。トランジスターラジオやカーラジオは電波形式はアナログ方式だし（テレビはデジタル方式になった）国内線の飛行機の管制用VHF航空無線もアナログ方式。

【市への意見・要望・提案】

〈意見・要望・提案〉

- 会計年度任用職員の待遇の改善。
- 市の職員はよく頑張っている。例外もいるが。
- 役場の方に期待します。
- マイナンバーカード等個人情報が流出しない。他人のデータが間違っ入っているなど、ないようにお願いします。
- 高齢者や子育てにあてはまらない世代や家庭にも住みやすい街にしてほしいです。（30～40代で親の介護なし、子供のいない家庭）
- 市職員と土木、林業、電気関係会社の癒着があり、小規模工事など申し込んでも新規申込仕事は来ない。証拠あり。改善をお願いします。
- 消防団員の人員確保、待遇の改善をお願いします。
- 車での生活が中心ですが、現在は免許があり困りませんが、これから年を取り車が使えなくなった時、自由に移動ができなくなり生活が困難になる不安があり、現在の市の政策ではとても不安です。もっとバスなどの整備に力を入れてもらいたい。
- 個別の事情はあると思いますが、インターのマクドナルド閉店、八十二銀行明科支店の閉店など経済面での不安を感じますが市として今後、民間の市民サービスの充実という面でどのように対応していくのでしょうか。
- 今後も市長始め職員の皆様には変わらぬ御活躍をお願い申し上げます。
- 映画館又は映画を見る場所。
- コストコがあってほしい。
- 他の県からの者ですが、まず第一、町に活気がない。
- 若い人たち（20代、30代）にとって、魅力ある住みたい市となる工夫が必要に思う。
- 市内独身者が家庭を持ってここに住もうと思える出会いや、職場（企業）の充実。
- 市内の現状（人口数だけでなく、高齢化率など）を知ってもらい、現状から予測されるこれから10年後の状態を知ってもらう。一人一人の将来に向けた意識付けと課題認識のうえ取り組みめることの提案など気軽に言える場があるとより良いと思う。
- 市議の質の低下が大変心配しています。十年後、市の経済、市を支える業種など、もっと市の今後について、考える力をつけてほしい。
- 皆が「子育て」と言っているが、経済が安定しないと長続きできません。
- 市役所もイベントを盛んにやって、市民も幅広く、会議室とかを有意義に活用できるようにしたり、こども食堂とかやってもらいたい。
- 外にいる子どもに言われます。ふるさと納税に対し、他の県と比べるとパツとしたものがないと。工夫した方が良いのでは。
- 車に乗ることができる年齢には、とても住みやすく便利であるが、高齢になり車に乗ることが難しくなったら、どうやって買い物や病院に行けばよいかとても不安です。交通の便が不

便です。それ以外は、大好きな安曇野です。

- 「安曇野」について盛り上がりは一部地域のみ、各地域ごとに取り組みの必要性を感じます。
- もっと住みよい市に発展できると思う。
- 支所の職員人数は余裕がありすぎている気がします。大変な部所もあるかと思いますが、全体的に職員人数の見直しも必要かと。議員の報酬も決して安くはないし、仕事への個人差もありすぎです。一般から見ると、こんなにたくさんもらっているのと驚きです。
- あづみんをもっと気軽に使いやすく。
- 買物難民にならない。
- 運転免許返納後の不安解消。
- 下水を垂れ流すアパートや、自宅が多いです（南農西の団地）。皆で下水道代金を払い、きれいな水になるよう指導をお願いします。（ちなみに安曇米は購入する気にはなりません。）
- 市議会議員は今の半分で十分である。定員削除をした分で、行政職員の人員や処遇を改善してほしい。
- マイナカードでできる手続きをしてほしい。
- 移住者に肩入れするのではなく、先住民にもそれなりの生活支援を。
- 転入転出などの手続きぐらいは、土曜日半日ぐらいは受け付けるべき、行政はサービス業だ。
- 住民全員正しい情報が得られて、平等なサービスが受けられるような配慮を望みます。
- 市の方はあまり住民のことを考えて物事を言ったり、考えてくれないところがある。
- 子どもたちがのびのび成長できる素敵な地域に、これからもよろしくお願いします。
- 行政組織として一般職と技術職が必要である。
- 現行の部課の動きとして、一般職として動いている部及び局への組織化と、地域を意識した公務員としての意識の向上を。
- 地域の力（マンパワー）をもっと生かしてほしい（道路の整備など）。
- 大型芸術施設（演劇、映画など）を安曇野市にも欲しい。
- 高齢者の通院、買い物などの移動に高齢者で運転免許保持者は、あづみんの不便さがあり自分で運転してしまい、昨今ニュースになっているように高齢者の運転事故が多いと思う。高齢者が運転免許を返納しても困らないように新しい交通手段を考えてほしい。
- 市町村合併後より、公共料金の値上がりで家計の負担増のため、見直し又は補助をお願いします。
- 季節柄ですが、積雪時の雪かき、安曇野市内が他市町村に比べ、雑すぎます。年1回だからこそ丁寧な対応をお願いします。
- DXを進めてほしい。
- 他県から引っ越しをしてきました。景色がよく癒されます。子育て、福祉も充実しているように感じます。市の行政については、あまり詳しくないですが、このようにアンケートを実施したり、目安箱を設置して、市民の意見を聞いてくださるのはいいことだと思います。
- 各家庭にシンボルツリーの植樹、生垣を作るなどの安曇野ならではのルールを作って、景観を守り、人が自然を愛でる心を作ってほしいです。
- 市議の働き方が見えていない。市長がとっても動く行動がわかるが市議一人一人の活動をも

う少しオープンにしてほしい。(給料の件で話をしたのなら特に明確な働きを市民タイムスにでも載せてほしい。)

- 松本市、塩尻市など近隣市町村と並んだときに、「安曇野市はこれ」という、先進的な取り組み、施策が欲しい。今は特徴的なものが見当たらない。
- 雪の除雪をしっかりともらいたい。
- 後期高齢者で市政などに積極的な参加・協力ができませんが、皆笑顔で元気に過ごせる安曇野であってほしいと願います。
- 市長の公約の1つでもある、有機農業への取り組みが今ひとつ伝わってこない。有機米の給食での使用が始まったのは喜ばしいが、まだ1学期に1回に留まっている。「有機農業の街・安曇野」のブランド化を望む。
- いつ行っても、どの課も、市役所職員の対応が不親切です。他の市、県とは比べものにならないくらいです。
- 商業施設の駐車場にもっと優先駐車場を増やしてほしい。子ども連れ用と車いすマークの差別化をしてほしい。子ども、荷物、重すぎるし大変すぎるし危ないので考えてほしい。
- 移住者、定住者、性別、年代にかかわらず、幅広い意見(利害関係の一致する偏った意見ではなく)を、もっと求めていくことが必要。自分たちに都合の良い意見ばかり拾っていては、近い将来破綻していくと思う。目の前の利益や損の少ないことばかりやっていると、何も救えない。アンケートを提出してきた人の声ばかりではなく、アンケートを提出してこない人の声、選挙に行かない人の声、そんな声を拾って動ける行政であってほしいです。
- とりあえず、10万人都市を目指してほしい。9万人ちょいなので。
- 以前はあづみんが走っていて、今はのーとに代わっていますが、料金をプラスして良いので広域(松本市)乗り入れがあったら助かります。信大病院や美術館、公共施設などへ。
- マイナンバーカードを使ってできるサービス(他の市にある膳本の取得など)を充実させてほしい。
- 年金受給の年齢の引き上げ、働き方改革など世の中が変わっていく今日、変わらないのが地域(区)の役員の負担の多さ、昔ながらの古い体質、これは市の体質が反映しているのかなと思います。他から来た人が異を唱えても聞く耳をもたないのが現状だなど思うことがあります。地域(区)の役員負担の軽減から市も見直しをしてほしいと思います。(住みやすさにつながっていくと思います。)
- 不公平感がある。(旧町村で)
- 金の使い方に不満がある。優先される所が違うと思う。
- 住民税が高くて不満。
- 安曇野ナンバープレートに反対、松本ナンバーと選べるようにしてもらいたい。安曇野ナンバーで走るのが恥ずかしい。
- 市所の職員の態度がすごく悪い、非常に不満。
- 広報あづみ野や議会だよりなど印刷、紙質など含め費用をかけすぎではないか。重要性の無い記述(自分にとっては)が結構多い。
- 健診が煩雑でとてもわかりにくい。他県から移住して、何日にも分けて健診をしないと行けないし、手続きも一々しないと行けないので驚いた。公共機関で一斉にたくさんの健診をやっていたきたい。

- マイナンバーと保険証のひも付けは絶対に止めてほしい。マイナンバーと紙の保険証双方が利用（選択）できるあり方を望みます。
- 安曇野市第2総合計画とは何ですか。
- 後期基本計画とは何ですか。
- 道路面の整備をお願いしました。1年になりますが「県と相談して」との対応の後、全く動きがありません。諦めています。小さな声が埋もれていくような行政と言えなくもない。目につくものばかりが充実され、本当にそこで生活する人のための手当が後回しでは、行政としてどうでしょうか。
- 申請するにしても電子化、DXの波に飲まれ、これから高齢の域に差しかかる者としては「不安」しかありません。
- 確定申告時のことですが、「還付ありきで来るな」と言われました。小さな百姓は黙っているということでしょうか。一人の態度が市政の全てを表しているように思えてなりません。
- もっと誠実に、市民に向き合い、市の運営を行ってください。安定した、安全な職業にあぐらをかいている年長者、凡習、習慣、民間で職場勉強してください。民間は皆、必死です。生きること必死です。わかりますか。無駄をなくし、合併でもしてください。
- 山間部の少子化、空き家、伝統行事継承対策を優先しないと消滅する地区が出てくると思います。
- 安曇野市全体のランドデザインがあるのか。あれば教えてほしい。
- これからどんどん高齢化が進んでいきます。若い人たちが住み暮らしていける環境整備が必要です。
- 老人に金を使わず若い世代に使うようにするべき。
- 市の職員の方々は窓口対応がすばらしくて、気持ちよく手続きなどができて、数回庁（本庁）へ出向きますが、良い職員の皆さんでうれしく思います。
- 市議の皆さまご自分の出身地域だけでなく広く安曇野全体のことを見てほしいです。
- 学校周辺での変質者が多いような気がします。本人の性癖の問題なので仕方はないと思いますが、市で対応することは何が可能でしょうか。
- 業務量に対して職員数が少ないと思えてなりません。
- PayPayの自治体キャンペーンを実施してほしいです。
- 市の職員が少なくてかわいそう。
- 来庁した市民に対して、担当外でも挨拶を心がけてほしいと思います。窓口に人がきてから、対応するまでに時間がかかり過ぎると思います。
- 中国人に山を売らないように市と県の方から地主へ呼びかけをお願いします。水が確保出来なくなったら終わりですので。
- 次世代や移住者、他地域への情報発信等まだまだ足りていないように感じます。みんなの記憶に残る、誇りある安曇野市になることを期待します。
- 行方不明者の連絡や緊急時等に屋外に流れる無線放送が全く聞き取れないので、放送と同時にLINE配信するなどしてはどうでしょうか。
- 広報あづみ。広報誌のセンスと情報が低下しました。
- 高齢者や障害者の保護者がいなかったり、居なくなったりした時のフォロー体制ができていないと感じます。集めて保護するような施設や人材がいるような、大きな施設を作ってほし

いと思っています。

- 消防団組織のコンパクト化、活動内容の再構築。他県がまねしたいと思うような安曇野市独自の税制優遇制度や教育制度の制定。
- 給付金の配布。

〈質問〉

- アパートで一人暮らししている人でも、「安曇野市民だ」と胸を張って断言できるような、市への関わりがもてるような機会があると良いと思う。(今は「よそ者」って意識が強いので)
- 個人情報守秘義務の漏洩を感じることが多々ある。
- 家屋税が何十年たっても変わらず高い。建ててから何十年たっても税金は下がるはずだが下がっていない。年金暮らしにはきつい。考えてもらいたい。

〈その他〉

- 外でお金を使わない県民性なのでショッピングする場は少ない。
- 太田市政は、個々の限定的課題に対するフットワークは納得できるが、安曇野市のトータルビジョンは見えてこない。
- 自分の住む環境はとても気に入っています。今のまま守られる事を望みます。市の広報誌やホームページで情報が入手しやすい。
- 岳都、学都、楽都の松本市を上まわるキャッチコピーがほしい。例えば「美味しい安曇野」(食べ物がおいしい、景観がおいしい、水がおいしい、人がおいしい(おもてなし)「山岳都市、安曇野」「日本のバーゼル」「アルプスとアートの都」
- 安曇野市に居住して間がないため知らないことが多数ある状態です。
- ジモティーのような物々交換などの機会があれば良い。
- 各分野で種々な問題もあることがわかりましたが、一言でまとめれば住みよい安曇野市です。より良い暮らしのための努力をしたいと思います。ありがとうございました。
- 耐震・断熱住宅(改修)の推進
- 格家族暮らしから三世帯同居住宅への暮らし方の提案
- 多くの市民が「農と暮らす生活」価値感向上へ。
- 太田市長は、聞く力、正確に物を見る力、理解しやすい言葉で、期待しています。市長も職員の皆様も、お身体を大事にしてください。
- 電子マネー(PayPayなど)の自治体でのキャンペーンを行ってほしい。(松本市はやっている)
- プレミアム商品券が使いにくい。(500円単位にしてほしい)
- 太田市長にはいろいろ取り組み感謝しております。
- 安曇野市は素敵な所ですね。山も毎日見てて、飽きません。
- 安曇野市役所はとても立派で、困っていると必ず職員さんが声を掛けてくださり、とても有り難かったです。これからも素敵な町(市)づくりに協力したいです。
- 高齢になった時の移動がうまくいくか心配。
- 安曇野市は誇れるすばらしい自治体だと思っています。これからも住み続けたい。
- お下がり会の内容をもっと充実してほしい。大物やおもちゃなども。
- 災害が起きた時の備え。家庭、地域、市、それぞれで備えておくものを明確にする。
- スワングーデンがインターから近くて便利な場所なのにもっと人が集まるような店が欲しい

(飲食店もう少しあれば)。居酒屋が欲しい。

- 日々、お疲れ様です 楽しく過ごすことができます。
- 道路もきれいだなと思う (ゴミや雑草)。何より田んぼと山の景色が最高だ。
- 安曇野市 No.1 にする PR の方法。
- インパクトのあるキャッチフレーズ必要。
- 人口 10 万人にする方法計画目標が必要。
- 区、公民館のあり方について、行事が多くて役をやることに對して不満であり、もっとこれからは災害について力を入れてほしいです。市の方からも各、区に對して意見を言ってほしいです。
- 市の行政サービスについての広報を、より充実させてほしいです。
- 住民の声がタイムリーに反映されるようなシステムを拡充してください。食の安全やワクチンの危険性などより真剣に取り組んでほしいです。
- 健康診断なども、ポイント etc だけでなく、安全性やインフォームドコンセントにも力を入れてください。
- 不景気の際は、「税は財源ではない」という点を施策に反映願います。
- 楽しい企画を増やしてください。
- 屋外放送が、何と言っているかわからない時があります。音も小さいですが、はっきり話せていない時もあります。もう少しわかるようにアナウンスの練習してください。
- 各支所にでも目安箱のようなものを置いてほしい。
- 穂高駅周辺が活気なく感じもったいない。
- 年齢に合わせて利用できる場所があって参加して学んでおります。ありがとうございます。
- チェーン店が多く。安曇野の良さがいまいち無い。
- 朝の渋滞をなんとかしてほしい。
- Thank you!
- 運転免許を返納した高齢者の足 (交通) の問題は、中心地から遠隔の地域に生活する者にとっては切実である。
- ANC アリーナのスケボーパークは、利用しているのをほとんど見かけません。税金の無駄遣いと言われていますよ。若者たちのためにもっと充実したスケボー場にする必要があるのでは。
- 市役所の窓口では、とっても良い対応をしてくれるから、良いと思う。
- 昔の人たちの意見は無視してどんどん新しいことをやった方が良い。
- 朝夕の交通渋滞の対策を考えてほしい。
- 全ての人が暮らしやすい所であってほしい。
- 耐震化を大いに進めてほしい。
- ○○の本のコーナーに百合漫画設置してください。
- どの議員が「安曇野ナンバー」を公約に掲げて立候補しましたか。東京をモデルにしたような街や店は要らない。良い意味で田舎っぽく。政策など、こそこそ進めたいかのごとく、アピールが下手。周辺を含めて働く所がないと若い人は居なくなります。リタイアした人ばかり増えても。

- 図書館が月曜全館休館だと月曜日に利用したい人が困るのでは。
- いろいろご苦労様です。
- いつも素敵な市作りをしていただきありがとうございます。これからもここでの生活を維持していくために、素敵な出逢いができる新しい家族が作りやすい環境整備を一方でおひとり様でも愉しめる環境をお願いします。
- 一般市民と市の運営に携わっている方々の間に溝があるように感じる。お互いにわかっていない部分が多いと思う。地震への市の対策が全く見えない。

〈アンケート〉

- 今までのアンケート結果、なにを行い、考え、結果等が分からない。アンケートの 2000 人とは、人々に対して適正なのか、統計学的に。政策部は何に重きを置いているのか。安曇野市民全員なのか将来的な人に対してなのか人口比率なのか。アンケートの反映の仕方は。多数なら必ず反映するのか。
- 答えるのに判断基準がないため他の市町村との比較評価になってしまう。絶対評価ができるような設問を期待したい。
- 私は 90 近い高齢者です。意識調査等もっと若い方に出していただきたい。
- 回答欄にわからないもつけてほしい。
- 何もわからないことが多くこのアンケートの意味がわからない。税金の無駄遣いです。
- 安曇野市は住みたい所の上位だと聞いているので、このようなアンケートはとても有り難いと思います。
- 「豊科近代美術館友の会」解散後のあり方についての要望。豊科近代美術館友の会は、31 年の間、様々な活動を通して地域の市民が親しんできた貴重な場所です。ところが最近、会員の高齢化による減少と後継者がいないこと、本年度から美術館の耐震改修工事が始まるなどの理由で解散してしまいました。（友の会は絵画部、バラ研究会、手作りクラブ、読書会など 10 の会がありました。絵画部だけクラブとして続けることとしました。）今後については美術館が 1 年ほどかけて新しい組織を模索したいとのことです。しかしその方向性に関して私たちは少なからず心配しています。果たして今までのような活動ができるのか、地域の市民が誇りを持って喜んで自由に集まれるような開かれた美術館になっていくのかという点です。去年 4 月の広報あづみのに「文化、芸術中核都市の実現」として安曇野の文化、芸術環境を生かして、教育の推進、芸術活動の活性化や、交流人口創出、と書かれていました。本当にそうってほしいです。私たちは今、会員 22 名ですが その半数以上は県外からの移住者です。転入してくる人たちにとっても魅力のある芸術、文化にあふれた場所であってほしいと思います。そこで今お願いしたいのは、地域の美術館として、地域の人たちが自由に好きな時に使えるような開かれた美術館であってほしいということです。松本市美術館には、友の会があって盛んに活動しています。また隣接した建物市民アトリエでは、様々な市民による芸術活動が定期的に行われています。私たちの近代美術館もこのように変わってほしいです。この機会に、より門を広げて、市民に近づいた市民のための美術館になってくれることを願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- このようなアンケートがあり、もっと安曇野が良くなればいいなと思った。
- 子育て、教育に関しては他の県で暮らしていたため、こちらの今の様子がわからず回答がややふやになってしまいました。

- この調査の調査項目に目を通して見て、80歳を過ぎた最近の自分が、市政に対して関心がいかに低くなっているかを思い知らされました。取り急ぎ市のホームページを手掛かりにし回答に努めましたが、十分に理解できていない事項も多くあります。お許してください。
- アンケート年齢80歳以上ですので回答が難しいです。高齢者についてのことがあればと思いました。
- 抽出年齢が60歳以上あるので、わからない出題がかなりありました。小学校の出問など。
- 今回このようなアンケートを頂き少々考えさせられましたが、もう年ですし、あとどれくらい生きていくことができるのか。少しは安曇野市のことも考えたいなと思いました。
- 教育・学習について、子どもがいないためわからない。
- 「現状の満足度」に回答するための判断材料が自分になく、イメージで答えるのは無責任であるように思いました。質問項目について、もう少し練っていただければよかったと思います。

設問別	その他の意見（自由記載）
-----	--------------

問 1（3）	主に従事している職業等	その他の内容
--------	-------------	--------

- 会社役員
- 法人役員
- 専門職
- 介護職
- 警備員
- 実習生
- 彫刻家
- 内職
- 配送業
- 安曇野シルバー
- シルバー
- 育児中
- 病休中

問 1（4）	通勤先、通学先の市町村	その他の内容
--------	-------------	--------

- | | |
|-----------|--------------|
| ● 長野市 ×6 | ● 筑北村 |
| ● 上田市 | ● 小谷村 |
| ● 塩尻市 | ● 松川村 ×4 |
| ● 諏訪市 ×2 | ● 愛知県日進市 |
| ● 小諸市 | ● 神奈川県横浜市 |
| ● 茅野市 | ● 神奈川県川崎市 |
| ● 富士見町 | ● 東京都 ×4 |
| ● 辰野町 | ● 長野県 |
| ● 箕輪町 | ● 山梨県甲府市 |
| ● 伊那市 ×2 | ● 他県群馬 |
| ● 大町市、松本市 | ● 県外 ×2 |
| ● 池田町 ×10 | ● 中信地区 ×2 |
| ● 麻績村 | ● その日によってちがう |
| ● 山形村 | ● 現場はどこでも |
| ● 朝日村 | |

問1（6） あなたの出身地は その他の県内市町村の内容

- | | |
|-----------|-----------|
| ● 長野市 ×15 | ● 阿南町 |
| ● 上田市 ×4 | ● 上松町 |
| ● 松本市 ×2 | ● 木曽町 ×5 |
| ● 岡谷市 ×5 | ● 池田町 ×12 |
| ● 飯田市 | ● 坂城町 |
| ● 諏訪市 ×7 | ● 宮田村 |
| ● 須坂市 ×4 | ● 豊丘村 |
| ● 伊那市 | ● 王滝村 |
| ● 駒ヶ根市 | ● 麻績村 |
| ● 中野市 ×2 | ● 生坂村 ×3 |
| ● 飯山市 | ● 山形村 ×2 |
| ● 茅野市 | ● 朝日村 |
| ● 佐久市 ×5 | ● 筑北村 ×10 |
| ● 千曲市 | ● 松川村 ×7 |
| ● 東御市 ×2 | ● 白馬村 ×4 |
| ● 軽井沢町 | ● 小谷村 ×2 |
| ● 下諏訪町 ×4 | ● 高山村 |
| ● 富士見町 | ● 東筑摩郡 ×2 |
| ● 辰野町 ×3 | ● 北安曇郡 |

問1（6） あなたの出身地は その他の道府県の内容

- | | |
|----------|----------|
| ● 秋田県 ×2 | ● 奈良県 ×2 |
| ● 茨城県 ×4 | ● 新潟県 ×6 |
| ● 岩手県 | ● 兵庫県 ×6 |
| ● 愛媛県 ×3 | ● 福井県 ×2 |
| ● 大分県 ×2 | ● 福岡県 ×4 |
| ● 香川県 | ● 福島県 ×2 |
| ● 岐阜県 ×4 | ● 北海道 ×6 |
| ● 京都府 | ● 三重県津市 |
| ● 熊本県 | ● 宮城県 ×4 |
| ● 群馬県 ×3 | ● 宮城県仙台市 |
| ● 滋賀県 ×2 | ● 宮崎県 ×2 |
| ● 静岡県 ×4 | ● 山形県 |
| ● 島根県 | ● 山口県 |
| ● 千葉県 ×9 | ● 山梨県 ×5 |
| ● 鳥取県 ×2 | ● 和歌山県 |
| ● 富山県 ×2 | |

問 1 (6) あなたの出身地は 外国の内容

- | | |
|--------|---------|
| ● アメリカ | ● ドイツ |
| ● タイ | ● フィリピン |

問 1 (7) 移住前の居住地 その他の県内市町村の内容

- | | |
|-----------|-----------|
| ● 長野市 ×37 | ● 木曽町 ×3 |
| ● 上田市 ×12 | ● 池田町 ×7 |
| ● 岡谷市 ×4 | ● 朝日村 |
| ● 飯田市 ×3 | ● 生坂村 ×3 |
| ● 諏訪市 ×11 | ● 小谷村 ×5 |
| ● 須坂市 ×7 | ● 喬木村 ×2 |
| ● 小諸市 ×2 | ● 筑北村 ×4 |
| ● 伊那市 ×5 | ● 白馬村 ×2 |
| ● 中野市 ×2 | ● 松川村 ×7 |
| ● 茅野市 ×5 | ● 山形村 ×4 |
| ● 佐久市 ×2 | ● 東筑摩郡 |
| ● 千曲市 ×4 | ● 信州新町 ×2 |
| ● 辰野町 | ● 波田町 ×2 |
| ● 箕輪町 ×2 | ● 明科町 |
| ● 飯島町 | ● 四賀村 |

問 1 (7) 移住前の居住地 その他の道府県の内容

- | | |
|----------|----------|
| ● 愛媛県 | ● 千葉県 ×3 |
| ● 茨城県 ×3 | ● 大分県 |
| ● 岡山県 | ● 鳥取県 |
| ● 岐阜県 | ● 鳥取県米子市 |
| ● 宮崎県 | ● 島根県 |
| ● 宮城県 ×3 | ● 栃木県 |
| ● 京都府 | ● 奈良県 ×2 |
| ● 京都府京都市 | ● 白馬村 |
| ● 群馬県 | ● 富山県 |
| ● 群馬県桐生市 | ● 福井県 |
| ● 広島県 | ● 福井県小浜市 |
| ● 山口県 | ● 福岡県 |
| ● 山梨県 | ● 福島県 |
| ● 山梨県甲府市 | ● 兵庫県 |
| ● 山梨県山梨市 | ● 北海道 |
| ● 新潟 | ● 和歌山県 |
| ● 静岡県 ×2 | |

問1 (7) 移住前の居住地 外国の内容

- アメリカ
- フィリピン

問2 世帯状況について その他の内容

- 4人家族
- 兄同居
- 兄と私
- 家族6人
- 長男と二人
- 本人、息子
- 孫1人大学生と
- 未婚、パートナーと同棲
- 施設

問3 生活にどの程度満足しているか その他の内容

- 不安がある
- やや満足

問4 これからも安曇野市に住みたいか わからない・その他の内容

- 住まざるを得ない、持ち家だし。
- 本当は他の市町村に移りたいが持ち家がある。
- 持ち家であり選択肢がない。
- 住み続けるしかないから。
- 親がいる県外の地元に帰らなければならなくなるかもしれない。
- 長男の嫁のため仕方がない。
- 仕方がない。
- 家族状況により予測できない。
- 結婚後は市外に出る。
- 住み続けることが年齢的に可能か否か。
- 交通も不便。歳をとると不安。
- 高齢や障がい者になったときは他の市町村に出るかもしれない。
- 病気をわずらったら子どもの所に行くかも。
- 寒いし、家は古くなるし、新築もできないし、不安があるから。
- 仕事で異動の可能性もあるから。
- 仕事の都合で変わる。
- 転勤族なので必ず出る。
- 実家が山梨のため。
- 終の住み家は検討中。
- 出身地が一番よい。
- 状況による。

- ずっと住みたいが一人暮らしになったらわからない。
- もしかしたら市外へ行くかもしれない。
- 西南隣にストーカー、嫌がらせをする人がいる。
- 安曇野・松川・池田辺りに住みたい。
- 海外
- 海外に行きたい気はある。
- もっといろんなところに行ってみたいので。
- 自分自身にこだわりがない。
- 別にどこでもよい。
- 特に考えていない。
- 先のことはわからない。

問4（1） 住みたいと思う理由 その他の内容

- 住み慣れ
- 好きだから。
- 安曇野市の風土が好きだから。
- 住みやすい環境だから。
- 自然が豊かだから。
- 自然、季節を感じられるから。
- 山の風景が良く、生活にゆとりを感じ穏やかにすごせる。
- 風景が素晴らしいから。
- すばらしい情景があるから。
- アルプスの見える地域だから。
- 安曇野市の景色と道祖神が気に入っている。
- 自宅周辺の自然に囲まれた環境が好き。
- 景色、自然の環境が好きだから。
- 田んぼに囲まれた理想の土地のため。
- 家と田畑がバランスよくある。
- 自然豊かな田舎暮らしがしたくて名古屋市より移住。
- 空気がおいしい。水道水が飲める。
- 自然景観や災害の可能性低い等々。
- 自然災害が少ないから。 ×2
- 自然災害がなく比較的安定している。（地震等）
- いろいろな面で安心して生活できる。
- 子どもが住んでいるから。
- 兄弟がいるから。
- 孫がそばにいるから。
- 娘たちが近くにいますから。
- 子ども県内、年齢的にこのまま。
- 子どもが就学することから、転校を避けるため。

- 勤めが、島根県松江から、松本に変わった。45 年前。
- 住居が気に入っています。
- 家督を継いでいるため。
- 田、畑、があり耕作している。
- 兼業農家なので。
- 親、祖父母の墓がある。
- お墓があるから。
- 亡き妻と 30 年の暮らしの思い出があるから。
- 高齢だから
- 環境
- 生活環境が良いから。スーパー病院食堂等が近くにあるから。
- スーパー、ドラッグストア等生活に必要なお店がそろっており便利。
- スーパー等便利。
- お店が多いから。
- 東京、名古屋へのアクセス、松本空港など、比較的移動が便利。

問 4（2） 他の市町村へ移りたい理由 その他の内容

- 医療が不十分だから。
- 医療が良くない。
- 動物病院が少ない。
- 行政のレベルが低すぎる。
- 子と別居したいから。
- 海がないから。
- 老後の心配。

問5（1）愛着を感じる理由 その他の内容

- 出身地だから。
- 生まれ育った場所だから。 ×4
- 出生地であり、家族が居るから。
- 生まれた所だから、代々住んできたから。
- 生まれ育った場所で生活に慣れている。
- 生まれてからいるから。
- 家があるので。
- 地元だから。 ×2
- 住み慣れているため。
- 住み慣れた場所なので。
- 10年くらい住んでいるから。
- 長い間住んでいるから。
- 自分が住んでいる所だから。
- 子育てをした地域だから。
- 息子が住んでいるから。
- 友達とかがいるから。
- 全て満足できていないが愛着があるから。
- 好きだから、人の人間性が良い。
- ここが好き。
- 自然
- 自然が豊かだから。 ×4
- 自然豊かな環境
- 自然が好きなので。
- 自宅からの北アルプス、四季の移り変わり。
- 広々として自然環境が良いから。
- 美しい自然を間近に感じられる。
- 安曇野って名前が好き。北アルプスがきれいに見える。
- 夏は他県に比べ、湿度が低く寝やすい。また、自然が近くに多い。
- 適度な田舎度合い。適度な地方都市度合い。
- 歴史や文化を耳と目で文化の香りをを感じる博物館を。
- 災害がほとんどないから。
- 風土、交通、買物の便が良い。
- 景色が良い割にはそこそこ便利である。中途半端なのが良い。
- 日常の生活がしやすい、店などがあり不便を感じない。
- 生活に困ることが少ない。（買い物など）
- 30年以上居住しているので愛着はありますが、公共交通の利便性は低い。
- 治安が比較的良い。
- 「山保育」を推進している。
- 前政権で移住も検討したが今は非常に良い。

- 市の福祉課の職員の方が親切（しんせつ）です。
- 住めば都
- 年だから変えられない。
- 選択肢がよくないと思います。愛着を感じることと生活環境は別の問題ではないでしょうか。

問5（2） 愛着を感じない理由 その他の内容

- 寒くて風が強い。
- 冬が寒すぎる。寒い期間長い。
- ヨーロッパのように電柱の少ないまちづくりができれば安曇野は理想郷になる感じがする（費用が問題だが）。京都市は既に 65 km くらい無電柱化していると聞いています。
- アートヒルズも廃業してしまい、せっかくの映画館の設備も稼働していないし、若者が遊びやすい環境を整備してほしい。大型ショッピングモールを建設したり、アウトレットをつくってほしい。
- 娯楽施設が少ない。
- 夜間のバイクなど、騒音。冬はいいが夏は窓を開けているとやかましい。また、そういったバイクに後ろからあおられた。小さい子どもがいるため、何とかしてほしい。（バイクがいけないのではなく、わざと騒がしくする行為が困る）
- 区、常会が非常に煩わしい、区費が高すぎる、子どもが少なすぎる。
- 区、地域の活動が負担になっている。
- 地域役員の仕事や会議が多すぎる。生活の負担である。
- ごみ袋が高い。
- 人間の心が狭すぎる。（笑顔が少々不足）
- 行政の怠慢がひどい。レベル、意識が他市町村に比べても低すぎる。
- まだ、住んで浅いから。
- 移住してまだ浅いから。
- 個人の性格上
- 考えたことがない。
- 特に感じる必要性がない。

問6 家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因 その他の内容

- ほとんど出ません。
- 食品ロスを出さないようにしている。
- ロスを出さない努力をして暮らしています。
- 完璧に出ないわけではなが、努力しています。
- 食品ロスを出さないよう調理人が工夫しています。
- ほとんどないが、あるとすれば料理を多く作りすぎによる食べ残し。
- 日常料理は親によるため、自分自身の食品ロスはない。
- 野菜を多く作り過ぎた。
- 野菜を作っては食べられず捨てている。
- 野菜等、作りすぎて使い切れない。
- 野菜をたくさん頂く。
- 頂いた作物など食べきれないことがある。
- 家族がたくさんのため、冷蔵庫の奥にあるのを忘れがち。
- 子どもの好き嫌いで残す→大人も食べきれない→捨てる
- 子どもが食べない。
- 子どもが残す。
- 食品を買った時には食べたいと思ったが、いざ食べる段階で体が欲しくなくなったり、家族のために作ったが、意外に食べなかったため。
- 野菜スライサーが多過ぎる品。
- 使う予定だったが、仕事で帰宅が遅くなり、料理ができなかった。
- 仕事が遅くなり惣菜などを買ってしまうことが続いた。
- 体調不良により調理ができず、期限切れになったため。
- 中高年の食品ロスへの意識不足。(バブル世代)
- 各家族が増えているため。
- コンビニだろうな。
- 外食産業、コンビニの廃棄が問題。消費側が便利さを求めすぎ。
- 消費しきれないほどの食品が作られているのでは。
- スーパー食品梱包が多すぎる
- 畑にかえして野菜を作り肥料にする。

問7 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因 その他の内容
--

- 持ち帰っていい場合は、持ち帰っています。
- 食べ残しはしないようにしている。余ったら持ち帰る。
- 余った場合可能な範囲で持ち帰り。
- 自分たちに合った量を頼むから、食品ロスは出ない。
- 外食してない。 ×5
- あまり外食はしない。 ×2
- 外食に行かない、宴会に出る機会がない。
- ほとんど外食しないし宴会にも出席しない。
- 機会がない。
- 宴会を前提とした設問でしょうか。外食では食べ残しはあまり出ないと思う。
- 90歳に近く小食になっています。
- 塩分が多い。
- 多めにないと、物足りなさを感じてしまい頼みすぎてしまう。
- お子様ランチの量が小食の子には多すぎる。
- お酒しか飲まない人もいる。
- お酒のせいでしょう。
- 酒の飲みすぎ。
- 外食等で、1人前の定食が食べきれない。女性用の少なめが欲しい。
- 外食や宴会の時などは事前に量を聞くようにしている。
- 各自の嗜好の違い。
- 子どもが思っていたより食べなかったため。
- 自分で注文できない招待された食事会での提供の時。
- 自分の適量より多く注文したため。
- 食べたくない物、苦手な物が出てきたため。
- 食べ忘れ
- 足りないと失礼等意識。
- 注文時に「小盛で」と言い忘れたこともある。
- 調理時等に発生する。見た目に気にしすぎ。
- ホテル、食堂、スーパー等結局は余ってしまう。ニーズに合った食品が適量に作られていない。
- 昔のように、残った食べ物を持ち帰ることができないため。店側としては、衛生面などの問題で持ち帰り NG とすることが多いが、外食、宴会など（特に宴会で）で食品ロスが多く発生する。時代的に難しい部分ではあると思うが、宴会などの際には、手をつける前に持ち帰り容器などへ分けて、持ち帰ればよいと思う。SDGs、食品ロスを問題としているなら、飲食店、客側、社会全体で考えるべきだと思う。食糧自給率の低い日本で、食品ロスが多いのは、本来あってはならない問題だと思う。
- 持ち帰りがしにくい。
- 持ち帰りができない。 ×2

問 8 健康診断を受診していない理由 その他の内容

- 早くから治療の予後の検診が続いているから。
- 持病あり、それに重点視。
- 持病があるので定期的に病院に通っているため。
- 持病等があり毎月かかりつけ医にて受診おり検査等は都度実施。
- 主治医がいるため。
- 主治医の定期診断を受けている。
- かかりつけ医院で個人的に診察を受けている。
- かかりつけ医で定期的に検診している。
- かかりつけ医がいる。 ×3
- 通院している。 ×7
- 医者にかかっている。 ×2
- 個人で受診している。
- 自分で医者に行っている。
- 月1回内科に行っているから。
- 毎月定期的に通院している。
- 毎月通院、血液検査等しているから。
- 月1回行く医院にて相談しながら診断を受けている。
- 通院中病院で検査している。
- 毎月検査している。
- 毎月月1回個人受診している。
- 病院で受けている。
- 病院にて種々検査を受けている。
- 一般病院で、多少の検査を受けているため。
- 必要なものは受けている。
- 悪いと思われる処をそれぞれ受診しているから。
- 3～4年に1回受診。
- 特定健診の市による事後指導。
- 会社で受けていたが去年退職したため。
- 会社で受診しているため。
- 妊娠出産のため。
- 受けたいとは思っていて、時間が欲しい。
- 日程が合わない。
- 手持ちが無い。タクシー代が無い。
- 1人で行けない。
- 18歳だから。
- 若いから。
- 適齢ではない。
- 高齢のため。 ×2
- もう卒業してもいいかな。

- 85 歳過ぎるとドックは使用ないと言われた。
- 高齢で健康であり、このまま自然に任せたい。健診を受ければ、必ず何かの指摘はされる。詳しく調べると、何でもなかった、の繰り返し。自分で気を付けた生活をしており、この年になって、あれこれといじくり回したくない。
- 胃カメラが怖い。
- 自分の考え。前は受けていた。
- 何か問題が見つかって、受診するつもりはないから。
- 手続きがわからない。
- 検査が身体に負担だと感じるから。
- コロナ中のため、ここ 3 年受診なし。
- しばらく受けていないので何か見つかりそうで怖い。
- 事務的扱いと感じたから。
- 受診のタイミングで体調を崩していた。
- 受診を忘れていた。
- 知らなかった、忘れていた。
- 連絡が来ない。
- 病院に近寄らない方が健康でいられるとテレビで言っていたから。
- 人間ドックは会社で受けているもの？
- 健診してもしなくても総死亡率は変わりません。もっと違うことに貴重な税金を使ってほしい。

問 1 3 「さとぶろ。」に参加していなかった理由 その他の内容

- 高齢のため。 × 2
- 年齢の事もある人もいることも思っしてほしい。
- 参加したいが年齢的に無理。
- 体の障がいがあるため。
- 参加したいが足がない。(車)
- 車の運転ができない。
- 運転免許がないから動けない。
- 家族の理解
- 興味がない。 × 2
- 関心がない。
- 知らない。 × 3
- 意味がわからない。

問 1 4 あなたが身近な山林での活動において興味があるもの その他の内容

- 松くい虫対策
- SDGs 活動
- 植林
- 草取り
- ごみ拾い
- 犬の散歩などのウォーキング
- オルゴールなどの木工
- 森林浴
- スキー
- 登山 ×3
- 虫採り
- 瞑想
- どれも興味ない。 ×2
- 高齢のため関心がない。
- 歩行困難、不可能のため活動できず興味を感じない。
- 参加したいができない。
- 体力に自信ない。

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない・その他 |
|-------|-------|---------------|

(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 18～24 歳 | 2. 25～29 歳 | 3. 30～34 歳 | 4. 35～39 歳 |
| 5. 40～44 歳 | 6. 45～49 歳 | 7. 50～54 歳 | 8. 55～59 歳 |
| 9. 60～64 歳 | 10. 65～69 歳 | 11. 70～74 歳 | 12. 75 歳以上 |

(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業） | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人（パート・アルバイト、派遣等） | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他（ | ） |

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|-----------------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 塩尻市 |
| 4. 大町市 | 5. その他（ | ） 6. 通勤・通学していない |

(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 豊科 | 2. 穂高 | 3. 三郷 |
| 4. 堀金 | 5. 明科 | |

(6) あなたの「出身地※」についてお答えください。(1つに○)

※ 15 歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

- | | | | |
|---------------|--------|-----------|---------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 大町市 | 4. 塩尻市 |
| 5. その他の県内市町村（ | ） | 6. 東京都 | 7. 神奈川県 |
| 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 | 10. 大阪府 | |
| 11. その他の道府県（ | ） | 12. 外国（国名 | ） |

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。

- | | | |
|--------------------|---------------|-----------|
| 1. 安曇野市以外での居住経験はない | 2. 松本市 | 3. 大町市 |
| 4. 塩尻市 | 5. その他の県内市町村（ | ） |
| 6. 東京都 | 7. 神奈川県 | 8. 埼玉県 |
| 9. 愛知県 | 10. 大阪府 | |
| 11. その他の道府県（ | ） | 12. 外国（国名 |
| | | ） |

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居（親－子） |
| 4. 三世帯同居（親－子－孫） | 5. その他（ | ） |

2. 安曇野市での暮らしについて

問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. その他 () |

問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. ずっと住みたい |
| 2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい |
| 3. 他の市町村へ移りたい |
| 4. わからない・その他 () |

問4で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから |
| 2. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから |
| 3. 友人がたくさんいるから |
| 4. 職場が近いから |
| 5. 持ち家があるから |
| 6. 両親や祖父母の近くで生活したいから |
| 7. (親などから) 地元で生活するように言われているから |
| 8. その他 () |

問4で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから |
| 7. 公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. 近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから | 12. 子育てしにくい環境だから |
| 13. 職場が近くなるから | 14. その他 () |

問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |

問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている
2. 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている
5. 学校教育や生涯学習が充実している
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれている
7. 博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している
8. 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る
9. 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある
10. 農林水産業が盛んである
11. 経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である
12. 観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである
13. まちの知名度・ブランド力が高い
14. 移住・定住者が多い
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である
16. 先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い
17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である
18. その他 ()

問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない
2. 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない
5. 学校教育や生涯学習が充実していない
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれていない
7. 博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない
8. 自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない
9. 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない
10. 農林水産業が盛んでない
11. 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない
12. 観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない
13. まちの知名度・ブランド力が低い
14. 移住・定住者が少ない
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない
16. 先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い
17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない
18. その他 ()

3. 安曇野市の行政に関すること

■ 市の全般的な施策等について

以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

【① 現状の満足度】

各施策の内容について、現在どの程度満足していますか。 (1 つに○)

【② 今後の重要度】

各施策の内容について、将来的にどの程度重要だと考えますか。 (1 つに○)

(1) 自然環境について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 河川、山林などの自然環境が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問6. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約 600 万～700 万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

1. 食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため
2. 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため
3. 家に在庫があるのに、 unnecessaryなものを買ってしまったため
4. 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため
5. 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため
6. お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため
7. 食品ロスは出ない
8. その他 ()

問7. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

1. 少量のメニューが提供されていなかったため
2. 注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため
3. コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため
4. 接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため
5. 味が好みでなかったため
6. お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため
7. 食品ロスは出ない
8. その他 ()

(2) 医療・福祉・人権について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 医療体制が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 地域において、支え合える関係が築けている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 障がい者が安心して生活している地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 生活に困ったときに相談できる体制が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 互いの個性や立場を尊重している地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問8. 毎年、健康診断（人間ドックを含む）の受診はされていますか。（1つに○）

1. 受診している	2. 受けていない
-----------	-----------

問8で「2. 受けていない」と回答した方のみご回答ください。

(1) 健康診断を受診していない理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 時間がない	2. 金銭的余裕がない	3. 受けなくても大丈夫	4. 面倒くさい
5. その他（			）

(3) 子育て支援について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 出産、子育てしやすい地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問9. 安曇野市では豊かな自然環境を保育に取り入れ、子どもたちの学びや感性を育む「自然保育」に取り組んでいます。そのことを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

(4) スポーツについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 スポーツを楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 アウトドアを楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問10. あなたの運動又はスポーツの頻度について教えてください。(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3回程度	3. 週に1～2回程度
4. 月に1～2回程度	5. 年に1～2回程度	6. 全くしない

(5) 教育・学習について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 小中学校での教育が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 小中学校と地域・家庭の連携が図れている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 年代に関わらず、学びの機会が提供されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(6) 地域の伝統について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(7) 文化・芸術について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(8) 防災・防犯について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域において、地震や台風などへの備えができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 交通安全の取り組みが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 防犯対策が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(9) 都市基盤について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 安曇野らしい景観が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 緑化の保全、普及が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 公園、緑地の整備・維持管理がされている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 国道、県道などの幹線道路が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 生活道路である市道が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 公共交通網が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 安全でおいしい水が利用できる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(10) 農林水産業について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問11. あなたは、里山再生、森林保全といった活動に興味がありますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 興味があり、既に活動に参加している | 2. 興味はあるが、活動に参加していない |
| 3. 興味がないため活動に参加していない | 4. わからない |

問12. 市では、平成27年度に「里山再生計画」を策定し、その計画に関連し里山再生を行う取り組みを「さとぷろ。」と位置づけ、里山が抱える課題の解決について様々な取り組みを行っています。あなたは「さとぷろ。」を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問13. あなたは「さとぷろ。」の活動に参加したことはありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことはないが、今後参加したい |
| 3. 参加したことはない | |

問13で「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した方のみご回答ください。

(1) 参加していなかった理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 参加のきっかけが少ない | 2. 情報が不足している |
| 3. 時間的余裕がない | 4. 体力に自信がない |
| 5. その他 () | |

問14. あなたが、身近な山林での活動において興味があるものは何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 森林整備 | 2. 薪の調達及び薪づくり | 3. 山菜やキノコ採り |
| 4. ジビエ・狩猟 | 5. 釣り | 6. 自然観察(生き物・植物など) |
| 7. ウォーキング | 8. 木工 | 9. 地域材の利用 |
| 10. キャンプ・レジャー | 11. その他 () | |

(11) 経済活動について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 市内に個性的で魅力的なお店が増えている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 工業・製造業が盛んな地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 働きやすい地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(12) 観光について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 安曇野市は魅力的な観光地である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 安曇野らしい産品が生み出されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(13) 地域ブランドについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 全国的に「安曇野市」の地名が知られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 市外在住者に誇ることのできる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問15. 小説『安曇野』を知っていますか。(1つに○)

※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で1974年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の臼井吉見氏です。

1. 知っており、読んだことがある	2. 知っているが、読んだことはない
3. 初めて聞いた	

(14) 移住・定住について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 移住者、定住者が多く活気のあるまちである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(15) 協働・コミュニティ活動について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域住民によるコミュニティ活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 NPO、ボランティア活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 まちづくりへの市民参画が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(16) デジタル社会・行政サービスについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 情報化社会に対応した基盤が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 行政運営の効率化が図られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 市政に関する情報が入手しやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 広報紙「広報あづみの」が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 市公式ホームページ、SNS が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(17) SDGs（持続可能な開発目標）について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問16. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください。(自由記載)

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和6年2月26日(月)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
(インターネットで回答した方は、返信用封筒にてお送りいただかなくて結構です。)